

間接工事費等諸経費動向調査 (令和3年度竣工工事対象)

③下請者用入力マニュアル Ver21.00

調査票提出先及び提出期限

- 1) 下請担当者 → 元請担当者
- 2) 元請担当者 → 発注事務所等担当者
(工事引き渡し日までに発注事務所等担当者へ提出及び
調査票配布サイト (RepoBox) よりアップロードにて提出)
- 3) 発注事務所等担当者
(工事完成日から30日以内に調査票配布サイト (RepoBox)
よりアップロードにて提出。なお、本サイトは令和4年3月
31日まで運用を予定しています。それ以降は、発注担当事務
所等で保管し、後日、提出となる予定です。)

**注) 基本的には、下請者用入力システム (⑥下請.xlsx) に電子入力してください。
電子入力が不可能な場合には、手書きで入力し、紙媒体で提出してください。**

本調査は、公共土木請負工事における諸経費率について、実態調査に基づく検討を行う目的で実施するものです。この調査票に記入された内容を他に漏らすことや、他の目的に使用することは決してありませんので、**事実をありのままに記入していただくようお願いいたします。**

下請の調査票から入力する「下請」関係のシートは、事実をありのままに記入してください。

調査票を受領後、調査担当機関より記載事項について聞き取り調査を行うことがあります。その際、根拠となった契約書等の提示を求めることがありますので、ご協力のほどお願いいたします。
また、**調査票は令和5年3月末頃迄保管していただくようお願いいたします。**

<調査票入力に関する問合せ先>

一般財団法人 国土技術研究センター
技術・調達政策グループ

〒105-0001

東京都港区虎ノ門3-12-1 (ニッセイ虎ノ門ビル9階)

TEL 03-4519-5004

FAX 03-4519-5015

※問合せは、平日（祝日を除く月曜日～金曜日）の午前9時30分から12時、午後1時から
午後6時の間をお願いします。

目 次

1 諸経費動向調査 Q&A.....	1
2 調査の目的	2
3 調査票の配布及び入力後の提出フロー	2
4 各担当者別の作業手順.....	3
5 配布物及び提出物	5
5-1 元請者より提供されるもの	5
5-2 入力後提出するもの	5
6 調査票作成の手順	6
7 システム環境	7
8 入力システム使用上の注意.....	8
8-1 入力システムの事前準備	8
8-2 計算方法の設定	9
8-2-1 「計算方法」の設定	9
9 入力システムのシート構成.....	11
10 入力システムの作業フロー	13
11 入力時の注意事項	14
12 入力上の用語及び費用の取り扱いについて	15
13 入力方法及び入力項目の内容	16
13-1 「開始画面」シート	16
13-2 「1_一般事項」シート	17
13-2-1 入力例（1_一般事項シート）	17
13-2-2 入力項目（1_一般事項シート）	17
13-3 「1-2_下請入力」シート	18
13-3-1 入力例（1-2_下請入力）	18
13-3-2 入力操作方法（1-2_下請入力）	19
13-4 「2-1_社員等従業員給料等_自社分」シート 下請者の社員等従業員給料等内訳	20
13-4-1 入力例（2-1_社員等従業員給料等_自社分シート）	21
13-4-2 入力項目（2-1_社員等従業員給料等シート）	22
13-4-3 入力操作方法（2-1_社員等従業員給料等シート）	23
13-5 「2-2_社員等従業員給料等_再下請分」シート 下請者の社員等従業員給料等内訳	24
13-5-1 例（2-2_社員等従業員給料等_再下請分）	24
13-6 「3_法定福利費」シート 下請者の法定福利費内訳	25
13-6-1 入力例（3_法定福利費シート）	26
13-6-2 入力項目（3_法定福利費シート）	27
13-7 「4_労務管理費」シート 下請者の労務管理費内訳	34
13-7-1 入力例（4_労務管理費シート）	35
13-7-2 入力項目（4_労務管理費シート）	36
13-8 「5-1_機器材運搬費」シート 下請者の機器材の運搬費内訳.....	37

下水

13-8-1 入力例 (5-1_機器材運搬費シート)	38
13-8-2 入力項目 (5-1_機器材運搬費シート)	39
13-9 「5-2_建設機械Ⅰ・Ⅱ」シート 下請者の建設機械Ⅰ・Ⅱの運搬費内訳	41
13-9-1 入力例 (5-2_建設機械Ⅰ・Ⅱシート)	42
13-9-2 入力項目 (5-2_建設機械Ⅰ・Ⅱ)	43
13-9-3 入力操作方法 (5-2_建設機械Ⅰ・Ⅱ)	47
13-9-4 再下請の転記方法 (5-2_建設機械Ⅰ・Ⅱ)	48
13-10 「6_準備・測量」シート	49
13-10-1 入力例 (6_準備・測量)	50
13-10-2 入力項目 (6_準備・測量)	51
13-10-3 再下請の転記方法 (6_準備・測量シート)	54
13-11 「7_技術管理費」シート	55
13-11-1 入力例 (7_技術管理費シート)	55
13-11-2 入力項目 (7_技術管理費シート)	56
13-11-3 入力操作方法 (7_技術管理費シート)	59
13-11-4 再下請の転記方法 (7_技術管理費シート)	60
13-12 「8_現場環境改善」シート	61
13-12-1 入力例 (8_現場環境改善シート)	61
13-12-2 入力項目 (8_現場環境改善シート)	62
13-12-3 再下請の転記方法 (8_現場環境改善費シート)	64
13-13 「★工事費」シート	65
13-13-1 入力例 (★工事費シート)	67
13-13-2 入力項目 (★工事費シート)	69
13-14 「9_感染対策」シート	89
13-14-1 入力項目 (9_感染対策)	89
13-14-2 入力例 (9_感染対策)	90

1 諸経費動向調査 Q&A

以下の Q&A のほか、各シート、その他質問に関しては別途の「令和 3 年度間接工事費等諸経費 Q &A_下請者.pdf」を参照してください。

Q 1 入力システムへの入力に際してパスワードを要求される場合には？

→A：パスワードが要求される個所は、入力の必要がない個所です。

入力対象は、薄黄色のセルのみです。薄緑色のセルは数式等が入っているため、自動入力です。
【マニュアル P. 14 を参照して、入力してください。】

Q 2 マニュアル記載の入力例と入力システムの表示画面が異なる場合には？

→A：初期入力段階では異なる場合があります。（入力項目の増減がある為）

入力操作が出来ない場合には Q 2 の入力システム起動時の設定を確認してください。

Q 3 『2_法定福利費』で、『A. 労災保険料』『2.事業の種類』でプルダウン中に該当する項目がない場合は？

→A：『その他の建設業』を選択し、『10. 上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合の理由』に保険料率を入力してください。

例えば、「警備業は保険料率を〇〇%で算出している為」等。

Q 4 エラー『#REF!』の表示が出た場合には？

→A：Excel のエラー『#REF!』の表示の場合は、入力作業の段階で**入力システムが破損**したことが考えられます。本マニュアル表紙の＜問合せ先＞へご連絡ください。

Q 5 エラー（『#N/A』、『VALUE!』）等の表示が出た場合には？

→A：Excel のエラー（『#N/A』、『VALUE!』）の表示の場合は、数値入力セルに文字入力等の誤入力と考えられます再度入力セルの確認をお願いします。

Q 6 法定福利費の算出方法が不明の場合には？

→A 調査対象工事に従事した社員等従業員および労働者の事業主負担分を**調査対象工事に応じて按分計上してください。**

法定保険料を年払いで処理している場合、個人事業主の場合等は**マニュアル P. 32 を参照**して、入力してください。

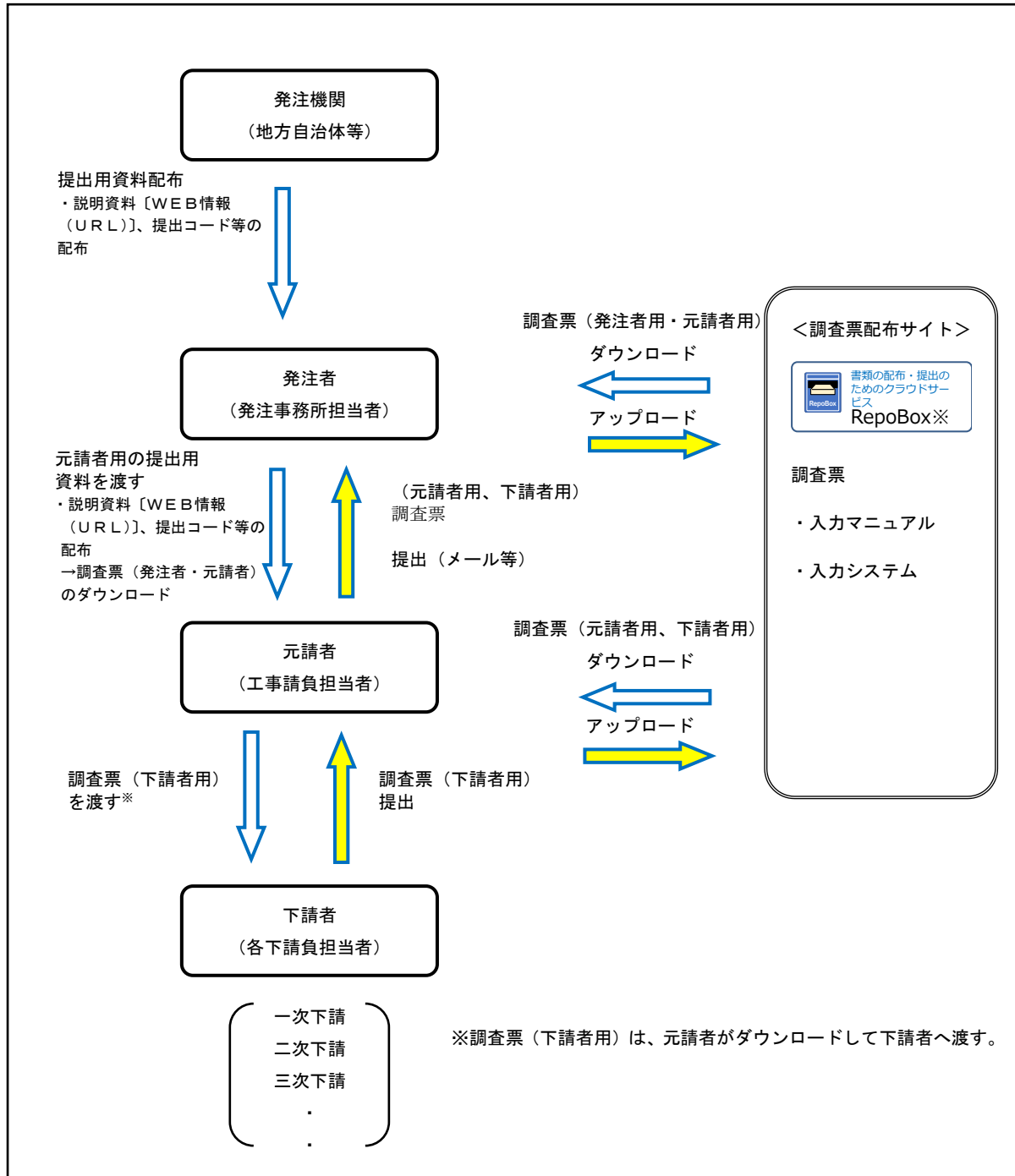
Q 7 初めてで何を、どのシートを入力すればいいのかわからない場合は？

→A 下請調査票内にあります「記入シート確認」シートにてどのシートを記入すべきかの確認が可能です。

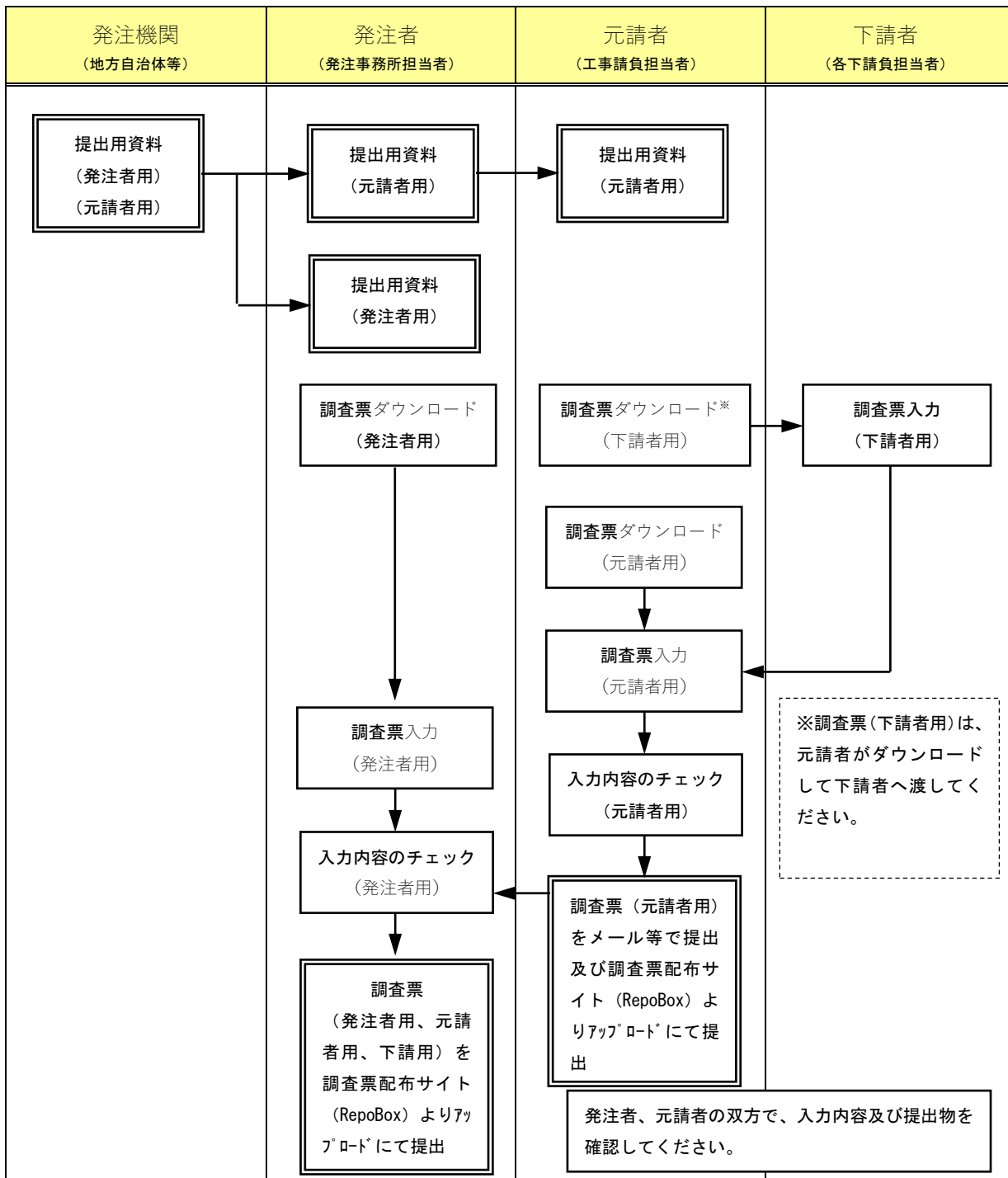
2 調査の目的

本調査は、公共土木工事における諸経費の実態を把握し、現行土木工事標準積算基準の諸経費率の実態に合っているかを検証し、乖離がみられれば率式等を改定することを目的に実施するものです。

3 調査票の配布及び入力後の提出フロー



4 各担当者別の作業手順



下水

- ・ 基本的には、下請者用入力システム（⑥下請.xlsx）に電子入力してください。
電子入力不可能的場合には、手書きで入力し、紙媒体で提出してください。
- ・ 再下請者がある場合、再下請者に調査票（下請者用）をコピーして配布してください。
- ・ **再下請者から入力システム（⑥下請.xlsx）を回収した後、自社分の調査票に再下請者の入力内容を転記する必要があります。**（再下請者への外注分を記入します）

例１）下請者が二次下請までの場合（二次から三次への外注が無い）

- ①一次下請者は、回収した二次下請者の『下請者用入力システム（⑥下請.xlsx）』を自社の『下請者用入力システム（⑥下請.xlsx）』に転記（入力）します。（二次下請者への外注費分を記入することとなります。）

例２）下請者が三次下請におよぶ場合（二次から三次へ外注がある場合）

- ①二次下請者は、回収した三次下請者の『下請者用入力システム（⑥下請.xlsx）』を自社の『下請者用入力システム（⑥下請.xlsx）』に転記（入力）してください。（三次下請者への外注費分を記入することとなります。）
- ②一次下請者は、回収した二次下請者の『下請者用入力システム（⑥下請.xlsx）』を自社の『下請者用入力システム（⑥下請.xlsx）』に転記（入力）します。（二次下請者への外注費分を記入することとなります。）

注１）再下請者に調査を依頼する際、再々下請者以降に請負させた外注費についても、各費目に分けて調査するようあらかじめ依頼しておいてください。

注２）詳細な仕分けが困難な場合は、各費目の一括合計を入力してください。

注３）元請者の指導、助成により、三次下請者以降の実態を調査してください。

- ・ **調査票（下請者用）の入力及び元請者への提出は『施工体制上の全ての業者』を対象に行ってください。**

5 配布物及び提出物

5-1 元請者より提供されるもの

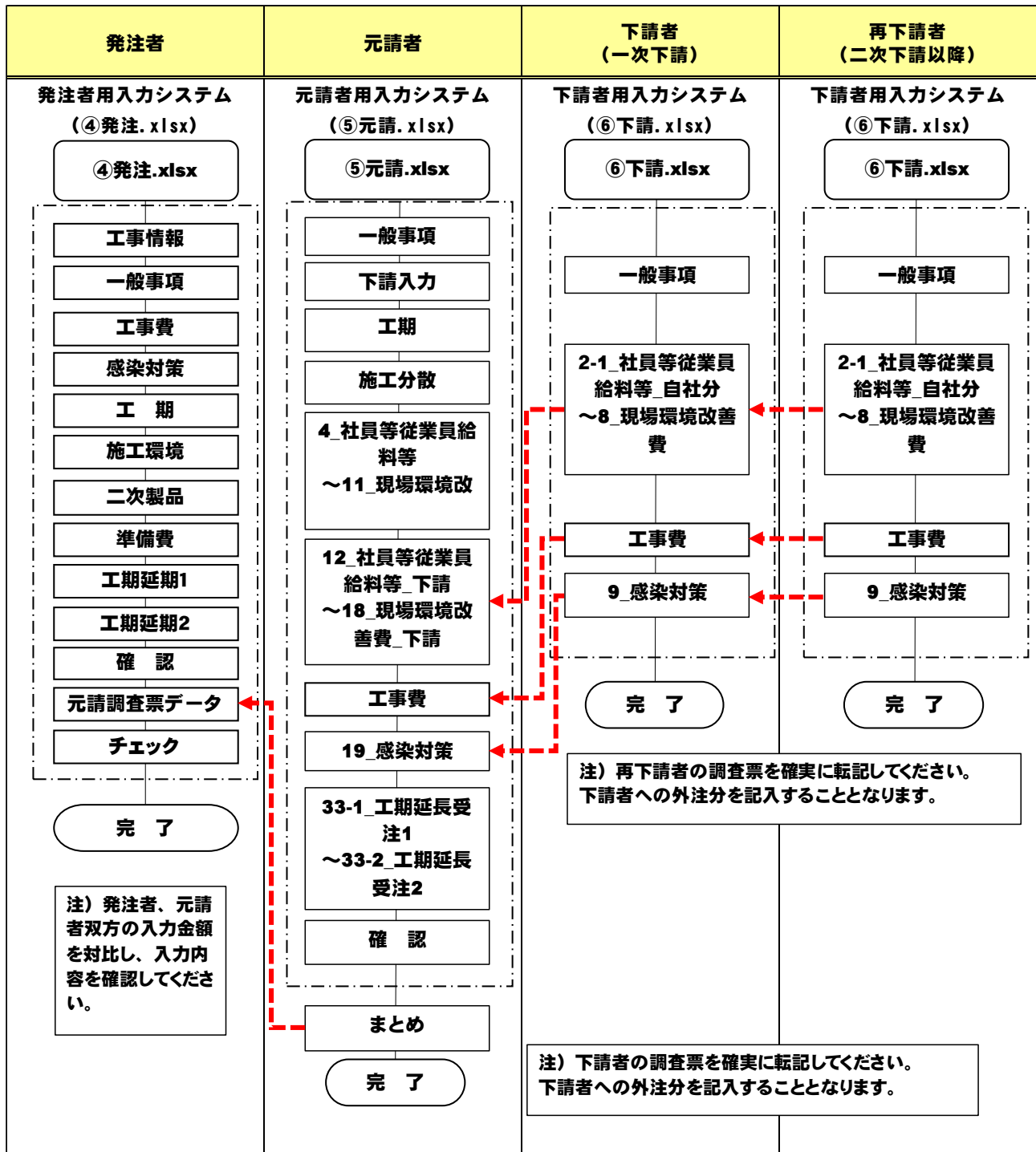
		ファイル名
調査票（下請者用）		
入力 マニュアル	下請者用入力マニュアル	③下請者用入力マニュアル.pdf
入力 システム	下請者用入力システム	⑥下請.xlsx

5-2 入力後提出するもの

		ファイル名
入力 システム	下請者用入力システム	⑥下請.xlsx

6 調査票作成の手順

凡例 一点鎖線枠内：入力シート 実線矢印：データ読み込み 点線矢印：データ転記



7 システム環境

諸経費動向調査入力システムが、正常に動作するために必要なシステム環境を以下に記します。
なお、【推奨】と記された項目は、システムを快適にご使用頂くために推奨するシステム環境です。

◆コンピュータ本体

Pentium 200MHz 以上の CPU を搭載し、Microsoft Windows (Windows 8、Windows 10、Windows11 のいずれか) が稼動するパーソナルコンピュータ。

【推奨】 Intel Core2Duo 2.0GHz 以上の CPU を搭載し、Microsoft Windows8 以降の OS が稼動するパーソナルコンピュータ。

◆メモリ

コンピュータ本体メモリ 2GB 以上。

【推奨】 コンピュータ本体メモリ 4GB 以上。

◆ディスプレイ

コンピュータ本体に接続可能で、Microsoft Windows (Windows 8、Windows 10、Windows11 のいずれか) に対応しているカラーまたはモノクロディスプレイ。

【推奨】 1280×1024 ドット表示可能な 17 インチのカラーディスプレイ。

◆使用可能マウス

コンピュータ本体に対応し、Microsoft Windows (Windows 8、Windows 10、Windows11 のいずれか) で使用が可能なもの。

◆基本ソフトウェア

コンピュータ本体に対応した Microsoft Windows (Windows 8、Windows 10、Windows11 のいずれか) が必要。

また、別途 Microsoft Excel (Excel 2013、Excel 2016、Excel2019 のいずれか) が必要。

◆プリンタ

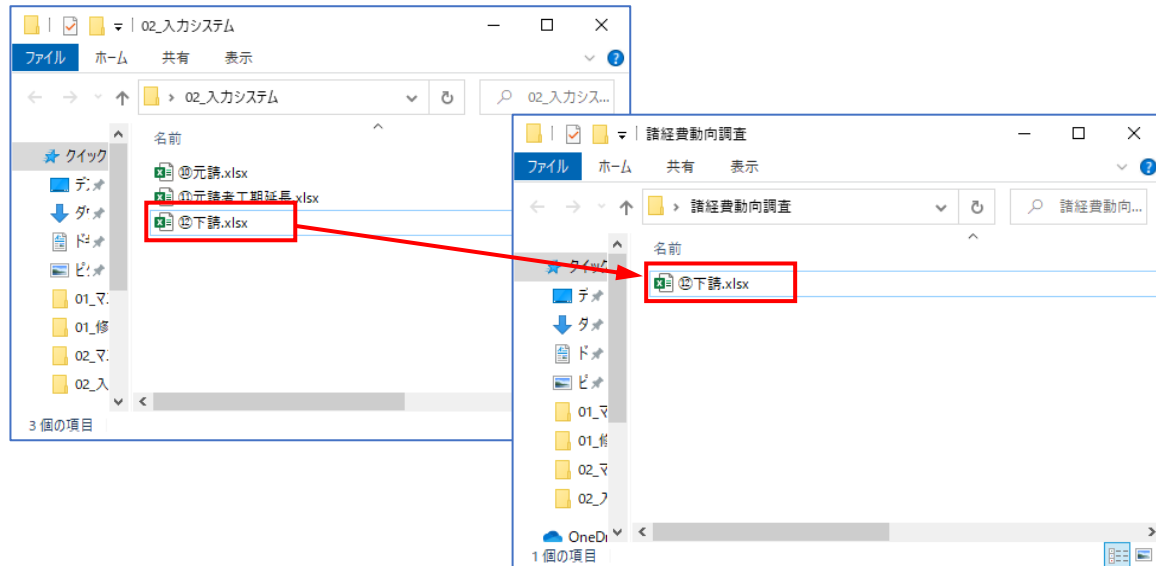
Microsoft Windows (Windows 8、Windows 10、Windows11 のいずれか) に準じるプリンタ。

8 入力システム使用上の注意

8-1 入力システムの事前準備

パソコンのハードディスクに、調査票配布サイトよりダウンロードした入力システムをコピーし、使用してください。

作成するフォルダの場所及びフォルダ名は任意で構いません。



ハードディスク内のマイドキュメントに「諸経費動向調査」フォルダを作成し、入力システム（⑥下請.xlsx）をコピーしたイメージです。

8-2 計算方法の設定

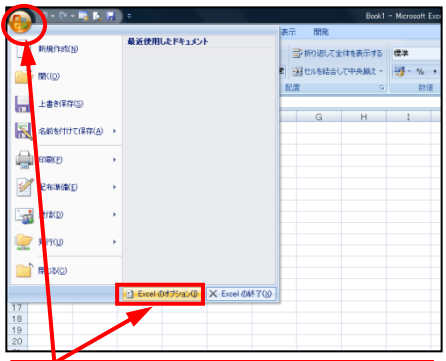
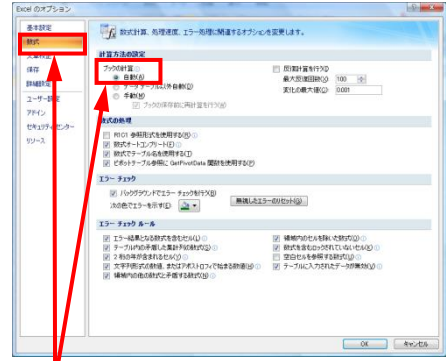
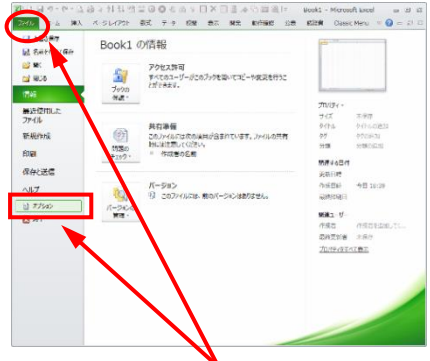
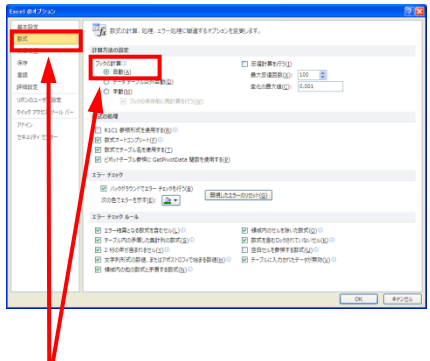
入力システムを操作する前に、以下の設定を必ず行ってください。

※使用する Excel のバージョンにより、設定方法が違います。

使用するパソコンの Excel バージョンを確認して、設定を行ってください。

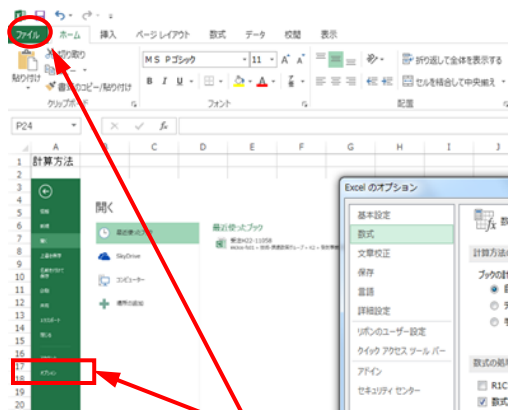
Excel バージョンは、「ヘルプ」メニューの『バージョン情報』を選択すると確認できます。

8-2-1 「計算方法」の設定

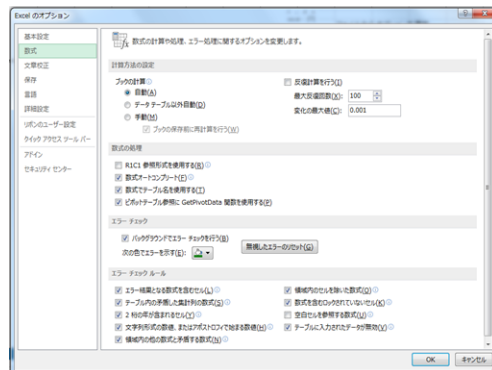
Excel 2007 の場合	Excel 2010 の場合
<p>① 計算方法を『自動』にする</p>  <p>「Office ボタン」から「Excel のオプション」を選択</p>  <p>「Excel のオプション」内の「数式」を選択後、ブックの計算の『自動』を選択</p>	<p>① 計算方法を『自動』にする</p>  <p>「ファイル」から「オプション」を選択</p>  <p>「Excel のオプション」内の「数式」を選択後、ブックの計算の『自動』を選択</p>

Excel 2013 の場合

① 計算方法を『自動』にする



「ファイル」から「オプション」を選択



「Excel のオプション」内の「数式」を選択後、ブックの計算の『自動』を選択

9 入力システムのシート構成

入力システムは、以下のようなシート構成になっています。

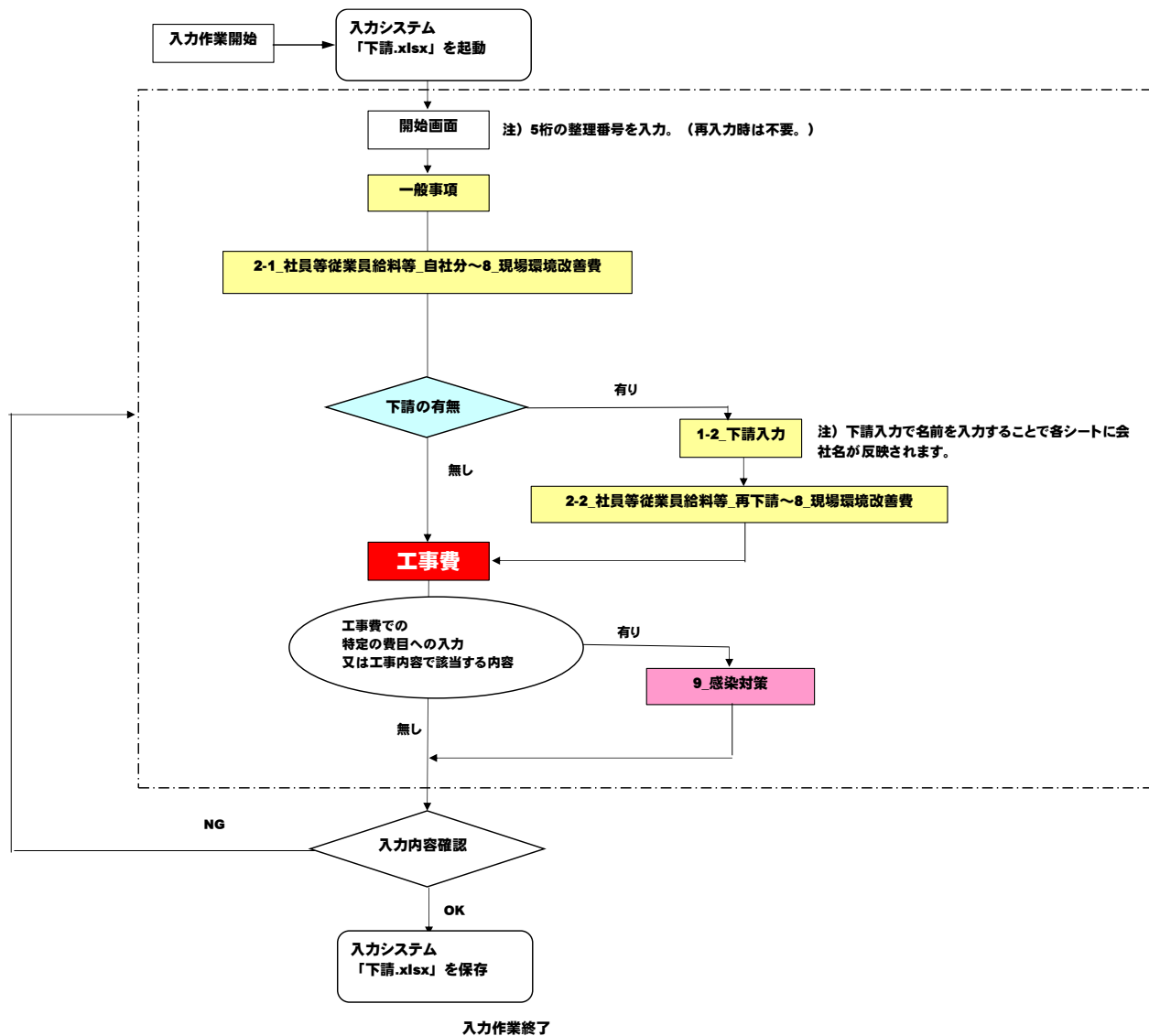
下請者用入力票（⑥下請.xlsx）

シート名	シート内容	マニュアル 掲載頁
開始画面	入力を進めていく上での簡単な注意事項が書かれています。 整理番号を記入します。	P. 16
1_一般事項	整理番号、記入者、会社名を入力します。	P. 17
1-2_下請入力	下請者名、工種（工事内容）を入力します。	P. 18
2-1_社員等従業員 給料等_自社分	現場管理費中の自社の 社員等従業員給料等内訳 を入力します。	P. 18
2-2_社員等従業員 給料等_再下請	現場管理費中の再下請の 社員等従業員給料等内訳 を入力します。	P. 24
3_法定福利費	法定福利費内訳 を入力します。	P. 25
4_労務管理費	現場管理費中の 労務管理費内訳 を入力します。	P. 34
5-1_機器材 運搬費	運搬費（ 機器材等の搬入、搬出並びに現場内小運搬の費用 ） 内訳 を入力します。	P. 37
5-2_建設機械Ⅰ・Ⅱ	運搬費（ 建設機械Ⅰ・Ⅱの運搬に係る費用 ） 内訳 を入力します。	P. 41
6_準備・測量	準備費において、『 A 準備・測量等 』及び『 B その他 』に要した費用の内訳を入力します。	P. 49
7_技術管理費	技術管理費に要した費用を入力します。	P. 54
8_現場環境改善費	現場環境改善費に要した費用を入力します。	P. 60
★工事費	<p>工事費（最終実績金額）の内訳を入力します。</p> <p>工事費は、『直接工事費、共通仮設費、現場管理費、一般管理費等』等について入力します。</p> <p>直接工事費は、『材料費、労務費、機械器具等損料』等について入力します。</p> <p>共通仮設費は、『運搬費、準備費、事業損失防止施設費、安全費、役務費、技術管理費、営繕費』等について入力します。</p> <p>現場管理費は、『労務管理費、社員等従業員給料手当、保険料、法定福利費』等について入力します。</p> <p>ただし、以下については各シートに記入した内容が工事費に積み上げられます。</p> <p>【共通仮設費】 『5-1_機器材運搬費』『5-2_建設機械Ⅰ・Ⅱ』『6_準備・測量』『7_技術管理費』『8_現場環境改善費』</p> <p>【現場管理費】 『2_社員等従業員給料等』『4_労務管理費』</p>	P. 65

下水

シート名	シート内容	マニュアル 掲載頁
9_感染対策	新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に係る費用について 入力します。	P. 89

10 入力システムの作業フロー



11 入力時の注意事項

入力システムに調査情報を入力する際は、下表の注意事項に注意して入力してください。

項 目		注意事項
入力欄	入力箇所	調査情報を入力、または選択する入力欄は『黄色』で着色しています。調査情報の入力、または選択をしてください。
		調査情報を選択する入力欄では、右端にプルダウン（▼）が表示されます。プルダウン（▼）をクリックすると選択するリストが表示されますので、該当する内容を選択してください。
	入力不要箇所	調査情報の入力不要の欄は『緑色』で着色しています。 この欄の値は、入力した値の合計が自動的に算出されたもの、または他の入力シートで入力した値が表示されます。
入力調査情報	金 額	『最終実績金額』を入力してください。 下請者が施工に要した金額です。 注）下請者の外注費は、再下請者が施工に要した費用です。
		『千円単位』で入力してください。「千円未満」は四捨五入してください。
		『消費税抜き』の金額で入力してください。 (ただし、工事請負金額は消費税込みの金額となります。)
		該当する費目が無い場合や「0 円」の時は、『 0 』を入力してください。
	数 値	『整数』で入力してください。 小数点以下は四捨五入してください。 (ただし、一部の入力シートでは、小数点以下を含めた数値で入力する場合があります。)
	自由回答 (文 字)	入力欄の関係上、入力された文字（内容）が入力欄からはみ出たり、文字が切れて見えなくなる場合があります。 その場合でも、入力された文字（内容）は有効ですので、そのまま入力してください。
警告表示	エラー	入力内容に不備がある場合は『 E 』が表示されます。 また、入力箇所により『エラーのメッセージ』が表示されます。 エラーが表示された場合は、適切な内容を入力、もしくは選択をしてください。

12 入力上の用語及び費用の取り扱いについて

入力システムに調査情報を入力する際は、下表の用語及び費用の取り扱いに注意して入力してください。

用 語	従事内容	賃金を入力する項目
労働者	労働者とは、直接、肉体的もしくは技能的労働を伴って工事施工に従事する者をいいます。 この場合の賃金は、一般に日給、月給、出来高給、請取り給のいずれかによって支払われます。 例) 普通作業員、世話役、重機オペレーター、鉄筋工、とび工、石工、配管工、大工、左官、電工等	直接工事に従事した労働者 → 直接工事費『労務費』 共通仮設工事に従事した労働者 → 共通仮設費『運搬費』、『準備費』、『安全費』等の該当する項目
社員等従業員	社員等従業員とは、下記の『社員』及び『社員以外の従業員』をいいます。 注) 社員等従業員であっても、直接工事の施工に従事した場合は『労働者』とし、除きます。	現場管理費 『社員等従業員給料手当』
社員	元請者、あるいは下請者が、恒常的な業務に従事させるために雇用し、そのために必要な知識・技能を有する者をいいます。 この場合の賃金支払い形態は、一般に月給制が多くなります。 例) 元請：現場代理人、監理（主任）技術者、技術員等 下請：主任技術者、現場管理を行う技術員等	
社員以外の従業員	元請者、あるいは下請者が、特定の業務、あるいは臨時の業務に従事させるために、雇用、現業員、技能員、補助員等の名称で雇用し、そのために必要な知識・技能を有する者をいいます。 雇用は必要な期間だけであり、この場合の賃金支払い形態は、一般に月給制もしくは日給制です。 例) 夜警員、倉庫番、食事係、連絡車運転手、事務員等	
交通誘導警備員	交通誘導、機械の誘導等の交通管理業務に従事する者。 例) 交通誘導警備員 A、交通誘導警備員 B	直接工事費 『労務費』
技能関係等従事者	測量、地質及び試験等の技能業務に従事する者。 例) 測量技師、試験員等	共通仮設費 『準備費』、『技術管理費』

注1) 『労働者』と『社員等従業員』は、従事内容により区別してください。

雇用上（元請・下請）の『正社員』と『非正社員』の区別ではありません。

例) 雇用上（元請・下請）の『正社員』であっても、普通作業員、重機オペレーター等として従事した場合は、『労働者』としてください。

注2) **工事の準備の測量等に要した費用及び労働者の賃金（労務単価）は、『準備費』に計上してください。**

品質管理及び出来形管理に要した費用及び労働者の賃金（労務単価）は、『技術管理費』に計上してください。

ただし、これらの業務を社員等従業員が直接実施した場合の賃金（労務単価）は、「現場管理費」の『社員等従業員給料手当』に含むものとし、これらの業務に要した賃金（労務単価）として計上しないでください。

注3) 事業主が労働者に要した費用のうち、賃金（労務単価）以外の経費は、『現場管理費』の『労務管理費』及び『法定福利費』に計上してください。

13 入力方法及び入力項目の内容

入力システムの入力方法及び各入力シートの入力項目の内容について説明します。

13-1 「開始画面」シート

入力を進めていく上での簡単な注意事項が書かれています。

整理番号を記入し、以降のシートを記入してください。

令和3年度 間接工事費等諸経費動向調査 Ver21.00 α	
整理番号	55555
※整理番号が不明な場合は元請企業に確認してください。	
注意事項 詳細は、マニュアルを参照して下さい。 このファイル(下請.xlsx)は、下請がある場合に使用します。	
1. シート上の表示 ※ : 入力箇所を表しています。 黄色のセルに入力して下さい。緑色のセルは自動で値が入ります。 E : エラーを表しています。エラーをなくすように入力して下さい。 *千円単位で入力し、千円以下は四捨五入すること。	
黄色塗りつぶし部分: 入力必要箇所 緑色塗りつぶし部分: 黄色セルの入力に伴う自動計算(入力不可) その他の部分: シートの書換等を防ぐ為、入力不可にしている。 パスワードが要求される場合の対処方法: 入力箇所が間違っているためであり、指定箇所(黄色塗りつぶし部分)に入力して下さい。	
2. 手順 入力①、②、③の順番に進みます。 ① 下請負各社に配布して下さい。 ② 下請負各社から回収し、集計して下さい。	
<pre> graph TD L1[一次下請会社] -- "①配布 ②回収・集計" --> L2[二次下請会社] L2 -- "①配布 ②回収・集計" --> L3[三次下請会社] L2 -- "①配布 ②回収・集計" --> L4[四次下請会社] L3 -- "①配布 ②回収・集計" --> L4 L4 -- "①配布 ②回収・集計" --> L5[] style L5 fill:none,stroke:none </pre>	
3. 本調査票は、令和3年度積算基準に準じております。 令和2年度以前に受注した工事は、適宜名称の読み替え等を行い、入力して下さい。	

<調査票入力に関して事実と相違する記載があった場合の調査票について>

本調査は、公共土木請負工事における諸経費率について、実態調査に基づく検討を行う目的で実施するものです。この調査票に記入された内容を他に漏らしたり、他の目的に使用することは決してありませんので、事実をありのままに記入していただくようお願いいたします。

なお、発注者からの意見等により、事実と相違する内容を記載することになった場合は、下記まで、本調査票をメールにて送付してください。発注者へ提出されたファイルと相違していても当センターで確認のうえ、処理いたします。

■事実と相違する内容の記入

具体的な内容	
工事件名	

■宛先
 一般財団法人 国土技術研究センター
 技術・調達政策グループ
 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-12-1 (ニッセイ虎ノ門ビル9階)
 メールアドレス: syokeihit10@jice.or.jp

13-2 「1_一般事項」シート

記入者、会社名を入力します。

以下の入力例を参考に、入力内容を確認して入力してください。

13-2-1 入力例（1_一般事項シート）

1_一般事項についての調査票

★工事費

黄色塗りつぶし部分: 入力必要箇所
 緑色塗りつぶし部分: 黄色セルの入力に伴う自動計算(入力不可)
 その他の部分: シートの書換等を防ぐ為、入力不可にしている。
 パスワードが要求される場合の対処方法:
 入力箇所が間違っているためであり、指定箇所(黄色塗りつぶし部分)に入力して下さい。

整 理 番 号	99999
管轄省庁	6: 日本下水道事業団
下請次数	1次下請
担当者氏名	下請 工太郎
役職名	課長
勤務先会社名	〇〇建設(株)
電話番号	1234-1111-2222

* 元請者から見た貴社の下請次数を選択してください(1次下請、2次下請等)

(例1234-1111-2222)

* 「1-2_下請入力」シートを記入することで、下記に反映されます。

2次下請会社数	1 社
---------	-----

13-2-2 入力項目（1_一般事項シート）

項 目	内 容
管轄省庁	調査対象工事の発注機関を以下から選択してください。 6: 日本下水道事業団 9: 都道府県・政令指定都市(市町村等) <u>※不明な場合は元請者に確認してください。</u>
下請次数	勤務会社の下請次数をプルダウンメニューより選択してください。
担当者氏名	入力担当者の氏名を入力してください。
役職名	入力担当者の役職名を入力してください。
勤務先会社名	入力担当者の勤務先を入力してください。
電話番号	入力担当者の勤務先電話番号を入力してください。
〇次下請会社数	〇部分は下請次数で選択した内容で変化します。 会社数は 1-2_下請入力で入力した再下請会社数が自動で反映されます。

13-3 「1-2_下請入力」シート

再下請者名及び工種（工事内容）を入力してください。

注1）再下請者がある場合のみ、入力してください。

注2）再下請者が無い場合は、入力不要です。

同様に、『2-2_社員等従業員給料等_再下請分』シートから『8_技術管理費』シートの**再下請用部分**の入力も不要です。

以下の入力例を参考に、入力内容及び入力操作方法を確認して入力してください。

13-3-1 入力例（1-2_下請入力）

1-2_下請に関する調査票

黄色塗りつぶし部分：入力必要箇所

緑色塗りつぶし部分：黄色セルの入力に伴う自動計算（入力不可）

その他の部分：シートの手書き等を防ぐ為、入力不可にしている。

パスワードが要求される場合の対処方法：

入力箇所が間違っているためであり、指定箇所（黄色塗りつぶし部分）に入力して下さい。

No	2次下請	工種	: 元請
1	●●建設(株)	土工	(株)●●建設工業

13-3-2 入力操作方法（1-2_下請入力）

注）再下請者がある場合のみです。

① 再下請の入力

下請者名および工種を入力します。

No	2次下請	工種	
1	●●建設(株)	土工	(株)●●建設工業

： 下請者名および工種を入力します。

※再下請負社は最大50社まで入力可能です。50社以上に達する場合は50社目の欄に「他○社」と記入してください。以降のシートについても残りの会社分は合算して記入してください。

13-4 「2-1_社員等従業員給料等_自社分」シート 下請者の社員等従業員給料等内訳

現場管理費中の社員等従業員給料等内訳について入力します。

自社における社員等従業員（下表参照）について入力してください。

社員等従業員	社員等従業員とは、下記の『社員』及び『社員以外の従業員』をいいます。 注）直接工事の施工に従事した『労働者』は除きます。
社員	下請者が、恒常的な業務に従事させるために雇用し、そのために必要な知識・技能を有する者をいいます。 例）下請：主任技術者、現場管理を行う技術員等
社員以外の従業員	下請者が、特定の業務、あるいは臨時の業務に従事させるために、雇用、現業員、技能員、補助員等の名称で雇用し、そのために必要な知識・技能を有する者をいいます。 例）夜警員、倉庫番、食事係、連絡車運転手、事務員等

注1）雇用上の正社員であっても、直接作業に従事する者は『労務費』に計上してください。

注2）自社において、現場管理者的業務（現場に駐在して、現場労働者の管理（帳付け）、あるいは元請会社社員との打合せ、品質管理、施工管理等の業務）に従事した者について入力してください。

注3）鋼橋等工場製作費（電気通信設備工事の場合は、機器単体費）に含まれる社員等従業員給料手当は、計上しないでください。

注4）自社において、『現場管理者的業務に従事した者』に該当する者がいない場合は、入力する必要はありません。

注5）建設業法上、主任技術者の専任を義務付けられる場合は、専任を要する全期間について計上してください。

注6）現場管理者的業務と労働者的業務を兼務している場合は、その従事した割合で按分してください。

注7）再下請者がある場合は、再下請者から回収された調査票（下請者用）の『2-1_社員等従業員給料等_自社分』シートの赤枠部分（総合計列）を『2-2_社員等従業員給料等_再下請分』に転記してください。

同時に、再下請者における社員等従業員が、適正に記入されていることを確認してください。

注8）自社の現場管理者が50人以上の場合は、50人目の入力欄に他○人と纏めて入力する必要があります。

（詳細については、後述「P. 23」の入力操作方法を参照してください。）

注9）合計金額は、『★工事費』シートの『②間接工事費（3）現場管理費 ニ 社員等従業員給料手当』の項目に自動計上されます。

以下の入力例を参考に、入力内容及び入力操作方法を確認して入力してください。

13-4-1 入力例（2-1_社員等従業員給料等_自社分シート）

下請『2-1_社員等従業員給料等_自社分』シート：例）一次下請

2-1_社員等従業員給料等_自社分 現場管理費中の社員等従業員給料等内訳書【下請】

※直接工事の施工に従事した『労働者』は除きます。

※鋼橋等工場製作費（機器単体費）に係わる社員等従業員給料は「★工事費」シートの「鋼橋等工場製作費（機器単体費）」で計上してください。

「2-1_社員等従業員給料等」の対象者：現場に駐在し、施工管理、品質管理、元請会社との打合せ、現場労働者の管理（帳簿づけ）等に従事した現場管理従事者。

ただし、現場管理業務と現場作業を兼務している場合は、その従事割合で按分し、現場管理業務の費用のみを計上してください。

「2-1_社員等従業員給料等」の対象外者：世話役、普通作業員、鉄筋工、高工、大工、電工、重機オペレータ等は、「★工事費」シートの「①直接工事費の(2)労務費等 イ労務費」に計上してください。

交通誘導警備員、機械の誘導員等は、「★工事費」シートの「①直接工事費 (2)労務費等 ロ交通誘導警備員B」に計上してください。

鋼橋等工場製作費（機器単体費）に係わる社員等従業員給料は、「★工事費」シートの「鋼橋等工場製作費（機器単体費）」に計上してください。

※元請者は一次下請調査票「2-1_社員等従業員給料等_自社分シート」の金額合計欄（赤枠）に金額を記入してください。

I. 金額の合計値		総合計		1	2	3	4	5	6	7
2,750		1次下請+2次下請	1次下請（自社分）合計	自社分	自社分	自社分	自社分	自社分	自社分	自社分
工事期間		a. 自社分		A.						
開始 令和1年 4月		b. 現場管理者名前		技術職員						
終了 令和4年 3月		c. 職 種		主任技術者						
		d. 現場管理作業上の分担		300						
		e. 平均基本給 (千円)		100						
		f. 平均時間外手当 (千円)		100						
		g. 平均その他手当 (千円)		500						
		h. 平均給料手当料 (千円)		0						
		i. 金 額 (千円)	2,750	2,750						
		j. 延 人 (下段の合計) (人/月)	5.50	5.50						
		k. 月別社員等従業員数 (人/月)		0.00						
		令和1年 4月	1.00	1.00						
		5月	0.50	0.50						
		6月	1.00	1.00						
		7月	0.00	0.00						
		8月	0.00	0.00						
		9月	0.00	0.00						
		10月	0.20	0.20						
		11月	0.30	0.30						
		12月	1.00	1.00						
		令和2年 1月	0.50	0.50						
		2月	0.00	0.00						
		3月	1.00	1.00						
		4月	0.00	0.00						
		5月	0.00	0.00						
		6月	0.00	0.00						

黄色塗りつぶし部分：入力必要箇所
 緑色塗りつぶし部分：黄色セルの入力に伴う自動計算（入力不可）
 その他の部分：シートの書換等を防ぐため、入力不可にしている。
 パスワードが要求される場合の対処方法：
 入力箇所が間違っているためであり、指定箇所（黄色塗りつぶし部分）に入力して下さい。

※青枠部分が記入箇所になります。

※入力項目の詳細については次ページ以降を参照してください。

13-4-2 入力項目 (2-1_社員等従業員給料等シート)

項 目	内 容
a. 自社分	自社分と表示されます。
b. 現場管理者氏名	現場管理従事者名を A、B、C 等の記号で入力してください。 注) 個人名は記載しないでください。
c. 職 種	『技術職員』(現場代理人、監理(主任)技術者、技術員等)、『事務職員』、または『その他』(夜警員、倉庫番、食事係、連絡車運転手等)のいずれかをプルダウンリストから選択してください。
d. 現場管理作業上の分担	現場での作業分担区分(主任技術者、職長、帳付け等)を記入してください。
e. 平均基本給	本人の 1 ヶ月当りの基本給を入力してください。 昇給があり、基本給が変わった場合は、平均をとってください。 日給月給の場合は、当該工事期間中の平均給与を入力してください。
f. 平均時間外手当	本人の 1 ヶ月当りの平均時間外手当を入力してください。 各月の金額に変化がある場合は、本人が従事した期間の平均とします。
g. 平均その他手当	本人の 1 ヶ月当りの e. 平均基本給及び f. 平均時間外手当以外の手当額(例: 賞与、役職、資格、通勤、住宅、家族など)を入力してください。 各月の金額に変化がある場合は本人が従事した期間の平均とします。 賞与は、1 ヶ月当りに換算して、『平均その他手当』に加えてください。
h. 平均給料手当料	『e.』 + 『f.』 + 『g.』 の合計額が自動算出されます。
j. 金 額	『h.』 × 『i.』 が自動算出されます。(千円以下は四捨五入)
i. 延 人 (k. 各行ごとの合計)	月別社員等従業員数の合計が自動算出されます。
m. 月別社員等従業員数	<p>工事の開始月から終了月まで、各月毎の勤務割合を記入してください。</p> <p>注 1) 1 ヶ月間、全て従事した場合を 100% とし、1.0 (人/月) とします。</p> <p>注 2) 月の途中から従事した場合は、日割りで計算してください。</p> <p>例) 対象工事に従事した日数 ÷ その月の出勤日数 = 当該勤務割合 5 日 (対象工事従事日数) ÷ 23 日 (当月出勤日数) = 0.22 (人/月) 1 日 (対象工事従事日数) ÷ 23 日 (当月出勤日数) = 0.04 (人/月)</p> <p>注 3) 他の工事と兼務している場合は、対象工事の勤務割合で按分してください。</p> <p>例) 調査対象工事に、70% 程度従事した場合: $70/100 = 0.70$ (人/月)</p> <p>注 4) 小数第 2 位までを入力してください。</p>

注) 合計金額は、『★工事費』シートの『②間接工事費 (3) 現場管理費 ニ 社員等従業員給料手当』の項目に自動計上されます。

13-4-3 入力操作方法（2-1_社員等従業員給料等シート）

①入力欄

自社の入力欄が 50 列（50 人分）表示されています。

また、期間は 132 行（132 ヶ月分）表示されています（下図はうち一部分）。

父通訪等常備員、機械の訪等員等は、「★工事費」シートの「①直接工事費（2/労務費等）」に訂正してください。
鋼橋等工場製作費（機器単体費）に係わる社員等従業員給料は、「★工事費」シートの「鋼橋等工場製作費（機器単体費）」に計上してください。

※元請者は一次下請調査票「2-1_社員等従業員給料等_自社分」シートの総合計欄（赤枠）の金額等を転記してください。

I. 金額の合計値			総合計		1	2	3	4	5	6
2,750			1次下請+2次下請	1次下請(自社分)合計	自社分	自社分	自社分	自社分	自社分	自社分
①			a. 現場管理者名前							
			b. 職種							
			c. 現場管理作業上の分担							
			d. 平均基本給 (千円)	300						
			e. 平均時間外手当 (千円)	100						
			f. 平均その他手当 (千円)	100						
			g. 平均給料手当料 (千円)	500	0	0	0	0	0	0
			h. 金額 (千円)	2,750	2,750	0	0	0	0	0
			i. 延 人 (下段の合計) (人/月)	5.50	5.50	5.50	0.00	0.00	0.00	0.00
			m. 月別社員等従業員数 (人/月)							
			令和1年 4月	1.00	1.00	1.00				
			5月	0.50	0.50	0.50				
			6月	1.00	1.00					
			7月	0.00	0.00					
			8月	0.00	0.00					
			9月	0.00	0.00	0.00				
			10月	0.20	0.20	0.20				
			11月	0.30	0.30	0.30				
			12月	1.00	1.00	1.00				
			令和2年 1月	0.50	0.50	0.50				
			2月	0.00	0.00	0.00				
			3月	1.00	1.00	1.00				

黄色塗りつぶし部分: 入力必要箇所
 緑色塗りつぶし部分: 黄色セルの入力に伴う自動計算(入力不可)
 その他の部分: シートの書換等を防ぐ為、入力不可にしている。
 パスワードが要求される場合の対処方法:
 入力箇所が開通しているため、指定箇所(黄色塗りつぶし部分)に入力して下さい。

①工期を設定してください（貴社が調査対象工事に関わった始まりから終わりまでの期間）

②自社の該当職員を 1 番の列から順に記入してください。

③b.～g. 記入後に各月の※が表示された箇所はその月の対象工事への勤務（従事）割合を 0.00 から 1.00 の間で記入してください。

13-5 「2-2_社員等従業員給料等_再下請分」シート 下請者の社員等従業員給料等内訳

再下請負者における現場管理費中の社員等従業員給料等内訳について、回収した再下請調査票『2-1_社員等従業員給料等_自社分』より転記します。

以下の例を参考に、転記してください。

13-5-1 例 (2-2_社員等従業員給料等_再下請分)

下請『2-2_社員等従業員給料等_再下請分』シート：例）一次下請

4. 社員等従業員給料等①の対外報告：「世話役、普通作業員、助防士、風上、天士、電士、里儀オペレータ等」は、「★上事費」シートの①①「直接上事費」②「労務費」③「労務費」に計上してください。
交還誘導警備員、機械の誘導員等は、「★上事費」シートの①「直接工事費」②「労務費」等 ③「交還誘導警備員、ハ文交還誘導警備員」に計上してください。
銅線等工場製作費（機器半体費）に關する社員等従業員給料は、「★上事費」シートの③「銅線等工場製作費（機器半体費）」に計上してください。

※元請者は一次下請調査票『2-1_社員等従業員給料等_自社分』シートの総合計欄(赤枠)の金額等を転記してください。

I. 金額の合計値	
	2,750

工 事 期 間	
始 め	和暦 令和1年 4月
終 り	和暦 令和4年 3月

a.	自 社 分	1次下請+2次下請	1次下請(自社分合計)	1	2	3	4	5	6
b.	現場管理者名 前			A					
c.	職 種			技術職員					
d.	現場管理作業上の分担			主任技術者					
e.	平均基本給 (千円)			300					
f.	平均時間外手当 (千円)			100					
g.	平均その他手当 (千円)			100					
h.	平均給料手当料 (千円)			500	0	0	0	0	0
j.	金 額 (千円)	2,750	2,750	2,750	0	0	0	0	0
l.	延 人 (下段の合計) (人/月)	5.50	5.50	5.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
m.	月別社員等従業員数 (人/月)								

令和1年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	1.00	0.50	1.00	0.00	0.00	0.00	0.20	0.30	1.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.20	0.30	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.30	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	1.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.50	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	1.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

黄色塗りつぶし部分：入力必要箇所

緑色塗りつぶし部分：黄色セルの入りに伴う自動計算(入力不可)

その他の部分：シートの書換等を防ぐため、入力不可にしている。

パスワードが要求される場合の対処方法：

入力箇所が間違っているためであり、指定箇所(黄色塗りつぶし部分)に入力して下さい。

再下請『2-1_社員等従業員給料等_自社分』シート：例）二次下請

交通誘導警備員、機械の誘導員等は、「★工事費」シートの「①直接工事費 (2) 労務費等 口交通誘導警備員A、口交通誘導警備員B」に計上してください。
鋼橋等工場製作費(機器単体費)に係わる社員等従業員給料は、「★工事費」シートの「鋼橋等工場製作費(機器単体費)」に計上してください。

※元請者は一次下請調査票『2-1_社員等給与_経費等_自社分』シートの総合計欄(赤枠)の金額等を転記してください。

I. 金額の合計値			総合計		1	2	3	4	5	6	7
2,750			1次下請・2次下請		自社分		自社分	自社分	自社分	自社分	自社分
a. 自社分					A						
b. 現場管理者名					技術職員						
c. 職種					主任技術者						
d. 現場管理作業上の分担											
e. 平均基本給 (千円)					300						
f. 平均時間外手当 (千円)					500		0	0	0	0	0
g. 平均その他手当 (千円)					100						
h. 平均給料手当料 (千円)					500		0	0	0	0	0
i. 金額 (千円)			2,750								
j. 延 人 (下段の合計) (人/月)			5.50		5.50		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
k. 月別社員等従業員数 (人/月)											

黄色塗りつぶし部分・入力必要箇所

緑色塗りつぶし部分・黄色セルの入力に伴う自動計算(入力不可)

その他の部分・シートの書換等を防ぐ為、入力不可にしている。

パスワードが要求される場合の対処方法。

入力箇所が間違っているためであり、指定箇所(黄色塗りつぶし部分)に入力して下さい。

令和4年	4月	1.00	1.00	1.00								
	5月	0.50	0.50	0.50								
	6月	1.00	1.00	1.00								
	7月	0.00	0.00	0.00								
	8月	0.00	0.00	0.00								
	9月	0.00	0.00	0.00								
	10月	0.20	0.20	0.20								
	11月	0.30	0.30	0.30								
	12月	1.00	1.00	1.00								
	令和24年	1月	0.50	0.50	0.50							
		2月	0.00	0.00	0.00							
		3月	1.00	1.00	1.00							

※赤枠部分を転記してください。

13-6 「3_法定福利費」シート 下請者の法定福利費内訳

本シートでは、自社及び再下請者における**法定福利費内訳について入力**してください。

注1) 調査対象工事に従事した者の各種保険料を入力してください。

注2) 各種保険料は、『調査対象工事における事業主負担額』分を入力してください。

注3) 再下請者がある場合は、再下請者から回収された調査票（下請者用）の『3_法定福利費』シートの内容（入力例の青枠内）を転記してください。

同時に、再下請者における法定福利費が、適正に記入されていることを確認してください。

注4) 該当する費目が無い場合は、『0』を入力してください。

例) 調査対象工事において、船員保険料を掛ける必要が無い場合。

注5) 各項目の合計金額は、『★工事費』シートの『②間接工事費 (3) 現場管理費 ト 法定福利費』の各項目に自動計上されます。

注6) A 労災保険料について、有期の建設事業の場合、一括して元請負人のみを適用事業主として保険関係を成立させる為、基本的に下請者の労災保険費用負担はありませんので、事業主負担額は『0』になります。ただし、以下の条件に該当する下請者は労災保険料を入力してください。

※有期の建設事業において、元請負人及び下請負人の申請により一定の事業の規模を有する下請負事業を元請事業に一括することなく分離して保険関係を成立した場合。（下請事業の概算保険料の額が160万円以上又は請負金額が1億9000万円以上になる場合であって、**元請負人と下請負人が共同で、「下請負人を事業主とする許可申請書」を提出し、政府の許可を取得した場合**）

注7) 自社において個別に加入している労災保険については、『★工事費』シートの『②間接工事費 (3) 現場管理費へ保険料』の「その他労災保険（法定外を含む）」に入力してください。

以下の入力例を参考に、入力内容及び入力操作方法を確認して入力してください。

13-6-1 入力例 (3_法定福利費シート)

下請『3_法定福利費』シート：例）一次下請

再下請『3_法定福利費』シート：

例) 二次下請

		総合計 ※転記用		自社分		2次下請会社分	
会社名				(注) ●●●建設工業		●●建設(社)	
二 種				土主			
基本情報							
1.支払いは済ませ済み(千円)		200		100		10	
2.対象者超へ人数(人)		10		5		5	
3.一人一日あたりの賃金(千円・人日)		30		20		3	
4.人力確認 (「～」は該当なしの意思)		OK		OK		OK	
7.上記入が確認欄で確認メッセージが表示される場合の理由							
A 労務費割例 ※基本表に2次下請会社登録がある場合は、							
1.専業主食総額(千円)		0		0			
2.事業の種類				入力不要→		入力不要→	
3.算出方法				入力不要→		入力不要→	
4.支払いは済ませ済み(千円)				入力不要→		入力不要→	
5.有効期限内の労働時間(千時間) 労務費割の対象となる業務負荷量				入力不要→		入力不要→	
6.労働比率(%)						入力不要→	
8.稼働率(%) [バーモント]/1000の単位です							
9.専業主食総額の自動計算値(千円)							
10.入力確認 (専業主食総額)							
支払いは済ませ済み							
7.上記入が確認欄で確認メッセージが表示される場合の理由							
B 経理費割例							
1.専業主食総額(千円)		2		1			
2.支払いは済ませ済み(千円)		200		100		10	
3.対象者超へ人数(人)		10		5		5	
4.専業主食総額の自動計算値(千円) 8.0%		2		1			
5.人力確認 (専業主食総額)		OK		OK		OK	
支払いは済ませ済み		OK		OK		OK	
対象者超へ人数		OK		OK		OK	
7.上記入が確認欄で確認メッセージが表示される場合の理由							
C 経理費割例(全労務費割会社)							
1.専業主食総額(千円)		12		8			
2.支払いは済ませ済み(千円)		200		100		10	
3.対象者超へ人数(人)		10		5		5	
4.専業主食総額の自動計算値(千円) 労務費割		5.83%		6		6	
5.専業主食総額の自動計算値(千円) 労務費割		4.93%		10		5	
6.人力確認 (専業主食総額)		OK		OK		OK	
支払いは済ませ済み		OK		OK		OK	
対象者超へ人数		OK		OK		OK	
7.上記入が確認欄で確認メッセージが表示される場合の理由							
D 両年度会計割例(両年度併用会社)							
1.専業主食総額(千円)		18		9			
2.支払いは済ませ済み(千円)		200		100		10	
3.対象者超へ人数(人)		10		5		5	
4.専業主食総額の自動計算値(千円) 労務費割		9.150%		18		9	
5.専業主食総額の自動計算値(千円) 労務費割		9.150%		18		9	
6.人力確認 (専業主食総額)		OK		OK		OK	
支払いは済ませ済み		OK		OK		OK	
対象者超へ人数		OK		OK		OK	
7.上記入が確認欄で確認メッセージが表示される場合の理由							
E 両年度労務割例等							
1.専業主食総額(千円)							
2.経理所内人数(人)							
F 役員報酬割例(全労務費割会社)							
1.専業主食総額(千円)		0		0			
2.支払いは済ませ済み(千円)		0		0		0	
3.対象者超へ人数(人)		0		0		0	
4.専業主食総額の自動計算値(千円) 労務費割		6.99%		0		0	
5.専業主食総額の自動計算値(千円) 労務費割		6.100%		0		0	
6.人力確認 (専業主食総額)		OK		OK		OK	
支払いは済ませ済み		OK		OK		OK	
対象者超へ人数		OK		OK		OK	
7.上記入が確認欄で確認メッセージが表示される場合の理由							
法定福利費合計		32		16			

会社名		総合計 ※転記用		自社分 (※●●建設工業)	
工 程				土工	
基本情報					
1.支払い(資金前額)(千円)		200		100	
施設工事で発生税額					
2.対象者延べ人数(人)		10		5	
施設工事で発生者延べ人数					
3.一人一日当たりの資金(千円/人日)		20		20	
4.入力確認 (一人一日当たりの資金)		OK		OK	
5.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される理由					
労働時間別 年度内月に労働時間800の場合が多いです。					
1.労働主負担額(千円)		0		0	
2.事業の種類				人か半室	
3.算出方法				人か半室	
4.支払い(資金合計)(千円)				人か半室	
5.施設後の工事課金負担額(千円)				人か半室	
労務費の発生率となる工事費負担額					
7.労務比率(%)					
8.保険料率(%) (a/ (b+c)) / 1000の量出す					
9.事業主負担額の自動計算額(千円)					
10.入力確認 (事業主負担額)					
(支払い(資金合計))					
10.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される理由					
8.雇用関係別					
1.労働主負担額(千円)		2		1	
2.支払い(資金合計)(千円)		200		100	
3.対象者延べ人数(人)		10		5	
4.事業主負担額の自動計算額(千円)		2		1	
労務比率		0.0%			
5.入力確認 (事業主負担額)		OK		OK	
(支払い(資金合計))		OK		OK	
(対象者延べ人数)		OK		OK	
6.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される理由					
9.職別関係別(介護関係を含む)					
1.労働主負担額(千円)		12		0	
2.支払い(資金合計)(千円)		200		100	
3.対象者延べ人数(人)		10		5	
4.事業主負担額の自動計算額(千円)		12		6	
介護職員		5.83%			
5.事業主負担額の自動計算額(千円)		10		5	
介護職員		4.93%			
6.入力確認 (事業主負担額)		OK		OK	
(支払い(資金合計))		OK		OK	
(対象者延べ人数)		OK		OK	
7.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される理由					
10.新卒年令関係別(児童手当関係を含む)					
1.労働主負担額(千円)		18		0	
2.支払い(資金合計)(千円)		200		100	
3.対象者延べ人数(人)		10		5	
4.事業主負担額の自動計算額(千円)		18		9	
児童手当		9.10%			
5.事業主負担額の自動計算額(千円)		18		9	
児童手当		9.10%			
6.入力確認 (事業主負担額)		OK		OK	
(支払い(資金合計))		OK		OK	
(対象者延べ人数)		OK		OK	
7.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される理由					
11.施設員関係別(介護を含む)					
1.労働主負担額(千円)					
2.施設配布人数(人)					
12.施設員関係別(介護関係を含む)					
1.労働主負担額(千円)		0		0	
2.支払い(資金合計)(千円)		0		0	
3.対象者延べ人数(人)		0		0	
4.事業主負担額の自動計算額(千円)		0		0	
介護職員		6.98%			
5.事業主負担額の自動計算額(千円)		0		0	
介護職員		6.10%			
6.入力確認 (事業主負担額)		OK		OK	
(支払い(資金合計))		OK		OK	
(対象者延べ人数)		OK		OK	
7.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される理由					
法定福利費合計		24		10	

赤枠内を再下請（二次下請）欄へ転記してください。

注) 破線内に下位の下請者（三次下請）の入力がある場合は、再下請（二次下請）欄に含めて転記してください。（総合計欄を転記してください）

13-6-2 入力項目（3_法定福利費シート）

項 目	内 容
会社名	<p>自社及び、再下請者の下請次数は、『1_一般事項』シートで選択した次数に応じて表示されます。</p> <p>自社の会社名は、『1_一般事項』シートで入力した会社名が表示されます。</p>
	<p>再下請会社名は、『1-2_下請入力』シートで入力した会社名が表示されます。</p>
基本情報	<p>1. 調査対象工事における『支払い賃金総額』を入力してください。</p>
	<p>2. 調査対象工事における『従事者延べ人数』を入力してください。</p>
	<p>3. 一人一日当たりの賃金の自動計算値が表示されます。</p>
	<p>4. 入力確認欄には、上記自動計算値の妥当性の判定結果が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「OK」と表示された場合は、問題ありませんので次に進んでください。 ・「確認メッセージ」が表示された場合は、入力内容を再確認してください。入力内容に誤りがない場合は、メッセージが表示された理由を記入してください。
	<p>（一人一日当たりの賃金）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「一人一日当たりの賃金が過大」と表示された場合は、『支払い賃金総額』に対して『従業者延べ人数』が少ない可能性があります。 ・「一人一日当たりの賃金が過小」と表示された場合は、『支払い賃金総額』に対して『従業者延べ人数』が多い可能性があります。入力した値を再度確認してください。
	<p>5. 上記入力確認欄で「OK」以外のメッセージが表示された場合は、メッセージが表示された理由を必ず記入してください。</p>

A 労災保険料

1. 調査対象工事における『労災保険料』を入力してください。

項 目	内 容
	<p>2. 調査対象工事の『事業の種類』を選択してください。 (表 1 事業の種類を参照) 『事業の種類』に該当する項目が無い場合は、『その他の建設業』を選択し、『10. 上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合の理由』に保険料率を入力してください。 例えば、「警備業は保険料率を〇〇‰で算出している為」等。</p>
	<p>3. 調査対象工事の労災保険料の『算出方法』を選択してください。 1: 支払い賃金合計×保険料率 もしくは、2: (工事請負金×労務比率) ×保険料率</p>
	<p>4. 上記 3. で『1: 支払い賃金合計×保険料率』を選択した場合に、調査対象工事における労災保険対象の『支払い賃金合計』を入力してください。 注) 上記 3. で『2: 工事請負金×労務比率) ×保険料率』を選択した場合は、入力の必要はありません。</p>
	<p>5. 上記 3. で『2: (工事請負金×労務比率) ×保険料率』を選択した場合に、調査対象工事における労災保険の対象となる『最終工事請負金額』を入力してください。 注) 上記 3. で『1: 支払い賃金合計×保険料率』を選択した場合は、入力の必要はありません。</p>
	<p>6. 調査対象工事における『労務比率 (%)』が表示されます。</p>
	<p>7. 調査対象工事における『労災保険料率 (‰)』が表示されます。</p>
	<p>8. 調査対象工事における労災保険料の『事業主負担額』の自動計算値が表示されます。</p>
	<p>9. 入力確認欄には、上記自動計算値が表示されます。 ・「OK」と表示された場合は、問題ありません。 ・「確認メッセージ」が表示された場合は、入力内容を再確認してください。入力内容に誤りがない場合は、メッセージが表示された理由を記入してください。</p>
	<p>(事業主負担額) ・事業主負担額の入力値が『0』または入力値と自動計算結果の乖離が大きい場合にメッセージが表示されます。『1. 事業主負担額』を再度確認してください。</p>
	<p>(支払い賃金合計) ・3. 算出方法で『1: 支払い賃金合計×保険料率』を選択した場合に有効となります。 ・基本情報で入力した『支払い賃金総額』と本項で入力した『4. 支払い賃金合計額』が異なる場合にメッセージが表示されます。入力した金額を再度確認してください。</p>
	<p>10. 上記入力確認欄で「OK」以外のメッセージが表示された場合は、メッセージが表示された理由を必ず記入してください。</p>

B 雇用保険料

1. 調査対象工事における『直僱及び日雇労働者雇用保険料事業主負担額』及び『現場従業員雇用保険料事業主負担額』を入力してください。

項 目	内 容
	2. 調査対象工事における雇用保険対象の『支払い賃金合計』を入力してください。
	3. 調査対象工事における雇用保険対象の『対象者延べ人数』を入力してください。
	4. 調査対象工事における雇用保険料の『事業主負担額』の自動計算値が表示されます。
	5. 入力確認欄には、上記自動計算値が表示されます。 ・「OK」と表示された場合は、問題ありません。 ・「確認メッセージ」が表示された場合は、入力内容を再確認してください。入力内容に誤りがない場合は、メッセージが表示された理由を記入してください。
	(事業主負担額) ・事業主負担額の入力値が『0』または入力値と自動計算結果の乖離が大きい場合にメッセージが表示されます。『1. 事業主負担額』を再度確認してください。
	(支払い賃金合計) ・基本情報で入力した『支払い賃金総額』と本項で入力した『2. 支払い賃金合計額』が異なる場合にメッセージが表示されます。入力した金額を再度確認してください。
	(対象延べ人数) ・基本情報で入力した『従事者延べ人数』と本項で入力した『3. 対象者延べ人数』が異なる場合にメッセージが表示されます。入力した人数を再度確認してください。
	6. 上記入力確認欄で「OK」以外のメッセージが表示された場合は、 メッセージが表示された理由を必ず記入 してください。

C 健康保険料
(介護保険料含む)

1. 調査対象工事における現場従業員健康保険料(介護保険料含む)の『事業主負担額』を入力してください。
2. 調査対象工事における健康保険対象の『支払い賃金合計』を入力して

項 目	内 容										
	<p>ください。</p> <p>3. 調査対象工事における健康保険対象の『対象者延べ人数』を入力してください。</p> <p>4. 調査対象工事における介護保険料を含む『事業主負担額』の自動計算値が表示されます。</p> <p>5. 調査対象工事における介護保険料を含まない『事業主負担額』の自動計算値が表示されます。</p> <p>6. 入力確認欄には、上記自動計算値が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「OK」と表示された場合は、問題ありません。 ・「確認メッセージ」が表示された場合は、入力内容を再確認してください。入力内容に誤りがない場合は、メッセージが表示された理由を記入してください。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"> <p>(事業主負担額)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業主負担額の入力値が『0』または入力値と自動計算結果の乖離が大きい場合にメッセージが表示されます。『1. 事業主負担額』を再度確認してください。 </td></tr> <tr> <td colspan="2"> <p>(支払い賃金合計)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本情報で入力した『支払い賃金総額』と、C 健康保険料およびF 船員保険料の支払い賃金『合計額』が異なる場合にメッセージが表示されます。入力した金額を再度確認してください。 </td></tr> <tr> <td colspan="2"> <p>(対象延べ人数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本情報で入力した『従事者延べ人数』と、C 健康保険料およびF 船員保険料の対象者延べ人数の『合計』が異なる場合にメッセージが表示されます。入力した人数を再度確認してください。 <p>(理由入力例)</p> <table border="1"> <tr> <td>(対象者延べ人数)</td><td>C.3対象者延べ人数(健康保険)「1000」とF.3対象者延べ人数(船員保険)「500」の合計が基本情報の従事者延べ人数「2000」と整合していません。入力値を確認してください。</td></tr> <tr> <td>7.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合の理由</td><td>延べ人数2000人中500人分は、国民健康保険に加入しており、事業主負担の適用外となるため。</td></tr> </table> </td></tr> </table> <p>7. 上記入力確認欄で「OK」以外のメッセージが表示された場合は、メッセージが表示された理由を必ず記入してください。</p>	<p>(事業主負担額)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業主負担額の入力値が『0』または入力値と自動計算結果の乖離が大きい場合にメッセージが表示されます。『1. 事業主負担額』を再度確認してください。 		<p>(支払い賃金合計)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本情報で入力した『支払い賃金総額』と、C 健康保険料およびF 船員保険料の支払い賃金『合計額』が異なる場合にメッセージが表示されます。入力した金額を再度確認してください。 		<p>(対象延べ人数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本情報で入力した『従事者延べ人数』と、C 健康保険料およびF 船員保険料の対象者延べ人数の『合計』が異なる場合にメッセージが表示されます。入力した人数を再度確認してください。 <p>(理由入力例)</p> <table border="1"> <tr> <td>(対象者延べ人数)</td><td>C.3対象者延べ人数(健康保険)「1000」とF.3対象者延べ人数(船員保険)「500」の合計が基本情報の従事者延べ人数「2000」と整合していません。入力値を確認してください。</td></tr> <tr> <td>7.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合の理由</td><td>延べ人数2000人中500人分は、国民健康保険に加入しており、事業主負担の適用外となるため。</td></tr> </table>		(対象者延べ人数)	C.3対象者延べ人数(健康保険)「1000」とF.3対象者延べ人数(船員保険)「500」の合計が基本情報の従事者延べ人数「2000」と整合していません。入力値を確認してください。	7.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合の理由	延べ人数2000人中500人分は、国民健康保険に加入しており、事業主負担の適用外となるため。
<p>(事業主負担額)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業主負担額の入力値が『0』または入力値と自動計算結果の乖離が大きい場合にメッセージが表示されます。『1. 事業主負担額』を再度確認してください。 											
<p>(支払い賃金合計)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本情報で入力した『支払い賃金総額』と、C 健康保険料およびF 船員保険料の支払い賃金『合計額』が異なる場合にメッセージが表示されます。入力した金額を再度確認してください。 											
<p>(対象延べ人数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本情報で入力した『従事者延べ人数』と、C 健康保険料およびF 船員保険料の対象者延べ人数の『合計』が異なる場合にメッセージが表示されます。入力した人数を再度確認してください。 <p>(理由入力例)</p> <table border="1"> <tr> <td>(対象者延べ人数)</td><td>C.3対象者延べ人数(健康保険)「1000」とF.3対象者延べ人数(船員保険)「500」の合計が基本情報の従事者延べ人数「2000」と整合していません。入力値を確認してください。</td></tr> <tr> <td>7.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合の理由</td><td>延べ人数2000人中500人分は、国民健康保険に加入しており、事業主負担の適用外となるため。</td></tr> </table>		(対象者延べ人数)	C.3対象者延べ人数(健康保険)「1000」とF.3対象者延べ人数(船員保険)「500」の合計が基本情報の従事者延べ人数「2000」と整合していません。入力値を確認してください。	7.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合の理由	延べ人数2000人中500人分は、国民健康保険に加入しており、事業主負担の適用外となるため。						
(対象者延べ人数)	C.3対象者延べ人数(健康保険)「1000」とF.3対象者延べ人数(船員保険)「500」の合計が基本情報の従事者延べ人数「2000」と整合していません。入力値を確認してください。										
7.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合の理由	延べ人数2000人中500人分は、国民健康保険に加入しており、事業主負担の適用外となるため。										

D 厚生年金保険料
(児童手当拠出金含む)

1. 調査対象工事における現場従業員厚生年金保険料の『事業主負担額』を入力してください。
2. 調査対象工事における厚生年金保険料対象の『支払い賃金合計』を入

項 目	内 容
	<p>力してください。</p> <p>3. 調査対象工事における厚生年金保険料対象の『対象者延べ人数』を入力してください。</p> <p>4. 調査対象工事における<u>坑内員、船員</u>の厚生年金保険料の『事業主負担額』の自動計算値が表示されます。</p> <p>5. 調査対象工事における<u>一般作業員</u>の厚生年金保険料の『事業主負担額』の自動計算値が表示されます。</p> <p>6. 入力確認欄には、上記自動計算値が表示されます。 ・「OK」と表示された場合は、問題ありません。 ・「確認メッセージ」が表示された場合は、入力内容を再確認してください。入力内容に誤りがない場合は、メッセージが表示された理由を記入してください。</p> <div> <p>(事業主負担額)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業主負担額の入力値が『0』または入力値と自動計算結果の乖離が大きい場合にメッセージが表示されます。『1. 事業主負担額』を再度確認してください。 </div> <div> <p>(支払い賃金合計)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本情報で入力した『支払い賃金総額』と、C 健康保険料およびF 船員保険料の支払い賃金『合計額』が異なる場合にメッセージが表示されます。入力した金額を再度確認してください。 </div> <div> <p>(対象延べ人数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本情報で入力した『従事者延べ人数』と本項で入力した『3. 対象者延べ人数』が異なる場合にメッセージが表示されます。入力した人数を再度確認してください。 </div> <p>7. 上記入力確認欄で「OK」以外のメッセージが表示された場合は、メッセージが表示された理由を必ず記入してください。</p>
E 建退共制度掛金等	入力不要の項目です。

F 船員保険料 (介護保険料含む)	<p>1. 調査対象工事における船員保険料（介護保険料含む）の『事業主負担額』を入力してください。</p> <p>2. 調査対象工事における船員保険料対象の『支払い賃金合計』を入力し</p>
----------------------	---

項 目	内 容
	てください。
	3. 調査対象工事における船員保険料対象の『対象者延べ人数』を入力してください。
	4. 調査対象工事における介護保険料を含む『事業主負担額』の自動計算値が表示されます。
	5. 調査対象工事における介護保険料を含まない『事業主負担額』の自動計算値が表示されます。
	6. 入力確認欄には、上記自動計算値が表示されます。 ・「OK」と表示された場合は、問題ありません。 ・「確認メッセージ」が表示された場合は、入力内容を再確認してください。入力内容に誤りがない場合は、メッセージが表示された理由を記入してください。
	(事業主負担額) ・事業主負担額の入力値が『0』または入力値と自動計算結果の乖離が大きい場合にメッセージが表示されます。『1. 事業主負担額』を再度確認してください。
	(支払い賃金合計) ・基本情報で入力した『支払い賃金総額』と、F 船員保険料およびC 健康保険料の支払い賃金『合計額』が異なる場合にメッセージが表示されます。入力した金額を再度確認してください。
	(対象延べ人数) ・基本情報で入力した『従事者延べ人数』と、F 船員保険料およびC 健康保険料の対象者延べ人数の『合計』が異なる場合にメッセージが表示されます。入力した人数を再度確認してください。
	7. 上記入力確認欄で「OK」以外のメッセージが表示された場合は、 メッセージが表示された理由を必ず記入 してください。
計	「A～F」までの合計額が自動算出されます。

注 1) 法定保険料の算定式は、目安です。

法定保険料の入力に際しては、調査対象工事において実際に要した法定保険料（事業主負担額）を入力してください。

注 2) 法定保険料を年払いで処理している場合は、下記の式により算出して入力しても構いません。

入力する法定保険料＝年間支払い金額×（当該現場請負金額／年間売上高金額）

注 3) 厚生年金上乘せ給付分（厚生年金基金、個人事業主の国民年金基金等）がある場合は、『②間接工事費 (3) 現場管理費 チ 福利厚生費』（P. 82 参照）に計上してください。

注 4) 個人事業主の場合について

①労災保険（特別加入）は、『A 労災保険料』に計上してください。

②国民健康保険料は、『C 健康保険料（介護保険料含む）』に計上してください。

③国民年金は、『D 厚生年金保険料（児童手当拠出金含む）』に計上してください

注 5) 労災保険で還付金がある場合は、差し引いてください。

注 6) 各項目の合計金額は、『★工事費』シートの『②間接工事費 (3) 現場管理費 ト 法定福利費』の各項目に自動計上されます。

表 1 事業の種類

事業の種類
水力発電施設、ずい道等新設事業
道路新設事業
舗装工事業
鉄道又は軌道新設事業
建築事業(既設建築物設備工事業を除く)
既設建築物設備工事業
機械装置の組立て又は据付けの事業 (組立て又は取付けに関するもの)
機械装置の組立て又は据付けの事業(その他のもの)
その他の建設事業

13-7 「4_労務管理費」シート 下請者の労務管理費内訳

自社及び再下請者における**現場管理費中の労務管理費内訳について入力します。**

注1) 賃金（労務単価）以外に、現場労働者に係る費用の内訳を入力してください。

注2) 再下請者がある場合は、再下請者から回収された調査票（下請者用）の『4_労務管理費』シートの内容（入力例の青枠内）を転記してください。

同時に、再下請者における労務管理費が、適正に記入されていることを確認してください。

注3) 自社及び再下請者において該当する費目が無い場合は、『0』を入力してください。

注4) 合計金額は、『★工事費』シートの『②間接工事費 (3) 現場管理費 イ 労務管理費』の項目に自動計上されます。

以下の入力例を参考に、入力内容及び入力操作方法を確認して入力してください。

13-7-1 入力例（4_労務管理費シート）

下請『4_労務管理費』シート：例）一次下請

4. 労務管理費_下請 現場管理費中の労務管理費【下請】

黄色塗りつぶし部分：入力必要箇所

緑色塗りつぶし部分：黄色セルの入力に伴う自動計算（入力不可）

その他の部分：シートの書換等を防ぐ為、入力不可にしている。

パスワードが要求される場合の対処方法：

入力箇所が間違っているためであり、指定箇所（黄色塗りつぶし部分）に入力して下さい。

現場労働者にかかわる労務管理費（a～e）について入力してください。（該当する費用がない場合は、「0」を入力してください）

（注1）「左列」に自社分（1次下請業者）を記入し、「右列」に2次下請業者が作成した「4_労務管理費」シートの「総合計」欄を記入し、（注2）3次下請業者がある場合には、右列に2次と3次の合計した労務管理費を2次下請費用として記入してください。

f.金額の合計値		金額単位：千円		自社分									
30		現場労働者にかかわる		総合計 ※転記用		1次 下請者名 (株)●●建設 工業		2次 下請者名 ●●建設(株)		2次 下請者名		2次 下請者名	
費用		内容											
a. 募集・解散費		労働者の赴任手当 労働者の帰省旅費 労働者の解散手当		10		0		10				3	
b. 慰安・娯楽・厚生費		労働者の慰安旅行費 労働者の慰安会費用 労働者の慶弔金		0		0		0				4	
c. 作業被服費		作業用具、作業服の費用（但し、工事費に含めている場合は除く）		20		20		0					
d. 賃金以外の食事、通勤等に要する費用		労働者の食事補助、交通費の支給 ＊マイクロバス等の送迎は、共通仮設費の営繕費(労働者送迎費)に記入		0		0		0					
e. 災害時負担費用		労働者の看護費、見舞金 ＊労災保険等に給付以外の費用		0		0		0					
当該工事労務管理費		a+b+c+d+e		30		20		10		0		0	

青枠内を再下請（二次下請）欄へ転記してください。

注）破線内に下位の下請者（三次下請）の入力がある場合は、再下請（二次下請）欄に含めて転記してください。（総合計欄を転記してください）

再下請『4_労務管理費』シート：例）二次下請

4. 労務管理費_下請 現場管理費中の労務管理費【下請】

黄色塗りつぶし部分：入力必要箇所

緑色塗りつぶし部分：黄色セルの入力に伴う自動計算（入力不可）

その他の部分：シートの書換等を防ぐ為、入力不可にしている。

パスワードが要求される場合の対処方法：

入力箇所が間違っているためであり、指定箇所（黄色塗りつぶし部分）に入力して下さい。

現場労働者にかかわる労務管理費（a～e）について入力してください。（該当する費用がない場合は、「0」を入力してください）

（注1）「左列」に自社分（2次下請業者）を記入し、「右列」に3次下請業者が作成した「4_労務管理費」シートの「総合計」欄を記入し、（注2）4次下請業者がある場合には、右列に3次と4次の合計した労務管理費を3次下請費用として記入してください。

f.金額の合計値		金額単位: 千円		自社分									
10		現場労働者にかかわる		総合計		2次		3次		3次		3次	
				※転記用		下請者名		下請者名		下請者名		下請者名	
費用		内容				●●建設(株)		1 (有)●●工業		2		3	
a. 募集・解散費		労働者の赴任手当 労働者の帰省旅費 労働者の解散手当		10		5		5					
b. 慰安・娯楽・厚生費		労働者の慰安旅行費 労働者の慰安会費用 労働者の慶弔金		0		0		0					
c. 作業被服費		作業用具、作業服の費用 (但し、工事費に含めている場合は除く)		0		0		0					
d. 賃金以外の食事、通勤等に要する費用		労働者の食事補助、交通費の支給 * マイクロバス等の送迎は、共通仮設費の営繕費(労働者送迎費)に記入		0		0		0					
e. 災害時負担費用		労働者の看護費、見舞金 * 労災保険等に給付以外の費用		0		0		0					
当該工事労務管理費		a+b+c+d+e		10		5		5		0		0	

13-7-2 入力項目（4_労務管理費シート）

項 目	内 容
会社名	<p>自社及び、再下請者の下請次数は、『1_一般事項』シートで選択した次数が表示されます。</p> <p>自社の会社名は、『1_一般事項』シートで入力した会社名が表示されます。</p> <p>再下請会社名は、『1-2_下請入力』シートで入力した会社名が表示されます。</p>
a. 募集・解散費	調査対象工事における労働者の『赴任手当』、『帰省旅費』及び『解散手当』の合計額を入力してください。
b. 慰安・娯楽・厚生費	調査対象工事における労働者の『慰安旅行費』、『慰安会費用』及び『慶弔金』の合計額を入力してください。
c. 作業被服費	<p>調査対象工事における労働者の『作業用具の費用』及び『作業服の費用』の合計額を入力してください。</p> <p>注) 直接工事費及び共通仮設費に含まれない『作業用具』及び『作業用被服』の費用を計上してください。</p>
d. 賃金以外の食事、通勤時に要する費用	<p>調査対象工事における労働者の『早出、残業時の食事費(事業主負担分)』、『食事補助費』及び『支給した交通費』の合計額を入力してください。</p> <p>注) マイクロバス等の送迎費用は、『②間接工事費(1) 共通仮設費 ト 営繕費 D 労働者送迎費』に計上してください。</p>
e. 災害時負担費用	<p>調査対象工事における労働者の『看護費』及び『見舞金』等の合計額を入力してください。</p> <p>注) 労災保険等による給付以外の災害時に事業主が負担した費用を計上してください。</p>
当該工事労務管理費 : a+b+c+d+e	「a～e」までの合計額が自動算出されます。

注) 合計金額は、『★工事費』シートの『②間接工事費(3) 現場管理費 イ 労務管理費』の項目に自動計上されます。

13-8 「5-1_機器材運搬費」シート 下請者の機器材の運搬費内訳

自社及び再下請者における**運搬費（機器材等の搬入、搬出並びに現場内小運搬の費用）**内訳について入力します。

- 注1) 工事施工に必要な機器材等の搬入、搬出並びに現場内小運搬に要した費用を入力してください。
- 注2) 再下請者がある場合は、再下請者から回収された調査票（下請者用）の『5-1_機器材運搬費』シートの内容（入力例の青枠内）を転記してください。
同時に、再下請者における運搬費（機器材等の搬入、搬出並びに現場内小運搬の費用）が、適正に記入されていることを確認してください。
- 注3) 自社及び再下請者において該当する費目が無い場合は、『0』を入力してください。
- 注4) 合計金額は、『★工事費』シートの『②間接工事費（1）共通仮設費 イ 運搬費 A 機器材』の項目に自動計上されます。

以下の入力例を参考に、入力内容及び入力操作方法を確認して入力してください。

13-8-1 入力例（5-1_機器材運搬費シート）

下請『5-1_機器材運搬費』シート：例）一次下請

項目	内容	総合計 ※転記用	1次 下請者名		2次 下請者名		2次 下請者名	
			(株)●●建設 工業	1	●●建設(株)	2	下請者名	下請者名
1) 仮設材①	型枠材、足場材、支保材（パイプサポート支保、枠組支保（くさび結合支保））、仮囲い、橋梁架設に使用する枠組支保材（くさび結合支保工）	0	0	0	0	0		
2) 仮設材②	鋼矢板、H形鋼、覆工板等	150	100	0	50	0		
3) 仮設材③	排砂管、トレミー管等	0	0	0	0	0		
4) 敷鉄板①	粉体噴射攪拌工足場材（敷鉄板）、スラリー攪拌工足場材（敷鉄板）、橋梁架設イベント基礎（敷鉄板）等	0	0	0	0	0		
5) 敷鉄板②	建設機械・架設に直接関わらない、軟弱地盤上で使用する仮運用の敷鉄板	0	0	0	0	0		
6) 敷鉄板③	「敷鉄板①・敷鉄板②」以外で発生した敷鉄板	0	0	0	0	0		
7) 敷鉄板④	発注者が積上げ計上としている敷鉄板 例：発注者が敷鉄板設置撤去等で積上げた敷鉄板	0	0	0	0	0		
8) 橋梁等架設支保工	基礎用鋼板鋼矢板、支柱支保材、支柱受け台H形鋼等 架設支保基礎用の鋼矢板及びH形鋼	0	0	0	0	0		
9) 橋梁用架設タワー等	PC構片持ち架設工（作業車）、橋梁ベント、鋼構架設ケーブルクレーン設備（鉄塔等）、鋼構架設ケーブルエレクション設備（鉄塔等）、その他架設用タワー等。	0	0	0	0	0		
10) 橋梁用架設桁設備	架設桁、手延機、桁吊装置、降下設備、軌条等	0	0	0	0	0		
11) 積み込み取り卸し費	「2)仮設材②」の項目、「7)敷鉄板④」の項目及び「8)橋梁等架設支保工」の基礎用鋼矢板又はH形鋼の積み込み取り卸費	0	0	0	0	0		
12) トンネル用スライドセントル	トンネル用スライドセントルに要した費用	0	0	0	0	0		
13) コンクリートダム堤体工における雑運搬	コンクリートダム堤体打設現場へ資機材（仕上げ掘削すり、埋設工材料、型枠工材料、グリーンカット発生材、機坑閉塞関連及び使用機器類）等を搬入・搬出するために要したクレーン運転に要する費用	0	0	0	0	0		
21) その他①	上記「1）～13）」以外で発注者が積上げ計上している費用	0	0	0	0	0		
	具体的内容	0	0	0	0	0		
31) その他②	上記「1）～21）」以外で要した費用	0	0	0	0	0		
	具体的内容	0	0	0	0	0		
合計		150	100	0	50	0		

青枠内を再下請（二次下請）欄へ転記してください。

注）破線内に下位の下請者（三次下請）の入力がある場合は、再下請（二次下請）欄に含めて転記してください。（総合計欄を転記してください）

再下請『5-1_機器材運搬費』シート：例）二次下請

項目	内容	総合計 ※転記用	2次 下請者名		3次 下請者名		3次 下請者名	
			(株)●●建設 工業	1	●●建設(株)	2	下請者名	下請者名
1) 仮設材①	型枠材、足場材、支保材（パイプサポート支保、枠組支保（くさび結合支保））、仮囲い、橋梁架設に使用する枠組支保材（くさび結合支保工）	0	0	0	0	0		
2) 仮設材②	鋼矢板、H形鋼、覆工板等	150	100	50	0	0		
3) 仮設材③	排砂管、トレミー管等	0	0	0	0	0		
4) 敷鉄板①	粉体噴射攪拌工足場材（敷鉄板）、スラリー攪拌工足場材（敷鉄板）、橋梁架設イベント基礎（敷鉄板）等	0	0	0	0	0		
5) 敷鉄板②	建設機械・架設に直接関わらない、軟弱地盤上で使用する仮運用の敷鉄板	0	0	0	0	0		
6) 敷鉄板③	「敷鉄板①・敷鉄板②」以外で発生した敷鉄板	0	0	0	0	0		
7) 敷鉄板④	発注者が積上げ計上としている敷鉄板 例：発注者が敷鉄板設置撤去等で積上げた敷鉄板	0	0	0	0	0		
8) 橋梁等架設支保工	基礎用鋼板鋼矢板、支柱支保材、支柱受け台H形鋼等 架設支保基礎用の鋼矢板及びH形鋼	0	0	0	0	0		
9) 橋梁用架設タワー等	PC構片持ち架設工（作業車）、橋梁ベント、鋼構架設ケーブルクレーン設備（鉄塔等）、鋼構架設ケーブルエレクション設備（鉄塔等）、その他架設用タワー等。	0	0	0	0	0		
10) 橋梁用架設桁設備	架設桁、手延機、桁吊装置、降下設備、軌条等	0	0	0	0	0		
11) 積み込み取り卸し費	「2)仮設材②」の項目、「7)敷鉄板④」の項目及び「8)橋梁等架設支保工」の基礎用鋼矢板又はH形鋼の積み込み取り卸費	0	0	0	0	0		
12) トンネル用スライドセントル	トンネル用スライドセントルに要した費用	0	0	0	0	0		
13) コンクリートダム堤体工における雑運搬	コンクリートダム堤体打設現場へ資機材（仕上げ掘削すり、埋設工材料、型枠工材料、グリーンカット発生材、機坑閉塞関連及び使用機器類）等を搬入・搬出するために要したクレーン運転に要する費用	0	0	0	0	0		
21) その他①	上記「1）～13）」以外で発注者が積上げ計上している費用	0	0	0	0	0		
	具体的内容	0	0	0	0	0		
31) その他②	上記「1）～21）」以外で要した費用	0	0	0	0	0		
	具体的内容	0	0	0	0	0		
合計		150	100	50	0	0		

項目	内容	総合計 ※転記用	2次 下請者名		3次 下請者名		3次 下請者名	
			(株)●●建設 工業	1	●●建設(株)	2	下請者名	下請者名
1) 仮設材①	型枠材、足場材、支保材（パイプサポート支保、枠組支保（くさび結合支保））、仮囲い、橋梁架設に使用する枠組支保材（くさび結合支保工）	0	0	0	0	0		
2) 仮設材②	鋼矢板、H形鋼、覆工板等	150	100	50	0	0		
3) 仮設材③	排砂管、トレミー管等	0	0	0	0	0		
4) 敷鉄板①	粉体噴射攪拌工足場材（敷鉄板）、スラリー攪拌工足場材（敷鉄板）、橋梁架設イベント基礎（敷鉄板）等	0	0	0	0	0		
5) 敷鉄板②	建設機械・架設に直接関わらない、軟弱地盤上で使用する仮運用の敷鉄板	0	0	0	0	0		
6) 敷鉄板③	「敷鉄板①・敷鉄板②」以外で発生した敷鉄板	0	0	0	0	0		
7) 敷鉄板④	発注者が積上げ計上としている敷鉄板 例：発注者が敷鉄板設置撤去等で積上げた敷鉄板	0	0	0	0	0		
8) 橋梁等架設支保工	基礎用鋼板鋼矢板、支柱支保材、支柱受け台H形鋼等 架設支保基礎用の鋼矢板及びH形鋼	0	0	0	0	0		
9) 橋梁用架設タワー等	PC構片持ち架設工（作業車）、橋梁ベント、鋼構架設ケーブルクレーン設備（鉄塔等）、鋼構架設ケーブルエレクション設備（鉄塔等）、その他架設用タワー等。	0	0	0	0	0		
10) 橋梁用架設桁設備	架設桁、手延機、桁吊装置、降下設備、軌条等	0	0	0	0	0		
11) 積み込み取り卸し費	「2)仮設材②」の項目、「7)敷鉄板④」の項目及び「8)橋梁等架設支保工」の基礎用鋼矢板又はH形鋼の積み込み取り卸費	0	0	0	0	0		
12) トンネル用スライドセントル	トンネル用スライドセントルに要した費用	0	0	0	0	0		
13) コンクリートダム堤体工における雑運搬	コンクリートダム堤体打設現場へ資機材（仕上げ掘削すり、埋設工材料、型枠工材料、グリーンカット発生材、機坑閉塞関連及び使用機器類）等を搬入・搬出するために要したクレーン運転に要する費用	0	0	0	0	0		
21) その他①	上記「1）～13）」以外で発注者が積上げ計上している費用	0	0	0	0	0		
	具体的内容	0	0	0	0	0		
31) その他②	上記「1）～21）」以外で要した費用	0	0	0	0	0		
	具体的内容	0	0	0	0	0		
合計		150	100	50	0	0		

13-8-2 入力項目 (5-1_機器材運搬費シート)

項 目	内 容
会社名	<p>自社及び再下請者の下請次数は、自動に表示されます。</p> <p>自社の会社名は、『1_一般事項』シートで入力した会社名が表示されます。</p> <p>再下請者の会社名は『1-2_下請入力』シートで入力した会社名が表示されます。</p>
1) 仮設材①	<p>型枠材、足場材、支保材（パイプサポート支保、枠組支保（くさび結合支保））、仮囲いの搬入、仮設材の搬入、搬出並びに現場内小運搬に要した費用の合計額を入力してください。（積み込み取り卸し費を含む）</p> <p>注）橋梁架設に使用する枠組支保材（くさび結合支保工）の搬入、搬出並びに現場内小運搬に要した費用は、本項目に計上してください。</p>
2) 仮設材②	鋼矢板、H形鋼、覆工板等の搬入、搬出並びに現場内小運搬に要した費用の合計額を入力してください。
3) 仮設材③	排砂管、トレミー管等の搬入、搬出並びに現場内小運搬に要した費用の合計額を入力してください。（積み込み取り卸し費を含む）
4) 敷鉄板①	粉体噴射攪拌工足場材（敷鉄板）、スラリー攪拌工足場材（敷鉄板）、橋梁架設工ベント基礎（敷鉄板）等の搬入、搬出並びに現場内小運搬に要した費用の合計額を入力してください。（積み込み取り卸し費を含む）
5) 敷鉄板②	建設機械・架設に直接関わらない、軟弱地盤上で使用する仮道用の敷鉄板の搬入、搬出並びに現場内小運搬に要した費用の合計額を入力してください。（積み込み取り卸し費を含む）
6) 敷鉄板③	『4) 敷鉄板①』及び『5) 敷鉄板②』以外で発生した敷鉄板の搬入、搬出並びに現場内小運搬に要した費用の合計額を入力してください。（積み込み取り卸し費を含む）
7) 敷鉄板④	<p>発注者が積上げ分として計上している敷鉄板の搬入、搬出並びに現場内小運搬に要した費用の合計額を入力してください。</p> <p>例）発注者が敷鉄板設置・撤去工等で積上げた敷鉄板</p>
8) 橋梁等架設支保工	<p>基礎用鋼板鋼矢板、支柱支保材、支柱受け台H形鋼等の搬入、搬出並びに現場内小運搬に要した費用の合計額を入力してください。（積み込み取り卸し費を含む）</p> <p>注）架設支保基礎用の鋼矢板及びH形鋼の搬入、搬出並びに現場内小運搬に要した費用は、本項目に計上してください。</p>
9) 橋梁用架設タワー等	PC橋片持ち架設工（作業車）、橋梁ベント、鋼橋架設工ケーブルクレーン設備（鉄塔等）、鋼橋架設工ケーブルエレクション設備（鉄塔等）、その他架設用タワーの搬入、搬出並びに現場内小運搬に要した費用の合計額を入力してください。（積み込み取り卸し費を含む）
10) 橋梁用架設桁設備	架設桁、手延機、桁吊装置、降下設備、軌条等の搬入、搬出並びに現場内小運搬に要した費用の合計額を入力してください。（積み込み取り卸し費を含む）
11) 積み込み取り卸し費	『2) 仮設材②の鋼矢板、H形鋼、覆工板等』、『7) 敷鉄板④の敷鉄板』及び『8) 橋梁等架設支保工の基礎用鋼矢板、またはH形鋼』の積み込み取り卸しに要した費用の合計額を入力してください。

下水

項 目	内 容
12) トンネル用スライド セントル	トンネル用スライドセントルの搬入、搬出並びに現場内小運搬に要した費用の合計額を入力してください。(積み込み取り卸し費を含む)
21) その他①	上記「1～13)」以外の機器材の搬入、搬出並びに現場内小運搬に要した費用の合計額を入力してください。 注) 発注者が積上げ分として計上としている費用を入力してください。
31) その他②	上記「1～21)」以外で要した費用例) ダンプカー用泥落とし
合計	「1) ～31)」の合計額が自動算出されます。

注) 合計金額は、『★工事費』シートの『②間接工事費 (1) 共通仮設費 イ 運搬費 A 機器材』の項目に自動計上されます。

13-9 「5-2_建設機械Ⅰ・Ⅱ」シート 下請者の建設機械Ⅰ・Ⅱの運搬費内訳

自社及び再下請者における**運搬費（建設機械Ⅰ・Ⅱの運搬に係る費用）**内訳について入力します。

注1）工事施工に必要な『建設機械Ⅰ・Ⅱ』の運搬に要した費用を入力してください。

『建設機械Ⅰ・Ⅱ』とは、運搬する建設機械の大きさ、種類、または運搬方法により、**入力項目を分類したものです。**

後述の入力内容を参照し、対象となる入力項目に注意して入力してください。

注2）該当する費用が無い場合は、入力する必要はありません。

次の入力シートへ進んでください。

注3）再下請者がある場合は、再下請者から回収された調査票（下請者用）の『5-2_建設機械Ⅰ・Ⅱ』シートの内容（P.48 再下請の転記方法の青枠内）を転記してください。

同時に、再下請者における運搬費（建設機械Ⅰの運搬に係る費用）が、適正に記入されていることを確認してください。

注4）自社及び再下請者において該当する費目が無い場合は、『0』を入力してください。

注5）合計金額は、『★工事費』シートの『②間接工事費（1）共通仮設費 イ 運搬費 B 建設機械Ⅰ、C 建設機械Ⅱ』の項目に自動計上されます。

以下の入力例を参考に、入力内容及び入力操作方法を確認して入力してください。

13-9-1 入力例 (5-2_建設機械Ⅰ・Ⅱシート)

下請『5-2_建設機械Ⅰ・Ⅱ』シート：例）一次下請

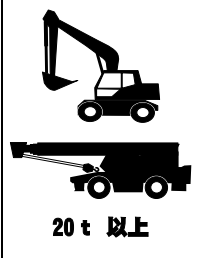
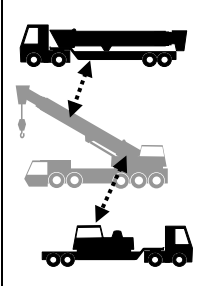
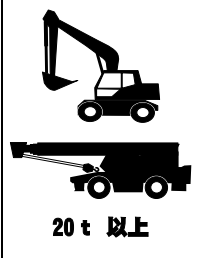
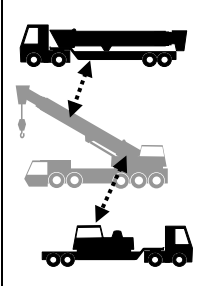
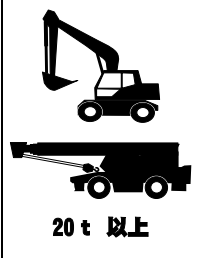
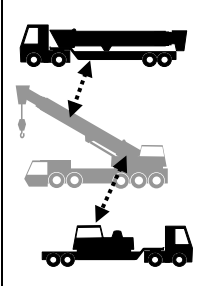
※以下の入力例は画面が横に長いため、画面左から4分割しています

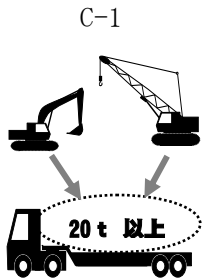
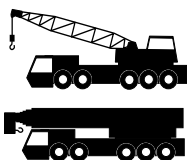

項目①		項目②	項目③					
会社名 (プルダウンから選択)		運搬の分類 (プルダウンから選択)	建設機械名					
			建設機械分類 (プルダウンから選択)	名称 (プルダウンから選択)	規格	機械本体質量 (t)		
株)●●建設工業		B-1	掘削及び積込機	小型バックホウ(平積0.1m3以下)	3	バケット容積(m3)	10.0	
●●建設(株)		B-1	掘削及び積込機	バックホウ	5	バケット容積(m3)	15.0	

項目④																
機械本体質量 (t)		1)貨物自動車等による運搬														
		運搬費(千円)												運搬距離 (Km)	運搬回数 (回)	
		※内数は該当した金額のみを記入してください														
		内分解組立費 (千円)	内特大型割増費	内悪路割増費	内冬期割増費	内深夜早期割増費	内地区割増費	内海上輸送費	内休日割増費	内待機時間費	内積込・取卸費	内その他諸料金	(その他諸料金内容)			
10.0		105	0											5.0	2	
15.0		100	20											30.0	5	
2)自走による運搬					3)日々回送による運搬					4)現場内小運搬						
運搬費 (千円)		運搬距離 (Km)	運搬回数 (回)	運搬費 (千円)		運搬距離 (Km)	運搬回数 (回)	運搬費 (千円)		運搬距離 (Km)	運搬回数 (回)					
	内分解組立費 (千円)				内分解組立費 (千円)				内分解組立費 (千円)							
	0	0			0	0				0	0					
	0	0			0	0				0	0					

項目⑤											
		1次 下請者名	2次 下請者名	2次 下請者名	2次 下請者名	2次 下請者名	2次 下請者名				
		(株)●●建設工業	1	●●建設(株)	2		3		4		5
B 建設機械Ⅰ		0	100	0	0	0	0	0	0	0	0
1) 貨物自動車等による運搬		0	100	0	0	0	0	0	0	0	0
2) 自走による運搬		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3) 日々回送による運搬		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4) 現場内小運搬		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C 建設機械Ⅱ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1) 貨物自動車等による運搬		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2) 自走による運搬		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3) 日々回送による運搬		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4) 現場内小運搬		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

13-9-2 入力項目（5-2_建設機械Ⅰ・Ⅱ）

項 目	内 容						
項目① 会社名 の入力	<p>対象機械を使用した会社名をプルダウンリストから選択してください。</p> <p>注）再下請の情報を転記する際は以下の点に注意してください （例） 二次下請より回収した再下請調査票「5-2_建設機械Ⅰ・Ⅱ」シートに三次下請の機械が計上されていた場合、一次下請けの「5-2_建設機械Ⅰ・Ⅱ」シートへ転記する際に<u>三次下請の機械は二次下請の機械として計上</u>してください。</p>						
項目② 運搬の 分類	<p>運搬の分類の選択 注）運搬する建設機械の大きさ、種類、運搬方法により、入力する項目が下記の項目（B-1～C-3）に分類されます。 下記の内容を参照し、対象となる入力項目に注意してプルダウンリストから選択運搬の分類を B-1～C-3 から選択してください。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td data-bbox="454 840 662 1131"> <p>B-1</p>  </td><td data-bbox="662 840 1441 1131"> <p>質量 20t 未満の建設機械の運搬（貨物自動車等による運搬、自走による運搬、日々回送による運搬、現場内小運搬）について入力してください。（分解、組立を含みます。） 注）海上輸送を必要とした場合の自動車航送船使用料に要した費用は、項目『C-3』に入力してください。</p> </td></tr> <tr> <td data-bbox="454 1131 662 1433"> <p>B-2</p>  </td><td data-bbox="662 1131 1441 1433"> <p>質量 20t 以上の建設機械の運搬（自走による運搬、日々回送による運搬、現場内小運搬）について入力してください。（分解、組立を含みます。） 注 1）トラッククレーン油圧伸縮ジブ型 80t 以上の自走による運搬については、項目『C-2』に入力してください。 注 2）質量 20t 以上の建設機械の現場内小運搬のうち、特殊な現場条件等により分解・組立を必要とした場合の分解組立費は、項目『C-3』に入力してください。</p> </td></tr> <tr> <td data-bbox="454 1433 662 1762"> <p>B-3</p>  </td><td data-bbox="662 1433 1441 1762"> <p>トラッククレーン（油圧伸縮ジブ型 20～50t 吊）及びラフテレーンクレーン（油圧伸縮ジブ型 20～70t 吊）の分解・組立及び輸送について入力してください。</p> </td></tr> </tbody> </table>	<p>B-1</p> 	<p>質量 20t 未満の建設機械の運搬（貨物自動車等による運搬、自走による運搬、日々回送による運搬、現場内小運搬）について入力してください。（分解、組立を含みます。） 注）海上輸送を必要とした場合の自動車航送船使用料に要した費用は、項目『C-3』に入力してください。</p>	<p>B-2</p> 	<p>質量 20t 以上の建設機械の運搬（自走による運搬、日々回送による運搬、現場内小運搬）について入力してください。（分解、組立を含みます。） 注 1）トラッククレーン油圧伸縮ジブ型 80t 以上の自走による運搬については、項目『C-2』に入力してください。 注 2）質量 20t 以上の建設機械の現場内小運搬のうち、特殊な現場条件等により分解・組立を必要とした場合の分解組立費は、項目『C-3』に入力してください。</p>	<p>B-3</p> 	<p>トラッククレーン（油圧伸縮ジブ型 20～50t 吊）及びラフテレーンクレーン（油圧伸縮ジブ型 20～70t 吊）の分解・組立及び輸送について入力してください。</p>
<p>B-1</p> 	<p>質量 20t 未満の建設機械の運搬（貨物自動車等による運搬、自走による運搬、日々回送による運搬、現場内小運搬）について入力してください。（分解、組立を含みます。） 注）海上輸送を必要とした場合の自動車航送船使用料に要した費用は、項目『C-3』に入力してください。</p>						
<p>B-2</p> 	<p>質量 20t 以上の建設機械の運搬（自走による運搬、日々回送による運搬、現場内小運搬）について入力してください。（分解、組立を含みます。） 注 1）トラッククレーン油圧伸縮ジブ型 80t 以上の自走による運搬については、項目『C-2』に入力してください。 注 2）質量 20t 以上の建設機械の現場内小運搬のうち、特殊な現場条件等により分解・組立を必要とした場合の分解組立費は、項目『C-3』に入力してください。</p>						
<p>B-3</p> 	<p>トラッククレーン（油圧伸縮ジブ型 20～50t 吊）及びラフテレーンクレーン（油圧伸縮ジブ型 20～70t 吊）の分解・組立及び輸送について入力してください。</p>						

項 目		内 容	
		 <p>C-1</p>	<p>質量 20t 以上の建設機械の貨物自動車による運搬について入力してください。（分解、組立を含みます。）</p>
		 <p>C-2</p>	<p>トラッククレーン油圧伸縮ジブ型 80t 以上、及びトラッククレーン（ラチスジブ型 25t 吊および油圧伸縮ジブ型 80 t 以上）の自走による運搬について入力してください。（分解、組立を含みます。）</p>
		 <p>C-3</p>	<p>自動車航送船使用料に要する費用及び質量 20 t 以上の建設機械の現場内小運搬で特殊な現場条件等により分解・組立を必要とした場合の分解・組立費を入力してください。</p>
		<p>注) 賃料適用のトラッククレーン（油圧伸縮ジブ型 80t 以上）及びクローラクレーン（油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 35t 吊以上）は、分解組立時にかかる本体賃料及び運搬中の本体賃料を含めた費用を入力してください。</p>	
項目③	建設機械名	建設機械分類	<p>該当する機械分類をプルダウンリストから選択してください。</p> <p>注) 各分類の『その他（機械名フリー入力）』を選択した場合は、具体的な『機械本体名』を入力（上書き）してください。</p>
		名称	<p>機械の名称をプルダウンリストから選択してください。</p> <p>注) 各分類の『その他』を選択した場合は、具体的な『機械本体名』を入力（上書き）してください。</p>
		規格	<p>選択した機械本体の規格（『数値』及び『単位』）を入力してください。</p>
	機械本体質量 (t)	<p>『建設機械名』で選択した機械本体の質量を入力してください。</p>	
項目④	1) 貨物自動車	運搬費（千円）	<p>選択した機械の『貨物自動車等による運搬』に要した費用の合計額を入力してください。</p>

項 目		内 容	
	等による運搬		注)『分解組立費』を含めた金額を入力してください。
		内分解組立費	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』のうち、『分解組立』に要した費用の合計額を入力してください。
		内特大品割増費	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』のうち、『特大品割増費』を入力してください。
		内悪路割増費	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』のうち、『悪路割増費』を入力してください。
		内冬期割増費	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』のうち、『冬期割増費』を入力してください。
		内深夜早朝割増費	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』のうち、『深夜早朝割増費』を入力してください。
		内地区割増費	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』のうち、『地区割増費』を入力してください。
		内海上輸送費	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』のうち、『海上輸送費』を入力してください。
		内休日割増費	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』のうち、『休日割増費』を入力してください。
		内待機時間費	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』のうち、『待機時間費』を入力してください。
		内積込・取卸費	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』のうち、『積込・取卸費』を入力してください。
		内その他諸料金	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』のうち、上記割増費以外で要した費用を入力してください。 ※その他諸料金を入力した場合、その内容についても入力してください。
		運搬距離 (km)	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』に要した運搬距離の合計 (延べ運搬距離) を入力してください。
		運搬回数 (回)	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』に要した運搬回数の合計 (延べ運搬回数) を入力してください。(運搬片道を1回とします。)
	2) 自走による運搬	運搬費 (千円)	選択した機械の『自走による運搬』に要した費用の合計額を入力してください。 注)『分解組立費』を含めた金額を入力してください。
		内分解組立費	選択した機械の『自走による運搬』のうち、『分解組立』に要した費用の合計額を入力してください。
		運搬距離 (km)	選択した機械の『自走による運搬』に要した運搬距離の合計 (延べ運搬距離) を入力してください。
		運搬回数 (回)	選択した機械の『自走による運搬』に要した運搬回数の合計 (延べ運搬回数) を入力してください。 運搬片道で1回として数えてください。(運搬片道を1回とします。)
	3) 日々回送による運搬	運搬費 (千円)	選択した機械の『日々回送による運搬』に要した費用を入力してください
		内分解組立費	選択した機械の『日々回送による運搬』のうち、『分解組立』に要した費用の合計額を入力してください。
		運搬距離 (km)	選択した機械の『日々回送による運搬』に要した運搬距離

項 目		内 容	
			の合計（延べ運搬距離）を入力してください。
		運搬回数（回）	選択した機械の『日々回送による運搬』に要した運搬回数の合計（延べ運搬回数）を入力してください。 運搬片道で1回として数えてください。（運搬片道を1回とします。）
	4) 現場内小運搬	運搬費（千円）	選択した機械の『現場内小運搬』に要した費用を入力してください
		内分解組立費	選択した機械の『現場内小運搬』のうち、『分解組立』に要した費用の合計額を入力してください。
		運搬距離（km）	選択した機械の『現場内小運搬』に要した運搬距離の合計（延べ運搬距離）を入力してください。
		運搬回数（回）	選択した機械の『現場内小運搬』に要した運搬回数の合計（延べ運搬回数）を入力してください。 運搬片道で1回として数えてください。（運搬片道を1回とします。）
項目⑤	5) 合計金額	1)～4) で記載した運搬費の合計が自動で入力されます。	

注1) 「路面清掃、ガードレール清掃、トンネル清掃、排水構造物清掃」の清掃車は、基地から現場間の回送費用のみ『直接工事費』に計上してください。

注2) 「鋼桁、門扉、PC 桁等工場製作品の運搬」、「支給品及び現場発生品の運搬」は対象外とし、別途『直接工事費』に計上してください。

13-9-3 入力操作方法（5-2_建設機械Ⅰ・Ⅱ）

各項目を入力する場合は、以下の操作方法により入力してください。

入力

入力する建設機械名はプルタブから選択します。
プルタブに機械名がない場合は直接入力してください。

39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49

120

目録半期地価使用料に受ける費用及び重量の異なる建設機械の受取料率を算出するための機械の重量の範囲を定める

※1次下請者が、2次下請調査票記載の3次下請会社の機械を転記する場合は、2次下請会社の機械として転記してください

会社名 (プルダウンから選択)	運搬の分類 (プルダウンから選択)	建設機械名			機械本体重量 (t)	備考
		建設機械分類 (プルダウンから選択)	名称 (プルダウンから選択)	規格		
(株)●●建設工業	B-1	掘削及び運搬機	小型バックホウ(平種0.1m3以下)	3 バケット容量(m3)	10.0	
●●建設(株)	B-1	掘削及び運搬機	小型バックホウ(平種0.1m3以下)	5 バケット容量(m3)	15.0	
			バックホウ			
			ローディングショベル			
			グラブシール(テレスコピック式含む)			
			水陸両用掘削機(トラグライン及びグラブシール)			
			トラクタショベル			
			ズリ機			
			トレンチャ			

以降、選択した機械について、各項目を入力してください。

13-9-4 再下請の転記方法（5-2_建設機械Ⅰ・Ⅱ）

なお、再下請の情報を転記する場合は以下のように転記してください。

例）一次下請側

会社名 (プルダウンから選択)	運搬の分類 (プルダウンから選択)	建設機械分類 (プルダウンから選択)		2) 日々回送による運搬		3) 日々回送による運搬				4) 現場内小運搬			
				運搬距離 (Km)	運搬回数 (回)	運搬費 (千円)		運搬距離 (Km)	運搬回数 (回)	運搬費 (千円)		運搬距離 (Km)	運搬回数 (回)
						内分解 組立費 (千円)				内分解 組立費 (千円)			
株)●●建設工業	B-1	掘削及び積込機	小型バ	0		0	0			0	0		
●●建設(株)	B-1	掘削及び積込機	バックホ	0		0	0			0	0		

例）二次下請側

会社名 (プルダウンから選択)	運搬の分類 (プルダウンから選択)	建設機械分類 (プルダウンから選択)		2) 日々回送による運搬		3) 日々回送による運搬				4) 現場内小運搬			
				運搬距離 (Km)	運搬回数 (回)	運搬費 (千円)		運搬距離 (Km)	運搬回数 (回)	運搬費 (千円)		運搬距離 (Km)	運搬回数 (回)
						内分解 組立費 (千円)				内分解 組立費 (千円)			
株)●●建設工業	B-1	掘削及び積込機	小型バ			0	0			0	0		
●●建設(株)	B-1	掘削及び積込機	バックホ			0	0			0	0		

青枠内を欄へ転記してください。

注) 青枠内に下位の下請者（三次下請）の入力がある場合は、再下請（二次下請）欄に含めて転記してください。また、会社名は、再下請（二次下請）を選択してください

13-10 「6_準備・測量」シート

自社及び再下請者（下請者の外注分）に関して、『★工事費』準備・測量等に要した費用の内訳について入力してください。

本シートの入力金額は、『★工事費』シート内の『②間接工事費（1）共通仮設費 ロ 準備費 A 準備・測量等、B その他』に転記されます。

注1）項目の詳細については、下記の入力項目を参照してください。

注2）再下請者（下請者の外注分）については、各再下請者から回収した調査票（下請者用）の『6_準備・測量』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）

注3）当該項目に費用計上が無い場合は、入力不要です。

以下の入力例を参考に、入力内容を確認して入力してください。

13-10-1 入力例 (6_準備・測量)

[illegible]

13-10-2 入力項目（6_準備・測量）

項 目		内 容
項目①	合計表	各社列ごとに下記 A-1 から B-4 で記入した内容が表に自動で合計されます。合計された各数値は『★工事費』シート内の『②間接工事費（1）共通仮設費 ロ 準備費 A 準備・測量等、B その他』に転記されます。
項目②	A 準備・測量等	
	A-1：準備及び後片付に要した費用（直接工事費に計上した分を除く）	<p>1 着手時の準備費用，完成時の後片付費用，施工期間中における準備・後片付費用について記入して下さい。</p> <p>※処分費用は、再資源化施設または最終処分場への運搬を含む処分費用とします。</p> <p>2 その他 上記1以外について入力してください</p>
	A-2：調査及び測量等に要した費用（直接工事費に計上した分を除く）	<p>1 工事着手前の基準測量、縦・横断面図の照査、用地幅杭等の仮移設、丁張の設置等の費用について入力して下さい。</p> <p>3 その他 上記1以外について入力してください</p>
	A-3：伐開に要した費用（直接工事費に計上した分を除く）	<p>1 ブルドーザ，レーキドーザ，バックホウ等による雑木や小さな樹木，竹などを除去する伐開に要する費用（樹木をチェーンソー等により切り倒す伐採作業は含まない。）について『入力して下さい。』</p> <p>2 伐開作業に伴う現場内の集積・積込みの費用について入力してください。</p> <p>3 その他 上記1、2以外について入力してください</p> <p>※現場内の集積・積込み作業も含みます。 ※伐開とは、雑木や小さな樹木・竹などの除去で、ブルドーザ、レーキドーザあるいはバックホウ等による作業をいいます。</p>
	A-4：除根に要した費用（直接工事費に計上した分を除く）	<p>1 除根に要する費用（伐採作業は含まない）</p> <p>2 除根作業に伴う現場内の集積・積込みの費用について入力してください。</p> <p>3 その他 上記1、2以外について入力してください</p>

	<p>A－５：除草・整地等に要した費用（直接工事費に計上した分を除く）</p>	<p>除草・整地等に要した費用を入力してください（直接工事費に計上した分を除く）。 ※草刈り機による人力草刈りを含みます。</p> <p>１ 除草に要する費用について入力してください</p> <p>２ 整地に要する費用について入力してください</p> <p>３ すりつけに要する費用について入力してください</p> <p>４ 段切りに要する費用（ため池及び堤体部を除く）について入力してください</p> <p>５ 除草作業に伴う現場内の集積・積込みの費用について入力してください</p> <p>６ その他 上記以外について入力してください</p>
	<p>B その他</p>	
	<p>B－１：伐採等に要した費用（直接工事費に計上した分を除く）</p>	<p>１ 伐採、集積、積込みの伐採面積・費用について入力してください。 ※伐採とは、樹木をチェーンソー等により切り倒す作業をいいます。</p> <p>２ その他 上記１以外について伐採面積・費用を入力してください</p> <p>併せて、上記１，２の伐採木の代表的な樹種：伐採本数等を入力してください。</p>
	<p>B－３：伐開・除根・除草及び伐採等に伴う運搬及び処分等に要した費用（直接工事費に計上した分を除く）</p>	<p>１ 伐開・除根・除草に伴い発生する建設副産物等を工事現場外に搬出する運搬の費用について入力してください。</p> <p>２ 伐採に伴い発生する建設副産物等を工事現場外に搬出する運搬の費用について入力してください。</p> <p>３ 上記１で運搬した建設副産物（資源再利用）等の処分費用について入力してください。</p> <p>４ 上記２で運搬した建設副産物（資源再利用）等の処分費用について入力してください。</p> <p>５ その他 上記以外について入力してください</p> <p>伐開・除根・除草及び伐採等に伴う運搬・処理の作業量等について入力してください。</p>

		<p>※処分方法は、再資源化施設でのチップ処理、処分場での焼却処分等の具体的な処分方法を記載して下さい。</p> <p>※建設副産物等の処理費用は直接工事費の特殊経費と重複しないこと</p> <p>※処分費用の記入に当たっては、処分場への受入れ費用または再資源化までの費用を記入する</p>
	B－４：試掘等に要した費用（直接工事費に計上した分を除く）	<p>１ 試掘等に要した費用・試掘箇所数について入力してください。</p> <p>２ その他 上記以外の費用・試掘箇所数について入力してください</p>
	B－５：その他、前記A－１～B－４に含まれない項目で準備費に該当するものに要した費用（直接工事費に計上した分を除く）	<p>A－１～B－４に掲げたものの他に、工事の施工上必要な準備作業に要した費用について入力してください。</p> <p>以下例↓</p> <p>1) 地下埋設物調査、既設物の防護、地元説明、占用協議、交通管理者協議、設計協議等に要した費用</p> <p>2) 大型土のう袋の処分に要した費用</p> <p>注）セメント袋や通常の土のう袋の処分費は「A準備・測量等の A-1 準備及び後片付に要した費用」に入力してください。</p>

13-10-3 再下請の転記方法 (6_準備・測量シート)

なお、再下請の情報を転記する場合は以下のように転記してください。
例) 一次下請側 (一部抜粋)

6_準備・測量についての調査票

黄色塗りつぶし部分：入力必要箇所
 緑色塗りつぶし部分：黄色セルの入力に伴う自動計算（入力不可）
 その他の部分：シートの手換等を防ぎ、入力不可にしている。
 パスワードが要求される場合の対処方法：
 入力箇所が間違っているためであり、指定箇所（黄色塗りつぶし部分）に入力して下さい。

元請者は、赤枠部分を「元請」ファイルの「16.準
※元請ファイルへの転記について（元請者が）

1. 元請ファイルの「16.準備・測量・下請」シート
2. 「総合計」欄は、一次下請（左列）+二次下請
3. 三次下請以降がある場合は、右列の記入欄

		総合計	1
			2次 下請者名
		自区分	●建設業 ●建設機
費 目			
A.準備・測量等		0	0
A-1. 準備及び後片付けに要した費用(直接工事に計上した分を除く)		0	0
A-2. 調査及び測量等に要した費用(直接工事に計上した分を除く)		0	0
A-3. 伐倒に要した費用(直接工事に計上した分を除く)		0	0
A-4. 除根に要した費用(直接工事に計上した分を除く)		0	0
A-5. 除草・整地等に要した費用(直接工事に計上した分を除く)		0	0
Bその他		0	0
B-1. 伐採等に要した費用(直接工事に計上した分を除く)		0	0
B-3. 伐倒・除根・除草及び伐採等に伴う運搬及び処分等に要した費用(直接工事に計上した分を除く)		0	0
B-4. 試験等に要した費用(直接工事に計上した分を除く)		0	0
B-5. その他、前記A-1～B-4)に含まれない項目で準備費に該当するものに要した費用(直接工事に計上した分を除く)		0	0
合計		A+B	0

[illegible]

例) 二次下請側 (一部抜粋)

6_準備・測量についての調査票

黄色塗りつぶし部分：入力必要箇所
 緑色塗りつぶし部分：黄色セルの入力に伴う自動計算（入力不可）
 その他の部分：シートの書換等を防ぐ為、入力不可にしている。
 パスワードが要求される場合の対処方法：
入力箇所が間違っているためであり、指定箇所（黄色塗りつぶし部分）に入力して下さい。

、赤枠部分を「元請」ファイルの「16.準備・
ファイルへの転記について(元請者が、
ファイルの「16.準備・測量・下請」シート
合計」欄は、一次下請(左列)+二次下請
下請以降がある場合は、右列の記入欄

		総合計		1 2次 下請者名
		自社分	●建設工業 ●建設(株)	
費 目				
A準備・測量等		0	0	
A-1: 準備及び後片付に要した費用(直接工事に計上した分を除く)		0	0	
A-2: 調査及び測量等に要した費用(直接工事に計上した分を除く)		0	0	
A-3: 仮設に要した費用(直接工事に計上した分を除く)		0	0	
A-4: 除根に要した費用(直接工事に計上した分を除く)		0	0	
A-5: 除草・整地等に要した費用(直接工事に計上した分を除く)		0	0	
Bその他		0	0	
B-1: 仮保等に要した費用(直接工事に計上した分を除く)		0	0	
B-3: 仮設・除根・除草及び仮保等に伴う運搬及び処分等に要した費用(直接工事に計上した分を除く)		0	0	
B-4: 試験等に要した費用(直接工事に計上した分を除く)		0	0	
B-5: その他、前記A-1～B-4に含まれない項目で準備費に該当するものに要した費用(直接工事に計上した分を除く)		0	0	
合計		A+B	0	0
A-1: 準備及び後片付に要した費用(直接工事に計上した分を除く)		金額(千円)	額(千円)	金額(千円)
1 着手時の準備費用、完成時の後片付費用、施工期間中における準備・後片付費用 ※処分費用は、再資源化施設または最終処分場への運搬を含む処分費用とする		0		
※上記のうち、変圧及び足場等仮設資材の処分費用(建設副産物)		0		
2 その他 上記以外について入力してください		金額(千円)	額(千円)	金額(千円)
		0		
		0		
		0		
		0		
A-2: 調査及び測量等に要した費用(直接工事に計上した分を除く)		金額(千円)	額(千円)	金額(千円)
1 工事着手前の基準測量、縦・横断面図の調査、用地幅根等の仮移設、丁張の設置等の費用		0		
3 その他 上記以外について入力してください		金額(千円)	額(千円)	金額(千円)
		0		
		0		
		0		
		0		

青枠内を再下請（二次下請）欄へ転記してください。

13-11 「7_技術管理費」シート

自社及び再下請者（下請者の外注分）に関して、『6_技術管理費』シート内で入力された金額が『★工事費』シートの『②間接工事費（1） 共通仮設費 へ 技術管理費 A～Z』に反映されます。

注1）項目の詳細については、下記の入力項目を参照してください。

注2）再下請者（下請者の外注分）については、各再下請者から回収した調査票（下請者用）の『7_技術管理費』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）

注3）当該項目に費用計上が無い場合は、入力不要です。

以下の入力例を参考に、入力内容及び入力操作方法を確認して入力してください。

13-11-1 入力例（7_技術管理費シート）

7.技術管理費についての調査票【下請】			項目①																												
<p>黄色塗りつぶし部分：入力必須箇所 緑色塗りつぶし部分：黄色セルの入力に準ずる自動計算（入力不可） その他の部分：シートの変更等も含めて、入力不可にしている。 入力欄が空白の場合は、必ず入力してください。 入力欄が空白の場合は、必ず入力してください。</p>																															
区分	費 目	金額(千円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>自社分</th> <th colspan="2">2次下請者名</th> <th colspan="2">2次下請者名</th> <th colspan="2">2次下請者名</th> <th colspan="2">2次下請者名</th> <th colspan="2">2次下請者名</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> </tr> </thead> </table>								自社分	2次下請者名		2次下請者名		2次下請者名		2次下請者名		2次下請者名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
自社分	2次下請者名		2次下請者名		2次下請者名		2次下請者名		2次下請者名																						
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																						
A	品質管理費等（品質管理、出来検査、工程管理）に要した費用	10,100	100	0	0	0	0	0	0	0																					
A1	品質管理費等	10,000	0	0	0	0	0	0	0	0																					
A2	品質管理費等 のうち 品質管理基準に記載されている試験項目（必須・その他）に要する費用	100	100	0	0	0	0	0	0	0																					
B	特殊な品質管理に要した費用	1,000	0	200	0	0	0	0	0	0																					
C	現場条件等により積み上げを要した費用	300	300	0	0	0	0	0	0	0																					
D	各種調査 施工合理化調査、施工移動動向調査及び継続費動向調査に要した費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
E	各種設備等の作成・修正に要した費用	500	0	0	0	0	0	0	0	0																					
F	ICT試験設備に要した費用	800	0	0	0	0	0	0	0	0																					
Z	その他 上記A～Fに含まれない項目で特に技術的判断に必要な資料の作成に要した費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
合計		12,800	400	200	0	0	0	0	0	0																					

「区分」の項目をプルダウンリストより選択後、「工種／項目／区分」、「種類」、「試験区分」、「試験項目」を記して下さい。				入力対象外です。		試験項目		金額(千円)	
区分	会社名 (プルダウンから選択)	区分	工種／項目／区分	種類	試験区分	試験項目	試験項目	金額(千円)	
1	(株) ●●建設工業	A2	01オペキヤストロングシート製品、JIS 3 型	材料	必須	製品検査結果（寸法・形状・性能、性能試験）※協議した項目		100	
2	●●建設(株)	B	地質試験					200	
3	(株) ●●建設工業	C	試験機等の工事に要した費用、トンネル(NATM)の計測に要した費用					300	

項目②

13-11-2 入力項目（7_技術管理費シート）

項目	内容	
項目①	合計表	下記 A～Z の入力した金額が自動で合計されます。合計された金額は『★工事費』シート『②間接工事費（1）共通仮設費 へ 技術管理費 A～Z』に転記されます。
項目②	会社名	<p>自社及び再下請者の下請次数は、自動に表示されます。</p> <p>自社の会社名は、『1_一般事項』シートで入力した会社名が表示されます。</p> <p>再下請者の会社名は『1-2_下請入力』シートで入力した会社名が表示されます。</p>
	「A-1～Z」の金額の内訳	下記 A-1～Z までの区分をプルダウンから選択のうえ、工種／項目／区分・種別・試験区分・試験項目・費用をそれぞれプルダウンから選択、入力してください。
	区分	区分内容
	A-1：品質管理費等に要した費用	<p>以下の費用について入力してください。</p> <p>①出来形管理のための測量、図面作成、写真管理に要する費用</p> <p>②工程管理のための資料の作成等に要する費用</p> <p>④完成図、マイクロフィルムの作成及び電子納品等（道路工事完成図等作成要領に基づく電子納品を除く）に要する費用</p> <p>⑤建設材料の品質記録保存に要する費用</p> <p>⑥コンクリート中の塩化物総量規制に伴う試験に要する費用</p> <p>⑦コンクリートの単位水量測定、ひび割れ調査、テストハンマーによる強度推定調査に要する費用</p> <p>⑧非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定に要する費用</p> <p>⑨微破壊・非破壊試験によるコンクリート構造物の強度測定に要する費用</p> <p>⑩P C 上部工、アンカー工等の緊張管理、グラウト配合試験等に要する費用</p> <p>⑪トンネル工（N A T M）の計測 A に要する費用</p> <p>⑫塗装膜厚施工管理に要する費用</p> <p>⑬溶接工の品質管理のための試験等に要する費用（現場溶接部の検査費用を含む）</p> <p>⑭施工管理で使用する O A 機器の費用（情報共有システムに係る費用（登録料及び利用料）を含む）〔遠隔臨場に要する費用は含まない〕</p> <p>⑮品質証明に係る費用（品質証明費）</p> <p>＜対象とする品質証明の内容＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 契約図書及び関係図書に基づく出来形、品質及び写真管理等、工事全般の品質証明 2. 品質証明書の作成 <p>⑯建設発生土情報交換システム及び建設副産物情報交換システムの操作に要する費用</p>

	<p>A-2 品質管理費等のうち 品質管理基準に記載されている試験項目（必須・その他）に要する費用</p>	<p>下記の品質管理基準に記載されている試験項目（必須・その他）に要する費用について入力してください。</p> <p>01 セメント・コンクリート 02 プレキャストコンク〔JIS I類〕 03 プレキャストコンクリート製品〔JIS II類〕 04 プレキャストコンクリート製品〔その他〕 05 ガス圧接 06 既製杭工 07 下層路盤 08 上層路盤 09 アスファルト安定処理路盤 10 セメント安定処理路盤 11 アスファルト舗装 12 転圧コンクリート 13 グースアスファルト舗装 14 路床安定処理工 15 表層安定処理工〔表層混合処理〕 16 固結工 17 アンカー工 18 補強土壁工 19 吹付工 20 現場吹付法砕工 21 河川土工 22 海岸土工 23 砂防土工 24 道路土工 25 捨石工 26 コンクリートダム 27 覆工コンクリート〔NATM〕 28 吹付けコンクリート〔NATM〕 29 ロックボルト〔NATM〕 30 路上再生路盤工 31 路上表層再生工 32 排水性舗装工・透水性舗装工 33 プラント再生舗装工 34 工場製作工〔鋼橋用鋼材〕 35 ガス切断工 36 溶接工 37. 中層混合処理 その他</p>
	<p>B 特殊な品質管理</p>	<p>特殊な品質管理に要した費用を入力してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土質等試験：品質管理基準に記載されている項目（上記 A）以外の試験 ・地質試験：平板載荷試験、ボーリング、サウンディング、その他原位置試験

下水

	C 現場条件等費用	<p>現場条件等により、設計書、特記仕様書等で指定されているものに要した費用を入力してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軟弱地盤における計器の設置・撤去及び測定・とりまとめに要した費用 ・試験盛土等の工事に要した費用、トンネル（NATM）の計測 B に要した費用 ・下水道工事において目視による出来形の確認が困難な場合に用いる特別な機器に要した費用 ・施工前に既設構造物の配筋状況の確認を目的とした特別な機器（鉄筋探査）を用いた調査に要した費用
	D 各種調査等	<p>以下の調査に要した費用を入力してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間接工事費等諸経費動向調査 ・施工合理化調査 ・施工形態動向調査 ・その他 <p>注 1) 現場事前調査等は『9_準備・測量』シートに計上してください。</p> <p>注 2) 公共事業労務費調査に要した費用は『★工事費』シート『②間接工事費 (3) 現場管理費 ③ 公共事業労務費調査』に計上してください。</p>
	E 各種台帳等	<p>以下の各種台帳等の作成及び修正に要した費用を入力してください。</p> <p>道路施設台帳の作成、道路附図の作成及び修正、敷地調査、路面性状調査</p>
	F ICT建設機械	<p>ICT建設機械に要した以下の費用を入力してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保守点検 ・システム初期費 ・3次元起工測量 ・3次元設計データの作成費用 ・3次元出来形管理資料作成（河川浚渫）
	Z その他	<p>上記「A～F」以外で、特に技術的判断に必要な資料の作成に要した費用を入力してください。</p>

注 1) 品質管理、出来形管理及び工程管理等に要した費用を入力してください。

注 2) 測量業者、コンサルタント業者等がこれらの業務を行った場合の費用（普通作業員、重機オペレーター等の賃金等）は、本項目に計上してください。

13-11-3 入力操作方法 (7_技術管理費シート)

シートの内訳詳細項目を入力する場合は、以下の操作方法により入力してください。

①入力項目名の選択

工種、種別、試験区分、試験項目（下図赤枠部分）の順にプルタブから選択してください。
試験項目がプルタブにない場合は直接入力してください。

注) 上から順に選択してください。

[illegible]

13-11-4 再下請の転記方法 (7_技術管理費シート)

なお、再下請の情報を転記する場合は以下のように転記してください。

例) 一次下請側

[illegible]

例) 二次下請側

[illegible]

青枠内を欄へ転記してください。

注) 青枠内に下位の下請者（三次下請）の入力がある場合は、再下請（二次下請）欄に含めて転記してください。また、会社名は、再下請（二次下請）を選択してください

13-12 「8_現場環境改善」シート

自社及び再下請者（下請者の外注分）に関して、『間接工事費 現場環境改善費』について入力するシートです。

シート内で入力された金額が『★工事費』シート内の『②間接工事費（１）共通仮設費 チ 現場環境改善費』に自動的に反映されます。

注1) 項目の詳細については下記の入力項目を参照してください。

注2) 再下請者（下請者の外注分）については、各再下請者から回収した調査票（下請者用）の『8_現場環境改善』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）

注3) 当該項目に費用計上が無い場合は、入力不要です。

以下の入力例を参考に、入力内容を確認して入力してください。

13-12-1 入力例 (8 現場環境改善シート)

8.現場環境改善費についての調査票【下欄】

黄色塗りつし部分：入力必須箇所
 緑色塗りつし部分：黄色セルの人数に等しい自動計算（入力不可）
 その他部分：シートの意味等を図く。入力不可にする。
 ※ワークが変更される場合や対応方法、
 ①労務力が関係しているためであり、指定箇所（黄色塗りつし部分）に入力して下さい。

区分	費目	金額（千円）	自社分		2次 下請番号		2次 下請番号		2次 下請番号		2次 下請番号		2次 下請番号		2次 下請番号	
			(株)●●建設工業 1	●●建設(株) 2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
A	仮設関係	200	200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B	基礎関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C	安全関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
D	地域連携	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Z	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		200	200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

「一次下請会社名」／「区分」をプルダウンリストより選択後、「[Ⅰ]実施内容／[Ⅱ]金額（千円）／[Ⅲ]実施内容の簡略仕様／[Ⅳ]数量」を入力して下さい。

※[Ⅰ]「実施内容」で、「その他の具体的な内容は記載して」とある場合は「その他の具体的な内容」を入力して下さい。

[Ⅰ] 実施内容	[Ⅱ] 金額（千円）	[Ⅲ] 実施内容の簡略仕様	[Ⅳ] 数量
1 (株)●●建設工業 A その他 [Ⅴ] にその他の具体的な内容を記載して下さい。	200	仮断壁	一式
2			
3			

13-12-2 入力項目（8_現場環境改善シート）

項 目	内 容	
項目①	合計表	各社列について下記 A～Z について入力した内容が自動的に合計されます。合計された金額は『★工事費』シートの『②間接工事費（1）共通仮設費 チ 現場環境改善費』に自動的に反映されます。
項目②	会社名	<p>記載のあった会社名をプルダウンリストから選択してください。</p> <p>注）再下請の情報を転記する際は以下の点に注意してください （例） 二次下請より回収した再下請調査票「8_現場環境改善」シートに三次下請の機械が計上されていた場合、一次下請けの「8_現場環境改善」シートへ転記する際に<u>三次下請の内容は二次下請の内容として計上</u>してください。</p>
	現場環境改善費の内訳の入力	下記 A～Z について「区分」をプルダウンリストより選択後、「【Ⅰ】実施内容／【Ⅱ】金額（千円）／【Ⅲ】実施内容の概略仕様／【Ⅳ】数量」を入力して下さい。
	区分	実施内容
	A 仮設備関係	<p>次にあげる費用について入力してください。</p> <p>①用水・電力等の供給設備 ②緑化・花壇 ③ライトアップ施設 ④見学路及び椅子の設置 ⑤昇降設備の充実 ⑥環境負荷の低減 ⑩その他：【Ⅱ】にその他の具体的な内容を記載して下さい。</p> <p>注）『仮囲い、仮歩道マット、模様フェンス』の現場環境改善は、一般化したものとしておりますので、計上しないでください。</p>
	B 営繕関係	<p>次にあげる費用について入力してください。</p> <p>①現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） ②労働者宿舎の快適化 ③デザインボックス（交通誘導員待機室） ④現場休憩所の快適化 ⑤健康関連施設および厚生施設の充実等 ⑥快適トイレ（共通仮設費の営繕費において、積上げ金額を越える場合） ⑩その他：【Ⅱ】にその他の具体的な内容を記載して下さい。</p> <p>注）『倉庫及び材料保管庫、監督員詰所、トイレの水洗化、シャワーの設備、ウォータークーラー、意見箱の設置、観葉植物』の現場環境改善は、一般化したものとしておりますので、計上しないでください。</p> <p>注『⑥. 快適トイレ（共通仮設費の営繕費において、積上げ金額を越える場合）』とは、従来品相当を差し引いた後、51,000円/基・月を上限として計上した営繕費を超える費用や、男女別で各1基ずつ2基/工事（施工箇所※）より多く設置する場合の費用です。</p> <p>※「施工箇所が点在する工事の積算」適用工事については「工事」</p>

		を「施工箇所」に読み替える。
	C 安全関係	<p>次にあげる費用について入力してください。</p> <p>①工事標識・照明等安全施設の現場環境改善（電光式標識等）</p> <p>②盗難防止対策（警報機等）</p> <p>③避暑（熱中症予防）対策</p> <p>④防寒対策</p> <p>⑩その他：【Ⅱ】にその他の具体的な内容を記載して下さい。</p>
	D 地域連携	<p>次にあげる費用について入力してください。</p> <p>①完成予想図</p> <p>②工法説明図</p> <p>③工事工程表</p> <p>④デザイン工事看板（各工事PR看板含む）</p> <p>⑤見学会等の開催（イベント等の実施含む）</p> <p>⑥見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営</p> <p>⑦パンフレット・工法説明ビデオ</p> <p>⑧地域対策費等（地域行事等の経費含む）</p> <p>⑨社会貢献</p> <p>⑩その他：【Ⅱ】にその他の具体的な内容を記載して下さい。</p>
	Z その他	上記「A～D」以外で要した費用を入力してください。

13-12-3 再下請の転記方法（8_現場環境改善費シート）

なお、再下請の情報を転記する場合は以下のように転記してください。

例）一次下請側

8.現場環境改善費についての調査票【下請】

黄色塗りつぶし部分：入力必要箇所
 緑色塗りつぶし部分：黄色セルの入力に準ずる自動計算（入力不可）
 その他の部分：シート上の書写等を除く。入力不可にています。
 パワーワードが要求される場合の対応方法
 入力箇所が間違っているためであり、指定箇所（黄色塗りつぶし部分）に入力して下さい。

区分	費目	金額（千円）
A	仮設機関係	200
B	仮設関係	0
C	安全関係	0
D	地域連携	0
Z	その他	0
合計		200

自社分	2次 下請者名	2次 下請者名	2次 下請者名	2次 下請者名	2次 下請者名	2次 下請者名	2次 下請者名	2次 下請者名
(株)●●建設工業	1	●●建設(株)	2					
200	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
200	0	0	0	0	0	0	0	0

※元請者は、下表の入力部分すべてを「元請」ファイルの「8_現場環境改善費_下請」シートに転記してください。

「一次下請会社名」、「区分」をプルダウンリストより選択後、「【Ⅰ】実施内容／【Ⅱ】金額（千円）／【Ⅲ】実施内容の簡略仕様／【Ⅳ】数量」を入力して下さい。

※【Ⅰ】実施内容で、「その他」を選択した場合は、「【Ⅱ】その他の具体的な内容」を入力して下さい。

№	会社名	区分	【Ⅰ】 実施内容	【Ⅱ】 金額（千円）	【Ⅲ】 実施内容の簡略仕様	【Ⅳ】 数量
1	(株)●●建設工業	A	※その他【Ⅱ】にその他の具体的な内容を記載して下さい。		遮れ幕	一式
2						
3						

例）二次下請側



8.現場環境改善費についての調査票【下請】

黄色塗りつぶし部分：入力必要箇所
 緑色塗りつぶし部分：黄色セルの入力に準ずる自動計算（入力不可）
 その他の部分：シート上の書写等を除く。入力不可にています。
 パワーワードが要求される場合の対応方法
 入力箇所が間違っているためであり、指定箇所（黄色塗りつぶし部分）に入力して下さい。

区分	費目	金額（千円）
A	仮設機関係	200
B	仮設関係	0
C	安全関係	0
D	地域連携	0
Z	その他	0
合計		200

自社分	2次 下請者名	2次 下請者名	2次 下請者名	2次 下請者名	2次 下請者名	2次 下請者名	2次 下請者名	2次 下請者名
(株)●●建設工業	1	●●建設(株)	2					
200	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
200	0	0	0	0	0	0	0	0

※元請者は、下表の入力部分すべてを「元請」ファイルの「8_現場環境改善費_下請」シートに転記してください。

「一次下請会社名」、「区分」をプルダウンリストより選択後、「【Ⅰ】実施内容／【Ⅱ】金額（千円）／【Ⅲ】実施内容の簡略仕様／【Ⅳ】数量」を入力して下さい。

※【Ⅰ】実施内容で、「その他」を選択した場合は、「【Ⅱ】その他の具体的な内容」を入力して下さい。

№	会社名	区分	【Ⅰ】 実施内容	【Ⅱ】 金額（千円）	【Ⅲ】 実施内容の簡略仕様	【Ⅳ】 数量
1	(株)●●建設工業	A	※その他【Ⅱ】にその他の具体的な内容を記載して下さい。		遮れ幕	一式
2						
3						

青枠内を欄へ転記してください。

注）青枠内に下位の下請者（三次下請）の入力がある場合は、再下請（二次下請）欄に含めて転記してください。また、会社名は、再下請（二次下請）を選択してください

13-13 「★工事費」シート

自社及び再下請者における**工事費（最終実績金額）**内訳について入力します。

注1）入力にあたっては、自社及び再下請者の下記『調査情報』を入力する必要があります。

＜『調査情報』入力例及び入力項目＞

★工事費の内訳

元請者は、赤枠部分を「元請」ファイルの「★工事費」シートに転記してください。

黄色塗りつぶし部分：入力必要箇所

緑色塗りつぶし部分：黄色セルの入力に伴う自動計算（入力不可）

その他の部分：シートの書換等を防ぐ為、入力不可にしている。

パスワードが要求される場合の対処方法：

入力箇所が間違っているためであり、指定箇所（黄色塗りつぶし部分）に入力して下さい。

金額は千円単位で入力します

注）消費税抜きで記入してください

費 目	下請社名	工 種	総合計 1次下請+2次下請	自社分欄		再下請欄	
				1次下請負業者	2次下請 合計	2 次 下 請 負 業 者 1	2
① 直接工事費			220	11	209	209	0
(1) 材料費			2	1	1	1	
(2) 労務費等			204	3	201	201	0
イ 労務費			2	1	1	1	
ロ 交通誘導警備員A			101	1	100	100	
ハ 交通誘導警備員B			101	1	100	100	
(3) 機械機具等損料			2	1	1	1	
(4) 貸与機械等現場修理・管理費(官貸与)			2	1	1	1	
(5) 直接経費			4	2	2	2	0
イ 特許使用料			2	1	1	1	
ロ 光熱電力使用料			2	1	1	1	
(6) 特殊経費(処分費等)			6	3	3	3	0
イ 処分費(再資源化施設の受入費を含む)			2	1	1	1	
ロ 上・下水道料金			2	1	1	1	
ハ 有料道路利用料			2	1	1	1	

項 目	内 容
自社分欄	
請負金額（税抜き）	元請者、または上位の下請者からの『請負金額（税抜き）』を入力してください。
請負金額の内、外注費	再下請者がある場合は、再下請者への『外注費（税抜き）』の合計額を入力してください。 注）再下請者への外注費（下請者の工事価格）合計の実績額と一致しているか確認してください。
工事価格	『請負金額（税抜き）』から『請負金額の内、外注費』で入力した金額の差額が自動算出されます。 注）自社分の工事価格の実績額と一致しているか確認してください。
下請次数	『1_一般事項』シートで入力した下請次数が表示されます。
工 種	施工体制上の工事内容を入力してください。
再下請欄（再下請者がある場合です。）	
下請社名	再下請者の会社名が自動で入力されます。
工事価格	再下請者への『外注費（税抜き）』を入力してください。 注）再下請者からみた『請負金額（税抜き）』です。
工 種	『1-2 下請入力』シートで入力した担当工種が自動入力してください。

注2) 再下請者がある場合は、再下請者から回収された調査票（下請者用）の『★工事費』シートの内容（入力例の青枠内）を転記してください。

再下請者への『外注費』の内訳を入力することとなります。

同時に、再下請者における各費目が、適正に記入されていることを確認してください。

注3) 自社及び再下請者において該当する費目が無い場合は、『0』を入力してください。

注4) 入力欄について

①『自社分』欄は、自社について入力します。

（入力した値の合計が自動的に算出される項目、または他の入力シートで入力した値が表示される項目があります。）

②『再下請』欄は、再下請者各社について入力します。

（入力した値の合計が自動的に算出される項目があります。）

③『総合計』欄は、『自社分』欄及び『再下請』欄の合計が表示されます。

以下の入力例を参考に、入力内容及び入力操作方法を確認して入力してください。

13-13-1 入力例 (★工事費シート)

★工事費の内訳

※図番は、各特部分の「特図」ファイルの「☆工事費」シートに記入してください。

黄色塗りつぶし部分: 入力必要箇所
緑色塗りつぶし部分: 黄色セルの入力に伴う自動計算 (入力不可)

パスワードが要求される場合の対応方法:

金額は千円単位で入力します

業 務 名		算定額	算定率	2次下算	●算定額(%)	●算定率(%)
1次下算額・2次下算				金額		
1	1. 経費	220			220	
2	2. 経費	220			220	
3	3. 経費	220			220	
4	4. 経費	220			220	
5	5. 経費	220			220	
6	6. 経費	220			220	
7	7. 経費	220			220	
8	8. 経費	220			220	
9	9. 経費	220			220	
10	10. 経費	220			220	
11	11. 経費	220			220	
12	12. 経費	220			220	
13	13. 経費	220			220	
14	14. 経費	220			220	
15	15. 経費	220			220	
16	16. 経費	220			220	
17	17. 経費	220			220	
18	18. 経費	220			220	
19	19. 経費	220			220	
20	20. 経費	220			220	
21	21. 経費	220			220	
22	22. 経費	220			220	
23	23. 経費	220			220	
24	24. 経費	220			220	
25	25. 経費	220			220	
26	26. 経費	220			220	
27	27. 経費	220			220	
28	28. 経費	220			220	
29	29. 経費	220			220	
30	30. 経費	220			220	
31	31. 経費	220			220	
32	32. 経費	220			220	
33	33. 経費	220			220	
34	34. 経費	220			220	
35	35. 経費	220			220	
36	36. 経費	220			220	
37	37. 経費	220			220	
38	38. 経費	220			220	
39	39. 経費	220			220	
40	40. 経費	220			220	
41	41. 経費	220			220	
42	42. 経費	220			220	
43	43. 経費	220			220	
44	44. 経費	220			220	
45	45. 経費	220			220	
46	46. 経費	220			220	
47	47. 経費	220			220	
48	48. 経費	220			220	
49	49. 経費	220			220	
50	50. 経費	220			220	
51	51. 経費	220			220	
52	52. 経費	220			220	
53	53. 経費	220			220	
54	54. 経費	220			220	
55	55. 経費	220			220	
56	56. 経費	220			220	
57	57. 経費	220			220	
58	58. 経費	220			220	
59	59. 経費	220			220	
60	60. 経費	220			220	
61	61. 経費	220			220	
62	62. 経費	220			220	
63	63. 経費	220			220	
64	64. 経費	220			220	
65	65. 経費	220			220	
66	66. 経費	220			220	
67	67. 経費	220			220	
68	68. 経費	220			220	
69	69. 経費	220			220	
70	70. 経費	220			220	
71	71. 経費	220			220	
72	72. 経費	220			220	
73	73. 経費	220			220	
74	74. 経費	220			220	
75	75. 経費	220			220	
76	76. 経費	220			220	
77	77. 経費	220			220	
78	78. 経費	220			220	
79	79. 経費	220			220	
80	80. 経費	220			220	
81	81. 経費	220			220	
82	82. 経費	220			220	
83	83. 経費	220			220	
84	84. 経費	220			220	
85	85. 経費	220			220	
86	86. 経費	220			220	
87	87. 経費	220			220	
88	88. 経費	220			220	
89	89. 経費	220			220	
90	90. 経費	220			220	
91	91. 経費	220			220	
92	92. 経費	220			220	
93	93. 経費	220			220	
94	94. 経費	220			220	
95	95. 経費	220			220	
96	96. 経費	220			220	
97	97. 経費	220			220	
98	98. 経費	220			220	
99	99. 経費	220			220	
100	100. 経費	220			220	
101	101. 経費	220			220	
102	102. 経費	220			220	
103	103. 経費	220			220	
104	104. 経費	220			220	
105	105. 経費	220			220	
106	106. 経費	220			220	
107	107. 経費	220			220	
108	108. 経費	220			220	
109	109. 経費	220			220	
110	110. 経費	220			220	
111	111. 経費	220			220	
112	112. 経費	220			220	
113	113. 経費	220			220	
114	114. 経費	220			220	
115	115. 経費	220			220	
116	116. 経費	220			220	
117	117. 経費	220			220	
118	118. 経費	220			220	
119	119. 経費	220			220	
120	120. 経費	220			220	
121	121. 経費	220			220	
122	122. 経費	220			220	
123	123. 経費	220			220	
124	124. 経費	220			220	
125	125. 経費	220			220	
126	126. 経費	220			220	
127	127. 経費	220			220	
128	128. 経費	220			220	
129	129. 経費	220			220	
130	130. 経費	220			220	
131	131. 経費	220			220	
132	132. 経費	220			220	
133	133. 経費	220			220	
134	134. 経費	220			220	
135	135. 経費	220			220	
136	136. 経費	220			220	
137	137. 経費	220			220	
138	138. 経費	220			220	
139	139. 経費	220			220	
140	140. 経費	220			220	
141	141. 経費	220			220	
142	142. 経費	220			220	
143	143. 経費	220			220	
144	144. 経費	220			220	
145	145. 経費	220			220	
146	146. 経費	220			220	
147	147. 経費	220			220	
148	148. 経費	220			220	
149	149. 経費	220			220	
150	150. 経費	220			220	
151	151. 経費	220			220	
152	152. 経費	220			220	
153	153. 経費	220			220	
154	154. 経費	220			220	
155	155. 経費	220			220	
156	156. 経費	220			220	
157	157. 経費	220			220	
158	158. 経費	220			220	
159	159. 経費	220			220	
160	160. 経費	220			220	
161	161. 経費	220			220	
162	162. 経費	220			220	
163	163. 経費	220			220	
164	164. 経費	220			220	
165	165. 経費	220			220	
166	166. 経費	220			220	
167	167. 経費	220			220	
168	168. 経費	220			220	
169	169. 経費	220			220	
170	170. 経費	220			220	
171	171. 経費	220			220	
172	172. 経費	220			220	
173	173. 経費	220			220	
174	174. 経費	220			220	
175	175. 経費	220			220	
176	176. 経費	220			220	
177	177. 経費	220			220	
178	178. 経費	220			220	
179	179. 経費	220			220	
180	180. 経費	220			220	
181	181. 経費	220			220	
182	182. 経費	220			220	
183	183. 経費	220			220	
184	184. 経費	220			220	
185	185. 経費	220			220	
186	186. 経費	220			220	
187	187. 経費	220			220	
188	188. 経費	220			220	
189	189. 経費	220			220	
190	190. 経費	220			220	
191	191. 経費	220			220	
192	192. 経費	220			220	
193	193. 経費	220			220	
194	194. 経費	220			220	
195	195. 経費	220			220	
196	196. 経費	220			220	
197	197. 経費	220			220	
198	198. 経費	220			220	
199	199. 経費	220			220	
200	200. 経費	220			220	
201	201. 経費	220			220	
202	202. 経費	220			220	
203	203. 経費	220			220	
204	204. 経費	220			220	
205	205. 経費	220			220	
206	206. 経費	220			220	
207	207. 経費	220			220	
208	208. 経費	220			220	
209	209. 経費	220			220	
210	210. 経費	220			220	
211	211. 経費	220			220	
212	212. 経費	220			220	
213	213. 経費	220			220	
214	214. 経費	220			220	
215	215. 経費	220			220	
216	216. 経費	220			220	
217	217. 経費	220			220	
218	218. 経費	220			220	
219	219. 経費	220			220	
220	220. 経費	220			220	
221	221. 経費	220			220	
222	222. 経費	220			220	
223	223. 経費	220			220	
224	224. 経費	220			220	
225	225. 経費	220			220	
226	226. 経費	220			220	
227	227. 経費	220			220	
228	228. 経費	220			220	
229	229. 経費	220			220	
230	230. 経費	220			220	
231	231. 経費	220			220	
232	232. 経費	220			220	
233	233. 経費	220			220	
234	234. 経費	220			220	
235	235. 経費	220			220	
236	236. 経費	220			220	
237	237. 経費	220			220	
238	238. 経費	220			220	
239	239. 経費	220			220	
240	240. 経費	220			220	
241						

<再下請者分の転記例>

下請『★工事費』シート：例）一次下請

★工事費の内訳

元請者は、赤枠部分を「元請」ファイルの「★工事費」シートに転記してください。

黄色塗りつぶし部分：入力必要箇所
 緑色塗りつぶし部分：黄色セルの入力に伴う自動計算（入力不可）
 その他の部分：シートの書換等を防ぐ為、入力不可にしている。
 パスワードが要求される場合の対処方法：
 入力箇所が間違っているためであり、指定箇所（黄色塗りつぶし部分）に入力して下さい。

金額は千円単位で入力します

注)消費税抜きで記入してください

費目	下請社名 工種	総合計 1次下請+2次下請	1次下請負業者		2次下請負業者	
			自社分 土工	2次下請 合計	1 ●●建設(株) 土工	2
① 直接工事費		220	11	209	209	0
(1) 材料費		2	1	1	1	
(2) 労務費等		204	3	201	201	0
イ 労務費		2	1	1	1	
□ 交通誘導警備員A		101	1	100	100	
ハ 交通誘導警備員B		101	1	100	100	
(3) 機械機具等損料		2	1	1	1	
(4) 貸与機械等現場修理・管理費(官貸与)		2	1	1	1	
(5) 直接経費		4	2	2	2	0
イ 特許使用料		2	1	1	1	
□ 光熱電力使用料		2	1	1	1	
(6) 特殊経費(処分費等)		6	3	3	3	0
イ 処分費(再資源化施設の受入費を含む)		2	1	1	1	
□ 上・下水道料金		2	1	1	1	
ハ 有料道路利用料		2	1	1	1	

再下請『★工事費』シート：例）二次下請

再下請者分は、再下請者の「★工事費」シートの青枠内を転記してください。(総合計欄を転記してください)

★工事費の内訳

元請者は、赤枠部分を「元請」ファイルの「★工事費」シートに転記してください。

黄色塗りつぶし部分：入力必要箇所
 緑色塗りつぶし部分：黄色セルの入力に伴う自動計算（入力不可）
 その他の部分：シートの書換等を防ぐ為、入力不可にしている。
 パスワードが要求される場合の対処方法：
 入力箇所が間違っているためであり、指定箇所（黄色塗りつぶし部分）に入力して下さい。

金額は千円単位で入力します

注)消費税抜きで記入してください

費目	下請社名 工種	総合計 2次下請+3次下請	2次下請負業者		3次下請負業者	
			自社分 土工	3次下請 合計	1 ●●建設(株) 土工	2
① 直接工事費		22	11	209	209	0
(1) 材料費		2	1	1	1	
(2) 労務費等		20	3	201	201	0
イ 労務費		2	1	1	1	
□ 交通誘導警備員A		10	1	100	100	
ハ 交通誘導警備員B		10	1	100	100	
(3) 機械機具等損料		2	1	1	1	
(4) 貸与機械等現場修理・管理費(官貸与)		2	1	1	1	
(5) 直接経費		4	2	2	2	0
イ 特許使用料		2	1	1	1	
□ 光熱電力使用料		2	1	1	1	
(6) 特殊経費(処分費等)		6	3	3	3	0
イ 処分費(再資源化施設の受入費を含む)		2	1	1	1	
□ 上・下水道料金		2	1	1	1	
ハ 有料道路利用料		2	1	1	1	

13-13-2 入力項目（★工事費シート）

① 直接工事費

★工事費の内訳

元請者は、赤枠部分を「元請」ファイルの「★工事費」シートに転記してください。

黄色塗りつぶし部分：入力必要箇所
緑色塗りつぶし部分：黄色セルの入力に伴う自動計算（入力不可）
その他の部分：シートの手書き等を防ぐため、入力不可にしている。
パスワードが要求される場合の対処方法：
入力箇所が間違っているためであり、指定箇所（黄色塗りつぶし部分）に入力して下さい。

金額は千円単位で入力します

注）消費税抜きで記入してください

費 目		下請社名	総合計	自社分	2次下請	●●建設(株)	
		工種		1次下請+2次下請	土工	合計	土工
① 直接工事費			220	11	209	209	0
(1) 材料費			2	1	1	1	
(2) 労務費等			204	3	201	201	0
イ 労務費			2	1	1	1	
□ 交通誘導警備員A			101	1	100	100	
ハ 交通誘導警備員B			101	1	100	100	
(3) 機械機具等損料			2	1	1	1	
(4) 貸与機械等現場修理・管理費(官貸与)			2	1	1	1	
(5) 直接経費			4	2	2	2	0
イ 特許使用料			2	1	1	1	
□ 光熱電力使用料			2	1	1	1	
(6) 特殊経費(処分費等)			6	3	3	3	0
イ 処分費(再資源化施設の受入費を含む)			2	1	1	1	
□ 上・下水道料金			2	1	1	1	
ハ 有料道路利用料			2	1	1	1	

会社名:		
(株)●●建設工業		
請負金額(税抜き)		
100,000	会社名:	会社名:
請負金額の内、外注費	●●建設(株)	
4,000	工事価格	工事価格
工事価格	4,000	
96,000	千円	千円
千円		

1次下請負業者	2次下請負業者
	1
	2

項 目	内 容
①直接工事費	<p>『直接工事費』とは、工事目的物を造るために直接必要とされる費用で、「材料費、労務費、機械器具等損料、貸与機械等の現場修理費・管理費、直接経費、特殊経費」で構成されます。</p> <p>次の「(1) ～ (6)」の合計額が自動算出されます。</p>
(1) 材料費	<p>直接工事の施工に必要な材料の費用（特殊製品、燃料、油脂、火薬、ビット、消耗部品、雑材料、雑品、雑油脂等を含む）とし、その工事で全額消費された材料費の合計額を入力してください。</p> <p>なお、各材料の購入手数料、引取運賃、荷役費、保険料等を含むものとします。</p> <p>注 1）『鋼橋等工場製作費』及び『電気通信設備工事における機器単体費』には、本項目に計上する場合と、「⑤鋼橋等工場製作費（電気通信設備工事の場合は機器単体費）」の項目に計上する場合の2種類があるので、発注者側の積算計上項目と同じ項目への計上が必要となります。</p> <p>注 2）『鋼橋等工場製作物』及び『電気通信設備工事における機器』の運搬に要した費用は、本項目に計上してください。</p>
(2) 労務費	<p>次の「イ～ハ」の合計額が自動算出されます。</p>
イ 労務費	<p>直接工事（工事目的物の施工、仮設工事）の施工に従事した『労働者等の賃金（基本給、または請負給、割増賃金、基準内・外手当）、賞与（当該工事に相応する賞与額で臨時的手当を含む）及び実物給与等』の金額を入力してください。</p> <p>注 1）入力に際しては、「P.15」の『12 入力上の用語及び費用の取り扱いについて』を参照し、労働者の従事内容に注意して費用を計上してください。</p> <p>注 2）直接工事の施工に従事した労働者以外の費用は計上しないでください。</p> <p>例 1）測量、準備工に要した労務費 →『準備費』に計上してください。</p> <p>例 2）動態観測等に要した労務費 →『技術管理費』に計上してください。</p> <p>注 3）雇用上（元請・下請）の正社員の場合でも、直接工事に従事した者（普通作業員、重機オペレーター等）の労務費は、本項目に計上してください。</p> <p>注 4）直接工事の施工と現場管理を兼務する者の場合は、その作業割合に応じて「労務費」と「社員等従業員給料手当」に分けて、それぞれの費用を各項目に計上してください</p> <p>注 5）元請者が直接雇用し、支払った賃金は、元請者の労務費として計上してください。</p>
ロ 交通誘導警備員 A	<p>交通誘導警備員 A（一級検定合格警備員又は二級検定合格警備員）に要した費用を入力してください。</p>
ハ 交通誘導警備員 B	<p>交通誘導警備員 B（交通誘導警備員 A 以外の交通の誘導に従事する者）に要した費用を入力してください。</p>

項 目	内 容
(3) 機械器具等損料	<p>直接工事の施工に要した船舶、機械器具等（雑機械、小器材を含む）損料額（修理費、管理費を含む）の合計額を入力してください。</p> <p>また、直接工事の施工に要した仮設材（鋼製・木製仮設材）のような繰返し転用される材料においても、当該工事に使用された期間の損料額を入力してください。</p> <p>注）機械器具等のリース業者へ支払う費用は、本項目に計上してください。</p> <p>なお、燃料及び労務費込みのリース料金の場合は、材料費と労務費を分けて入力する必要はありません。</p>
(4) 貸与機械等 現場修理・管理費 (官貸与)	発注者が元請者に貸与した機械器具等の現場における修理費及び管理費の合計額を入力してください。
(5) 直接経費	次の「イ及びロ」の合計額が自動算出されます。
イ 特許使用料	<p>直接工事の施工に要した特許の使用料（派遣技術者等の費用を含む）の合計額を入力してください。</p> <p>注）材料費及び機械器具等損料に含まれている場合は計上しないでください。</p>
ロ 光熱電力 使用料	<p>直接工事に消費した光熱電力の使用料の合計額を入力してください。</p> <p>注）基本料金は『②間接工事費（1）共通仮設費 ホ 役務費 B 電力用水等基本料』に計上してください。</p>
(6) 特殊経費（処分 費等）	次の「イ～ハ」の合計額が自動算出されます。
イ 処分費	<p>直接工事の施工に要した産業廃棄物等の処理費（産業廃棄物税を含む）の合計額を入力してください。</p> <p>注）処分場への運搬費は『①直接工事費（3）機械器具等損料』に計上してください。</p>
ロ 上・下水道料金	<p>直接工事の施工に要した上・下水道の使用料の合計額を入力してください。</p> <p>注）基本料金は『②間接工事費（1）共通仮設費 ホ 役務費 B 電力用水等基本料』に計上してください。</p>
ハ 有料道路 利用料	直接工事の施工に要した有料道路利用料の合計額を入力してください。

② 間接工事費 (1) 共通仮設費

(イ 運搬費・ロ 準備費・ハ 事業損失防止施設費・ニ 安全費)

② 間接工事費	99,776	95,987	3,789	3,788	0
(1) 共通仮設費	1,340	848	492	492	0
イ 運搬費	355	205	150	150	0
A 機器材	150	100	50	50	0
1) 仮設材①	0	0	0	0	0
2) 仮設材②	150	100	50	50	0
3) 仮設材③	0	0	0	0	0
4) 敷鉄板①	0	0	0	0	0
5) 敷鉄板②	0	0	0	0	0
6) 敷鉄板③	0	0	0	0	0
7) 敷鉄板④	0	0	0	0	0
8) 橋梁等架設支保工	0	0	0	0	0
9) 橋梁用架設タワー等	0	0	0	0	0
10) 橋梁用仮設設備	0	0	0	0	0
11) 積み込み取り卸し費	0	0	0	0	0
12) トンネル用スライドセントル	0	0	0	0	0
13) コンクリートダム堤体工における雑運搬	0	0	0	0	0
21) その他①	0	0	0	0	0
31) その他②	0	0	0	0	0
B 建設機械Ⅰ	205	105	100	100	0
1) 貨物自動車等による運搬	205	105	100	100	0
2) 自走による運搬	0	0	0	0	0
3) 日々回送による運搬	0	0	0	0	0
4) 現場内小運搬	0	0	0	0	0
C 建設機械Ⅱ	0	0	0	0	0
1) 貨物自動車等による運搬	0	0	0	0	0
2) 自走による運搬	0	0	0	0	0
4) 現場内小運搬(内分解組立費)	0	0	0	0	0
ロ 準備費	0	0	0	0	0
A 準備・測量等	0	0	0	0	0
B その他	0	0	0	0	0
ハ 事業損失防止施設費	2	1	1	1	0
ニ 安全費	48	24	24	24	0
安全留意度 「建設工事公衆災害防止対策要綱」について 選択					
A 安全管理費	26	13	13	13	0
1) 工事区域内全般の安全管理上の監視、 あるいは連絡等に要した費用	2	1	1	1	
2) 不稼働日の保安要員等の費用	2	1	1	1	
3) 標示板、標識、保安燈、防護柵、バリケード、 架空線等事故防止対策簡易ゲート、照明、 仮設信号機等の安全施設等の設置、撤去、 補修に要した費用及び使用期間中の損料	2	1	1	1	
4) 夜間工事その他、照明が必要な作業を行う場合における照明に要した費用	2	1	1	1	
5) 酸素欠乏症の予防に要した費用	2	1	1	1	
6) 河川、海岸工事における救命艇に要した費用	2	1	1	1	
7) 粉塵作業の予防に要した費用	2	1	1	1	
8) 長大トンネル等における防火安全対策に要した費用(工事用連絡設備費含む)	2	1	1	1	
9) 安全用品等の費用(安全帯を除く)	2	1	1	1	
10) 安全用品等の費用(フルハーネスを除く安全帯のみの費用)	2	1	1	1	
12) 安全委員会等に要した費用	2	1	1	1	
15) 「山岳トンネル工事の切羽における肌落ち災害防止対策に係るガイドライン」における設備的防護対策に要した費用	2	1	1	1	
16) 道路使用許可申請等費用(手数料等)	2	1	1	1	
C 鉄道空港安全管理	2	1	1	1	
D 高圧作業予防	2	1	1	1	
E 航路安全標識・警戒船	2	1	1	1	
F ダム発破・監視費	2	1	1	1	
G トンネル工事における呼吸用保護具	2	1	1	1	
H 塗料かき落とし作業における呼吸用保護具	2	1	1	1	
I 切羽変位計測	2	1	1	1	
J 墜落制止用器具(フルハーネス)費用	2	1	1	1	
その他	2	1	1	1	
T その他	2	1	1	1	
その他	2	1	1	1	

項 目	内 容
②間接工事費	<p>『間接工事費』とは、工事目的物の出来高には直接関係ないが、各工種の施工に対して共通して使用されるものに要した費用で、「(1) 共通仮設費」及び「(3) 現場管理費」で構成されます。</p> <p>(本調査票では、「(2) 補償費」及び「(4) 機器間接費（電気通信設備工事の場合）」を含めます。)</p> <p>『(1) 共通仮設費』、『(2) 補償費』、『(3) 現場管理費』及び『(4) 機器間接費（電気通信設備工事の場合）』の合計額が自動算出されます。</p>
(1) 共通仮設費	<p>次の「イ～ヌ」の合計額が自動算出されます。</p> <p>共通仮設費の各項目を入力する際は、下記に注意して入力してください。</p> <p>注1) 各項目の算定にあたり、繰返し転用される仮設材及び機械器具については、当該工事で使用された期間の損料額を計上してください。</p> <p>注2) 雇用上（元請・下請）の正社員の場合でも、共通仮設工事に従事した者（普通作業員、重機オペレーター等）の賃金は、共通仮設費の個々の項目（運搬費、準備費等）に含めて計上してください。</p>
イ 運搬費	<p>次の「A～C」の合計額が自動算出されます。</p> <p>運搬費の各項目を入力する際は、下記に注意して入力してください。</p> <p>注) 運送業者へ支払う費用は、運搬費に計上してください。</p>
A 機器材	<p>自社分欄、再下請欄に『5-1_機器材運搬費』シートで入力した各項目の金額が自動計上されます。</p> <p>注) 入力の詳細は、「P. 37～P. 40」の『5-1_機器材運搬費』シートを参照してください。</p>
B 建設機械Ⅰ	<p>自社分欄、再下請欄に『5-2_建設機械Ⅰ・Ⅱ』シートで入力した各項目の金額が自動計上されます。</p> <p>注) 入力の詳細は、「P. 41～P. 48」の『5-2_建設機械Ⅰ・Ⅱ』シートを参照してください。</p>
C 建設機械Ⅱ	同上

項 目		内 容
ロ	準備費	<p>次の「A 及び B」の合計額が自動算出されます。</p> <p>準備費の各項目を入力する際は、下記に注意して入力してください。</p> <p>注 1) 準備、測量等に現場管理技術者（元請：現場代理人、監理（主任）技術者、技術員等、下請：主任技術者等）が従事した場合の費用は、『現場管理費の社員等従業員給料手当』で計上されることになるため、本項目では計上しないでください。</p> <p>注 2) 元請者及び下請者（測量業者、コンサルタント業者等）がこれらの業務を行った場合の費用（普通作業員、重機オペレーター等の賃金等）は、本項目に計上してください。</p> <p>注 3) 建設副産物等の処理費用は、『①直接工事費（6）特殊経費』と重複させないでください。</p> <p>注 4) 伐開とは、雑木や小さな樹木・竹などの除去で、ブルドーザ、レーキドーザ、あるいはバックホウ等による作業です。</p> <p>注 5) 伐採とは、樹木をチェーンソー等により切り倒す作業です。</p> <p>注 6) 本項目に計上した費用のうち『伐開・除根・除草等に要した費用』を「P. 86」の『⑩準備費のうち、伐開・除根・除草等に要した費用』の項目にも入力してください。</p>
	A 準備・測量等	<p>自社分・再下請け欄について『6_準備・測量』シートで入力した各項目の金額が自動計上されます。</p> <p>注) 入力の詳細は、「P. 49」の『6_準備・測量』シートを参照してください。</p>
ハ	B その他	同上
	事業損失防止施設費	<p>次にあげる費用について入力してください。</p> <p>1. 工事施工に伴って発生する騒音、振動、地盤沈下、地下水の断絶等に起因する事業損失を、未然に防止するための仮施設の設置費、撤去費及び当該仮施設の維持管理等に要した費用</p> <p>2. 事業損失を未然に防止するために必要な調査等に要した費用</p>
	ニ 安全費	次の「A～T」の合計額が自動算出されます。
	A 安全管理費	次の「1) ～16)」の合計額が自動算出されます。
	1)	<p>工事区域内全般の安全管理上の監視（但し、「山岳トンネル工事の切羽における肌落ち災害防止対策に係るガイドライン」による切羽監視責任者は、直接工事費の(2)労務費等に計上する。）、あるいは連絡等に要した費用（稼働日の保安要員等の費用を含む）を入力してください。</p>
	2)	不稼働日の保安要員等の費用を入力してください。
3)	3)	<p>標示板、標識、保安燈、防護柵、バリケード、架空線等事故防止対策簡易ゲート、照明、仮設信号機等の安全施設類の設置、撤去、補修に要した費用（労務費等）及び使用期間中の損料を入力してください。</p>
	4)	<p>夜間工事その他、照明が必要な作業を行う場合における照明に要した費用を入力してください。</p> <p>注 1) 大規模な照明設備を必要とする広範な工事（ダム・トンネル本体工事、トンネル内舗装等工事）に要した費用は『I その他』に計上してください。</p> <p>注 2) 照明に要した費用のうち、工事用仮設備で計上するもの（トンネル工事における照明設備等）は、『①直接工事費』に計上してください。</p>

項 目				内 容
			5)	酸素欠乏症の予防に要した費用を入力してください。
			6)	河川、海岸工事における救命艇に要した費用を入力してください。
			7)	粉塵作業の予防に要した費用（但し、「ずい道等建設工事における粉塵対策に関するガイドライン」によるトンネル工事の粉塵発生源に係る措置の各設備、「鉛等有害物を含有する塗料のかき落とし作業における労働者の健康障害防止について」に伴う各ばく露防止対策は、仮設工に計上する。）を入力してください。
			8)	長大トンネル等における防火安全対策に要した費用（工事用連絡設備費含む）を入力してください。
			10)	安全用品等の費用（フルハーネスを除く）を入力してください。
			12)	安全委員会等に要した費用を入力してください。
			15)	「山岳トンネル工事の切羽における肌落ち災害防止対策に係るガイドライン」における設備的防護対策に要した費用を入力してください。
			16)	道路使用許可申請等費用（手数料等）に要した費用を入力してください。
		C	鉄道空港安全管理	鉄道、空港関係施設等に近接した工事現場における出入り口等に配置する安全管理要員等に要した費用を入力してください。
		D	高圧作業予防	高圧作業の予防に要した費用を入力してください。
		E	航路安全標識・警戒船	河川及び海岸の工事区域に隣接して、航路がある場合の安全標識・警戒船運転に要した費用を入力してください。
		F	ダム発破・監視費	ダム工事における岩盤掘削時に必要な発破・監視に要した費用を入力してください。
		G	トンネル工事における呼吸用保護具	トンネル工事における呼吸用保護具（電動ファン付粉塵用呼吸用保護具等）に要した費用を入力してください。
		H	塗料かき落とし作業における呼吸用保護具	鉛等有害物を含有する塗料のかき落とし作業における呼吸用保護具（電動ファン付粉塵用呼吸用保護具等）に要した費用を入力してください。
		I	切羽変位計測	「山岳トンネル工事の切羽における肌落ち災害防止対策に係るガイドライン」における切羽変位計測に要した費用（トンネル（NATM）の計測Aに要した費用については除く）を入力してください。
		J	墜落制止用器具（フルハーネス）費用	墜落制止用器具（フルハーネス）費用を入力してください。
		T	その他（ ）	上記「A～J」以外で、現場条件等により安全に関して要した費用を入力してください。 注）費用を計上した具体的な内容を、本項目欄の『（ ）』内に入力してください。

② 間接工事費 (1) 共通仮設費

(ホ 役務費・ヘ 技術管理費・ト 営繕費・チ 現場環境改善費・ヌ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策費用・ル その他)

ホ 役務費	4	2	2	2	0
A 土地の借上費	2	1	1	1	
B 電力用水等基本料	2	1	1	1	
ヘ 技術管理費	600	400	200	200	0
A 品質管理費等	100	100	0	0	0
B 特殊な品質管理	200	0	200	200	0
C 現場条件等費用	300	300	0	0	0
D 各種調査等	0	0	0	0	0
E 各種台帳等	0	0	0	0	0
F ICT建設機械	0	0	0	0	0
Z その他	0	0	0	0	0
ト 営繕費	24	12	12	12	0
A 建物費	4	2	2	2	0
1) 労働者宿舎や駐車場の設置・撤去、維持修繕(運搬費、電灯、水道、ガスの諸施設含む)に要した費用	2	1	1	1	
2) 現場事務所、試験室、倉庫、材料保管場所、駐車場等の設置・撤去、維持修繕(運搬費、電灯、水道、ガスの諸施設含む)に要した費用	2	1	1	1	
B 借上費	4	2	2	2	0
1) 労働者宿舎や駐車場の敷地の借上げに要した地代及び建物を建築する代わりに貸ビル、マンション、民家等を長期借上げに要した費用	2	1	1	1	
2) 現場事務所、試験室、倉庫、材料保管場所、駐車場等の敷地の借上げに要した地代及び建物を建築する代わりに貸ビル、マンション、民家等を長期借上げに要した費用	2	1	1	1	
C 宿泊費	2	1	1	1	
D 労働者送迎費	2	1	1	1	
E 監督員詰所・火薬庫等の営繕	2	1	1	1	
F 通常トイレ費用	2	1	1	1	
G 快適トイレ費用	2	1	1	1	
その他	2	1	1	1	
K その他	2	1	1	1	
その他	2	1	1	1	
チ 現場環境改善費	200	200	0	0	0
A 仮設備関係	200	200	0	0	0
B 営繕関係	0	0	0	0	0
C 安全関係	0	0	0	0	0
D 地域連携	0	0	0	0	0
Z その他	0	0	0	0	0
ヌ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策費用	101	1	100	100	
その他	2	1	1	1	
ル その他	2	1	1	1	
その他	2	1	1	1	

項 目		内 容
	ホ 役務費	次の「A 及び B」の合計額が自動算出されます。
	A 土地の借上費	<p>工事を行うにあたり、必要となる土地の借上げ等に要した費用を入力してください。</p> <p>例) 工事用道路、オープン掘削等で工事用地を借上げた場合等</p> <p>注) 現場事務所、宿舍等の設置に要する土地の借上げに要した費用は、『②間接工事費 (1) 共通仮設費 ト 営繕費 B 借上費』に計上してください。</p>
	B 電力用水等基本料及び電力設備用工事負担金	<p>工事を行うにあたり、必要となる電力、用水等の基本料及び電力設備用工事負担金に要した費用を入力してください。</p> <p>注) 現場事務所、宿舍等で使用する電力用水基本料は、『②間接工事費 (3) 現場管理費 カ 動力・用水光熱費』に計上してください。</p>
	ヘ 技術管理費	<p>次の「A～Z」の合計額が自動算出されます。</p> <p>技術管理費の各項目を入力する際は、下記に注意して入力してください。</p> <p>注 1) 品質管理、出来形管理及び工程管理等に要した費用を入力してください。</p> <p>注 2) 現場管理技術者（元請：現場代理人、監理（主任）技術者、技術員等、下請：主任技術者等）が従事した場合の費用は『現場管理費の社員等従業員給料手当』に計上されることになるため、本項目では計上しないでください。</p> <p>注 3) 元請者及び下請者（測量業者、コンサルタント業者等）がこれらの業務を行った場合の費用（普通作業員、重機オペレーター等の賃金等）は、本項目に計上してください。</p>
	A 品質管理費等	<p>自社分・再下請欄については、『7_技術管理費_下請』シートで入力した各項目の金額が自動計上されます。</p> <p>注) 入力の詳細は、「P. 55」の『7_技術管理費_下請』シートを参照してください。</p>
	B 特殊な品質管理	同上
	C 現場条件等費用	同上
	D 各種調査等	同上
	E 各種台帳等	同上
	F I C T建設機械	同上
	Z その他	同上
	ト 営繕費	次の「A～K」の合計額が自動算出されます。
	A 建物費	次の「1) 及び 2)」の合計額が自動算出されます。
	1)	労働者宿舍の設置・撤去、維持修繕（運搬費、電灯、水道、ガスの諸施設含む）に要した費用を入力してください。

項 目		内 容
	2)	現場事務所、試験室、倉庫、材料保管場所等の設置・撤去、維持修繕（運搬費、電灯、水道、ガスの諸施設含む）に要した費用を入力してください。
	B 借上費	次の「1）及び2）」の合計額が自動算出されます。 注） 本項目に計上した費用のうち、『 地代に要した費用 』を「P.86」の『 ⑨営繕費のうち、地代に要した費用 』の項目にも入力してください。
	1)	労務者宿舍の敷地の借上げに要した地代及び建物を建築する代わりに貸ビル、マンション、民家等を長期借上げした場合に要した費用を入力してください。
	2)	現場事務所、試験室、倉庫、材料保管場所等の敷地の借上げに要した地代及び建物を建築する代わりに貸ビル、マンション、民家等を長期借上げした場合に要した費用を入力してください。
	C 宿泊費	労働者が、旅館、ホテル等に宿泊した場合に要した費用を入力してください。
	D 労働者送迎費	労働者をマイクロバス等で日々当該現場に送迎輸送（水上輸送を含む）をするために要した費用（運転手賃金、車両損料、燃料費等含む）を入力してください。 注）労働者へ交通費を支給した場合の費用は、『②間接工事費（3）現場管理費 イ 労務管理費』に計上してください。
	E 監督員詰所・火薬庫等の営繕	監督員詰所、火薬庫類の営繕（設置・撤去、維持・補修）に要した費用及び敷地の借上げに要した地代を入力してください。 また、火薬庫、火工品庫の火薬類盗難防止の万全を期すための保安費（夜間巡回等の見張員）に要した費用を入力してください。 注 1） 本項目に計上した費用のうち、『 地代に要した費用 』を「P.86」の『 ⑨営繕費のうち、地代に要した費用 』の項目にも入力してください。
	F 通常トイレ費用	通常トイレに要した費用を入力してください
	G 快適トイレ費用	快適トイレに要した費用を入力してください（快適トイレの機能を満たしたトイレのみ対象）。 但し計上できる金額は、従来相当品を差し引いた後 51,000 円/基・月（令和 2 年 4 月 1 日以降に入札契約手続きを開始する工事から適用する）を上限とし、男女別で設置した場合は、2 基/工事（施工箇所※）まで、また「施工箇所が点在する工事の積算」の場合は施工箇所毎に費用計上してください。この金額を越えた場合は、「②間接工事費（1）共通仮設費 チ 現場環境改善費 B 営繕関係」に計上してください。 なお、平成 28 年 10 月 1 日以降で令和 2 年 3 月 31 日まで入札手続きを開始する工事が対象は、45,000 円/基です。（既契約工事は平成 28 年 10 月 1 日以降協議して導入する場合が対象。） ※「施工箇所が点在する工事の積算」適用工事については「工事」を「施工箇所」に読み替える。
	K その他（ ）	上記「A～G」以外で、工事施工上必要な営繕に要した費用を入力してください。 注） 費用を計上した具体的な内容を、本項目欄の『（ ）』内に入力してください。
チ	現場環境改善費	次の「A～Z」の合計額が自動算出されます。

下水

項 目			内 容
		A 仮設備関係	<p>自社分・再下請欄について『8_現場環境改善費』シートで入力した各項目の金額が自動計上されます。</p> <p>注) 入力の詳細は、「P. 61」の『8_現場環境改善費』シートシートを参照してください。</p>
		B 営繕関係	同上
		C 安全関係	同上
		D 地域連携	同上
		Z その他	同上
		ヌ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策費用	<p>共通仮設費に含まれるものであって、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に要した費用を入力してください。</p>
		ル その他 ()	<p>共通仮設費に含まれるものであって、上記「イ～ヌ」以外で要した費用を入力してください。</p> <p>注) 費用を計上した具体的な内容を、本項目欄の『()』内に入力してください。</p>

② 間接工事費 (2) 補償費・(3) 現場管理費・(4) 機器間接費

(2) 補償費	2	1	1	1	0
(3) 現場管理費	98,434	95,138	3,296	3,295	0
イ 労務管理費	20	20	0	0	0
a. 募集・解散費	0	0	0	0	0
b. 慰安・娯楽・厚生費	0	0	0	0	0
c. 作業被服費	20	20	0	0	0
d. 資金以外の食事、通勤等に要する費用	0	0	0	0	0
e. 災害時負担費用	0	0	0	0	0
ロ 安全訓練等費用	6	3	3	3	0
A 安全・衛生に要した費用	2	1	1	1	
B 研修訓練等に要した費用	2	1	1	1	
C 外国人労働者の技能実習に要した費用	2	1	1	1	
ハ 租税公課	2	1	1	1	
ニ 社員等従業員給料手当	2,750	2,750	0	0	0
ホ 退職金	2	1	1	1	
ヘ 保険料	12	6	6	6	0
A 火災保険	2	1	1	1	
B 工事保険	2	1	1	1	
C 自動車保険	2	1	1	1	
D 組立保険	2	1	1	1	
E その他労災保険(法定外を含む)	2	1	1	1	
F その他損害保険	2	1	1	1	
ト 法定福利費	32	16	16	16	0
A 労災保険料	0	0	0	0	0
B 雇用保険料	2	1	1	1	0
C 健康保険料(介護保険料含む)	12	6	6	6	0
D 厚生年金保険料(児童手当拠出金含む)	18	9	9	9	0
E 建退共制度掛金					
F 船員保険料	0	0	0	0	0
チ 福利厚生費	2	1	1	1	
リ 補償費	2	1	1	1	
ス 通信交通費	2	1	1	1	
ル 交際費	2	1	1	1	
ヲ 事務用品費	2	1	1	1	
ワ 動力・用水光熱費	2	1	1	1	
カ 工事実績登録費	1	1			
ヨ 公共事業労務費調査	2	1	1	1	
タ その他(天候デリバティブ費用)	2	1	1	1	
レ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策費用	2	1	1	1	
その他	2	1	1	1	
ソ その他	2	1	1	1	
その他	2	1	1	1	
ツ 外注経費(外注一般管理費等)	95,583	92,326	3,257	3,256	0
(4) 機器間接費	2	2	0	0	0
イ 技術者間接費 (電気通信設備工事の場合)	1	1	0		
ロ 機器管理費 (電気通信設備工事の場合)	1	1	0		

項 目	内 容
(2) 補償費	<p>工事の施工に伴う下記の物件等の補償費で、発注者が積算計上した補償費について実際に要した費用を計上してください。</p> <p>例) 家屋の損壊補償、沈下補償、濁水補償、井戸の枯渇補償、等</p> <p>注) 積算計上されていない場合は、『②間接工事費 (3) 現場管理費リ 補償費』に計上してください。</p> <p>入力にあたっては、『積算計上の有無』を発注者に確認してください。</p> <p>原則として補償に要した費用を計上しますが、物件補償の場合でも、その評価額を入力してください。</p>
(3) 現場管理費	次の「イ～ツ」の合計額が自動算出されます。
イ 労務管理費	<p>自社分欄、再下請欄に『4_労務管理費』シートで入力した各項目の金額が自動計上されます。</p> <p>注) 入力の詳細は、「P. 34」の『4_労務管理費』シートを参照してください。</p>
ロ 安全訓練等費用	次の「A 及び B」の合計額が自動算出されます。
A 安全・衛生に要した費用	<p>安全・衛生に要した費用を入力してください。</p> <p>例) 安全訓練費、安全大会、作業手順会等</p>
B 研修訓練等に要した費用	<p>研修訓練等に要した費用を入力してください。</p> <p>例) 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育、工事内容等の周知徹底、工事における災害対策訓練費等</p>
C 外国人労働者の技能実習に要した費用	<p>研修訓練等に要した費用のうち、外国人労働者の技能実習に要した費用を入力してください。</p> <p>例) 外国人労働者の技能実習、現場マニュアルの多言語化等に要する費用 等</p>
ハ 租税公課	<p>印紙類代、自動車税及び固定資産税に要した費用を入力してください。</p> <p>注) 『①直接工事費 (3) 機械器具等損料 (ダンプトラック、建設機械等)』に計上された自動車税及び固定資産税は計上しないでください。</p>
ニ 社員等従業員給料手当	<p>自社分欄は『2-1_社員等従業員給料等_自社分』シート、再下請欄は『2-2_社員等従業員給料等_再下請分』シートで入力した各項目の金額が自動計上されます。</p> <p>注 1) 入力に際しては、「P. 15」の『12 入力上の用語及び費用の取り扱いについて』を参照し、労働者の従事内容に注意して費用を計上してください。</p> <p>注 2) 入力の詳細は、「P. 18～P. 22」の『2-1_社員等従業員給料等_自社分』シートを参照してください。</p>
ホ 退職金	社員等従業員に対する退職金、退職給与引当金繰入額及び中小企業退職金共済法掛金事業主負担額を入力してください。

項 目		内 容
へ 保険料		次の「A～F」の合計額が自動算出されます。 注1)『①直接工事費(3) 機械器具等損料』に計上された保険料は計上しないでください。 注2) 還付金がある場合は、差し引いてください。 注3) 個人事業主の法定外労災上乗せ分については、『E その他労災保険(法定外を含む)』に計上してください。
	A 火災保険	調査対象工事に要した火災保険料を入力してください。
	B 工事保険	調査対象工事に要した工事保険料を入力してください。
	C 自動車保険	調査対象工事に要した自動車保険料を入力してください。
	D 組立保険	調査対象工事に要した組立保険料を入力してください。
	E その他労災保険(法定外を含む)	調査対象工事に要したその他労災保険(法定外を含む)料を入力してください。
	F その他損害保険	調査対象工事に要したその他の損害保険料を入力してください。
ト 法定福利費		次の「A～F」の合計額が自動算出されます。 注) 労災保険(特別加入)は、『A 労災保険料』に計上してください。
	A 労災保険料	自社分欄、再下請欄に『3_法定福利費』シートで入力した各項目の金額が自動計上されます。 注) 入力の詳細は、「P. 25～P. 27」の『3_法定福利費』シートを参照してください。
	B 雇用保険料	同 上
	C 健康保険料(介護保険料を含む)	同 上
	D 厚生年金保険料(児童手当出金を含む)	同 上
	E 建退共制度掛金	同 上
	F 船員保険料	同 上
チ 福利厚生費		社員等従業員に対する慰安、娯楽、厚生、貸与被服、健康診断、医療、文化活動、慶弔見舞等に要した費用、厚生年金上乗せ給付分(厚生年金基金、個人事業主の国民年金基金等)、及び社員等従業員の団体傷害保険料(還付金等は除く)のうち、事業主負担額を入力してください。
リ 補償費		工事の施工に伴って通常発生した物件等の毀損の補修及び騒音、振動、濁水、交通等による事業損失に係る補償費で、緊急的な応急措置及び簡易復旧にかかる費用を入力してください。 注) 巨額な補償が生じる等、発注者と協議し積算対象となったものについては『②間接工事費(2) 補償費』に計上してください。
ヌ 通信交通費		社員等従業員が本支店等に出張した旅費、発注者等への連絡交通費、及び電話、郵便等の通信費に要した費用を入力してください。

項 目	内 容
ル 交際費	得意先、来客の応待費、慶弔見舞等に要した費用を入力してください。
ヲ 事務用品費	事務用消耗品類の購入費及び新聞、参考図書、雑誌等の購入費を入力してください。
ワ 動力 ・用水光熱費	事務所、宿舍等で使用された電力、水道、ガス等の費用（基本料金を含む）を入力してください。
カ 工事实績 登録費	入力不要の項目です。
ヨ 公共事業労務 費調査	公共事業労務費調査に要した費用を入力してください。
タ その他（天候 デリバティブ 費用）	天候デリバティブ※に要した費用を入力してください。 ※契約時に所定の契約料を支払うことで、観測期間中に測定された対象指標（降雪量等）が、約定した条件に合致した場合に一定の金額（決済金）を支払う金融派生商品
レ 新型コロナウ イルス感染拡 大防止対策費 用	現場管理費に含まれるものであって、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に要した費用を入力してください。
ソ その他 （ ）	現場管理費に含まれるものであって、上記「イ～レ」以外で要した費用を入力してください。 注1) 費用を計上した具体的な内容を、本項目欄の『（ ）』内に入力してください。 例) 雑貨費、社内打合せ等の費用、諸団体会費、等
ツ 外注経費（外 注一般管理費 等）	『工事価格（税抜き工事請負金額）』から『工事实績額』を差し引いた金額が自動算出されます。 注1) 本調査票における『外注一般管理費等』は、下請者（自社）及び再下請者（外注）の『一般管理費等』をいいます。 自社分欄に下請者（自社）の『一般管理費等』が自動算出されます。また、再下請欄に再下請者（外注）の『一般管理費等』が自動算出されます。 本調査票における『外注経費（外注一般管理費等）』は、下記算出式より求められます。 『外注経費（外注一般管理費等）』 ＝『⑦工事価格』－（『①直接工事費』＋『②（1）共通仮設費』＋『②（2）補償費』＋『②（3）現場管理費 イ～ソ の各項目の合計』＋『②（4）機器間接費』＋『④技術提案の実施のために要した費用』＋『⑤鋼橋等工場製作費』＋『⑥別途調査等工事価格』） 注2) 『工事实績額』が『工事価格（税抜き工事請負金額）』より上回る場合は、マイナスの金額となります。 注3) 本項目に表示される外注経費（外注一般管理費等）の自動計算値は、各項目（直接工事費、共通仮設費等）で入力した金額を基に、上記算出式から求まる金額が表示されます。 入力した各項目の金額に間違いがないかを確認するための金額です。

項 目		内 容
(4) 機器間接費 (電気通信設備 工事の場合)		次の「イ及びロ」の合計額が自動算出されます。 注) 電気通信設備工事において、機器間接費が発生した場合のみ入力してください。
イ 技術者間接費		<p>技術者間接費の費用を入力してください。</p> <p>技術者間接費は、機器の調整及びシステム・インテグレーションのために製作工場等から派遣される技術者等に対する、製作工場等に係る経費で以下の費用を含みます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 従業員給与手当（当該製作工場等の間接部門の従業員（以下、「間接部門従業員」という。）の給料、諸手当及び賞与） 2. 退職金（間接部門従業員に係る退職金及び退職給与引当金繰込額） 3. 法定福利費（間接部門従業員に係る労災保険料、雇用保険料、健康保険料及び厚生年金保険料の法定の事業主負担額） 4. 福利厚生費（間接部門従業員に係る慰安娯楽、貸与被服、医療、慶弔見舞等福利厚生、文化活動等に要する費用） 5. 補助材料及び工場消耗品費 6. 事務用品費 7. 通信交通費 8. 雑費（1 から 7 までに属さない諸費用）
ロ 機器管理費		<p>機器管理費の費用について入力してください。</p> <p>機器管理費は、工事施工にあたって機器の調達、機器の施工現場での適切な管理等に要する経費で以下の費用を含みます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 機器の施工現場における管理にかかわる費用（機器の施工現場内での保管における必要な安全施設、安全管理及び運搬等に要する費用） 2. 技術管理に要する費用（機器の品質管理のための施工現場における試験・検査及び試運転等に要する費用） 3. 保険料（機器の施工現場内における火災保険、損害保険等の保険料） 4. 機器の調達に要する費用（機器の調達、製作の調整等に要する費用） 5. 訓練等に要する費用（機器の操作運用に関して発注者等への教育訓練に要する費用） 6. 機器製作期間中の現場経費（機器製作期間がある場合に期間中の施工現場の安全管理等に要する費用） 7. 事務用品費 8. 通信交通費 9. 雑費（1 から 8 に属さない諸経費）

③ 外注費 ～ ⑭労働者延人員と作業日数

③ 外注費(下請工事価格の合計)					
工事原価 (①直接工事費+②間接工事費+③外注費+⑥銅橋等工場製作費+⑦別途調査等工事価格)	50,002	50,002	0	0	0
④ 技術提案の実施のために要した費用	1	1	0		
⑥ 銅橋等工場製作費 (電気通信設備工事の場合は、機器単体費)	1	1	0		
⑦ 別途調査等工事価格	1	1	0		
⑧ 工事価格	100,000	100,000	8,000	4,000	4,000
⑧ 廃材処理等において、処分費以外に要した費用	0		0		
⑨ 営繕費のうち、地代に要した費用	0		0		
⑩ 準備費のうち伐開・除根・除草等に要した費用	0		0		
⑪ 2次下請負業者の数	2	2			
⑫ 2次下請負業者の外注経費(外注一般管理費等)の合計	2,000	2,000			
⑬ 2次下請負業者への発注工事価格の合計	8,000	8,000			
⑭ 延実人員数と作業日数					
(1) 労働者延人員	265	165	100	100	
(2) (1)のうち通勤労働者延人員	0		0		
(3) 交通誘導警備員A延人員	25		25		25
(4) 交通誘導警備員B延人員	75		75		75
(6) 技能関係等従事者延人員	35	35	0		
(7) 技術事務関係社員等従業員延人員	0		0		
(8) 作業日数	0		0		
(9) 延べ人員合計(1)+(3)+(4)+(6)+(7)	400	200	200	100	100
(10) 従事者延べ人員(3 法定福利費の入力値)	400	200	200	100	100

項 目	内 容
③外注費	入力不要の項目です。
④技術提案の実施のために要した費用	技術提案の実施のために要した費用が発生した場合は記入してください。
⑤鋼橋等工場製作費 (電気通信設備工事の場合は、機器単体費)	<p>鋼橋等工場製作費（電気通信設備工事の場合は、機器単体費）の費用を入力してください。</p> <p>『鋼橋等工場製作費』とは、鋼桁、門扉、ポンプ等の当該工場製作にかかる費用（直接工事費、間接労務費及び工場管理費）です。</p> <p>『機器単体費』とは、製造工場で作られ、その製品が製造工場で、性能・機能等の確認（品質証明が得られる）がなされ、据付現場において内部の加工等を必要としない機器の費用（直接製作費、二次労務費、工場管理費及び一般管理費等）です。</p> <p>注 1）発注者にて工場製作費として積算計上されているものを計上し、入力にあたっては、本項目の『積算計上の有無』を発注者に確認してください。</p> <p>注 2）工場製作品であっても、発注者にて工場製作費として積算計上していない場合は、『①直接工事費（1）材料費』に計上してください。</p> <p>注 3）工場製作物及び機器の製作工場所所在地から工事現場までの輸送費は、『①直接工事費（1）材料費』に計上してください。</p>
⑥別途調査等工事価格	<p>当該工事の中に「調査・設計業務等」が含まれている場合は、費用を入力してください。</p> <p>例）地質調査、構造物詳細設計、爆弾探査工事等</p> <p>注 1）土木積算基準以外で積算計上されているものが本項目に該当します。</p> <p>土木工事とは別の費用を『一括計上』、『建築工事一式』等として本項目に積算計上されている場合も、本項目に該当します。</p> <p>注 2）発注者側で積算計上されているものを計上してください。</p> <p>入力にあたっては、本項目の『積算計上の有無』を発注者に確認してください。</p>
⑦工事価格	<p>自社分欄及び再下請欄とも、「P. 65」の『調査情報』入力項目の『工事価格』が表示されます。</p> <p>注）自社分欄及び再下請欄とも、工事価格の実績額と一致しているか確認してください。</p> <p>修正が必要な場合は、「P. 65」の『調査情報』入力項目を修正してください。</p>
⑧廃材処理等において、処分費以外に要した費用	<p>廃材の処理等において、処分費以外に要した費用を入力してください。</p> <p>例 1）マニフェストの購入代金及び記入、整備に要した人件費等</p> <p>例 2）産業廃棄物収集・運搬・処分の契約時に要した印紙代等</p> <p>例 3）追跡調査及び立会等に要した人件費、交通費等</p>
⑨営繕費のうち、地代に要した費用	『②間接工事費（1）共通仮設費 ト 営繕費 B 借上費 及び E 監督員詰所等』で入力した金額のうち、『地代に要した費用』を入力してください。
⑩準備費のうち、伐開・除根・除草等に要した費用	『②間接工事費（1）共通仮設費 ロ 準備費』で入力した金額のうち、『伐開、除根、除草等に要した費用』を入力してください。

項 目	内 容
⑪二次下請負者の数	<p>自社及び再下請者について、下位下請者の数を入力してください。</p> <p>例) 一次下請者は、使用した二次下請者の数を入力。</p> <p>二次下請者は、使用した三次下請者の数を入力。</p>
⑫二次下請負者の 外注経費（外注一般管理費等）の合計	<p>自社及び再下請者について、下位下請者の『外注経費（外注一般管理費等）』の合計額を入力してください。</p> <p>例) 一次下請者は、使用した二次下請者の『外注経費（外注一般管理費等）』の合計額を入力。</p> <p>二次下請者は、使用した三次下請者の『外注経費（外注一般管理費等）』の合計額を入力。</p>
⑬二次下請負者への 発注工事価格の合計	<p>自社及び再下請者について、下位下請者への『工事価格（外注費）』の合計額を入力してください。</p> <p>例) 一次下請者は、使用した二次下請者への『工事価格（外注費）』の合計額を入力。</p> <p>二次下請者は、使用した三次下請者への『工事価格（外注費）』の合計額を入力。</p>
⑭労働者延人員と 作業日数	<p>調査対象工事に従事した者の延人員数及び従事した作業日数を入力してください。</p> <p>注 1）延実人員とは、1 人の従事者が 1 時間でも作業すれば『1 人／1 日』としてください。また、15 時間作業しても『1 人／1 日』としてください。</p> <p>注 2）下記（1）、（3）、（4）、（5）、（6）の合計人数は、当該工事に従事した全体の『延実人員数』となるので、脱落のないように入力してください。</p>
(1) 労働者延人員	<p>直接、肉体的労働を伴って工事施工に従事した労働者（世話役、普通作業員、鳶工、大工、重機オペレーター等）の延人員を入力してください。</p> <p>注) 「P. 15」の『12 入力上の用語及び費用の取り扱いについて』の用語『労働者』が該当します。</p>
(2) (1) のうち通勤 労働者延人員	<p>『(1) 労働者延人員』のうち、通勤労働者の延人員を入力してください。</p>
(3) 交通誘導警備員 A 延人員	<p>『(2) 労務費等』又は『ニ安全費』で『交通誘導警備員 A』を費用計上した場合、延人員を入力してください。</p> <p>注) 『交通誘導警備員 A』とは、警備業者の警備員（警備業法第 2 第 4 項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第 1 条第 4 号に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員、または二級検定合格警備員をいいます。</p>
(4) 交通誘導警備員 B 延人員	<p>『(2) 労務費等』又は『ニ安全費』で『交通誘導警備員 B』を費用計上した場合、延人員を入力してください。</p> <p>注) 『交通誘導警備員 B』とは、警備業者の警備員で、『交通誘導警備員 A 以外』の交通誘導に従事する者をいいます。</p>
(6) 技能関係等従事者 延人員	<p>測量、地質調査、試験等の技能業務（測量技師、試験員等）に従事した延人員を入力してください。</p> <p>注 1) 「P. 15」の『12 入力上の用語及び費用の取り扱いについて』の用語『技能関係等従事者』が該当します。</p> <p>注 2) 測量、地質調査、試験等を現場管理的業務の技術者（現場代理人等）が実施した場合は、『(6) 技術・事務関係社員等従業員延人員』に計上してください。</p>

項 目	内 容
(7) 技術・事務関係 社員等従業員 延人員	<p>所長及び現場管理を行っている技術者、もしくは夜警員、倉庫番、食事係、連絡車の運転手等の特定業務・臨時業務に従事した延人員を入力してください。</p> <p>注)「P. 15」の『12 入力上の用語及び費用の取り扱いについて』の用語『社員等従業員』が該当します。</p>
(8) 作業日数	<p>自社及び再下請者について、調査対象工事に従事した作業日数を入力してください。</p>
(9) 延べ人員合計	<p>上記(1), (3), (4), (6), (7)の『合計延べ人員』が自動計算されます。</p>
(10) 従事者延べ人員	<p>『3_法定福利費』の法定福利費内訳書で入力した『従事者延べ人数』が表示されます。</p> <p>注) (9)と(10)は一致するように人員数を入力してください。</p>

13-14 「9_感染対策」シート

設計変更により、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に要した費用について入力します。

13-14-1 入力項目（9_感染対策）

項 目	内 容
1 共通仮設費	<p>設計変更により、共通仮設費に計上した新型コロナウイルスの感染拡大対策防止に係る費用を以下項目毎に入力してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働者宿舎における密集を避けるための、近隣宿泊施設の宿泊費・交通費 ・現場事務所や労働者宿舎等の拡張費用・借地料 <p>注）上記以外に計上している場合、計上した項目と金額を入力してください。</p>
2 現場管理費	<p>設計変更により、現場管理費に計上した新型コロナウイルスの感染拡大対策防止に係る費用を以下項目毎に入力してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場従事者のマスク、インカム、シールドヘルメット等の購入・リース費用 ・現場に配備する消毒液、赤外線体温計等の購入・リース費用 ・遠隔臨場やテレビ会議等のための機材・通信費 <p>注）上記以外に計上している場合、計上した項目と金額を入力してください。</p>

13-14-2 入力例（9_感染対策）

9_新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に係る費用調査

①共通仮設費

入力の確認	OK
『★工事費（2）』シートの「 ル新型コロナウイルス感染拡大防止対策費用 」に入力されている金額	自社分 1 A1
上記金額の内訳を入力してください。	
元請	
【Ⅰ】 対策内容	【Ⅱ】 金額(千円)
労働者宿舎における密集を避けるための、近隣宿泊施設の宿泊費・交通費	1
現場事務所や労働者宿舎等の拡張費用・借地料	0
内訳合計	1 A2

『★工事費（2）』シートの「 ル新型コロナウイルス感染拡大防止対策費用 」に入力されている金額	外注分 100 B1
下請（元請外注）	
【Ⅰ】 対策内容	【Ⅱ】 金額(千円)
労働者宿舎における密集を避けるための、近隣宿泊施設の宿泊費・交通費	100
現場事務所や労働者宿舎等の拡張費用・借地料	0
内訳合計	100 B2

②現場管理費

入力の確認	OK
『★工事費』シートの「 ル新型コロナウイルス感染拡大防止対策費用 」に入力されている金額	元 請 1 A1
上記金額の内訳を入力してください。	
元請	
【Ⅰ】 対策内容	【Ⅱ】 金額(千円)
現場従事者のマスク、インカム、シールドヘルメット等の購入・リース費用	1
現場に配備する消毒液、赤外線体温計等の購入・リース費用	0
遠隔臨場やテレビ会議等のための機材・通信費	0
内訳合計	1 A2

『★工事費』シートの「 ル新型コロナウイルス感染拡大防止対策費用 」に入力されている金額	元請外注 1 B1
下請（元請外注）	
【Ⅰ】 対策内容	【Ⅱ】 金額(千円)
現場従事者のマスク、インカム、シールドヘルメット等の購入・リース費用	1
現場に配備する消毒液、赤外線体温計等の購入・リース費用	0
遠隔臨場やテレビ会議等のための機材・通信費	0
内訳合計	1 B2